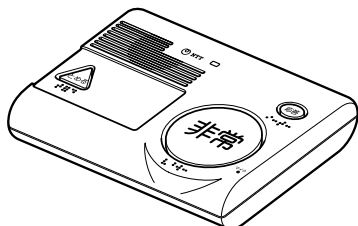
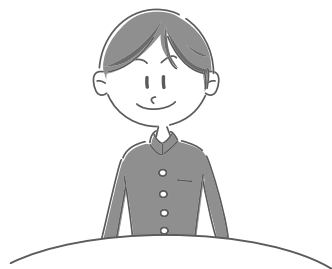
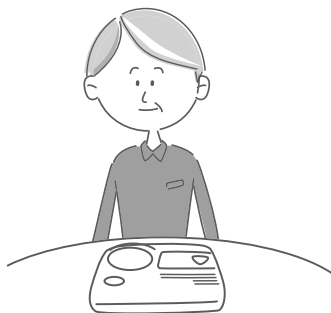




あんしんSV

取扱説明書



技術基準適合認証品

このたびは、あんしんSVをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。







安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。

その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店でお求めください。

本書中のマーク説明

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなったり、機能停止を招く内容を示しています。
 お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。
 ワンポイント	この表示は、本商品を取り扱ううえで知っておくと便利な内容を示しています。

ご使用にあたって

- この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信、通話などの機会を逸したために生じた損害、または本商品に登録された情報内容の消失などにより生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承下さい。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いいたします。
- 本商品は、通報先への通報が確実に完了することを約束するものではありません。回線の不通や機器の故障等の可能性も想定し、本商品を用いた通報伝達経路以外の方法（戸外スピーカを設置する等）を別途ご用意いただくことをお勧めいたします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事、修理は違法となりまた事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本商品を分解したり改造したりすることは、法律で禁止されていますので絶対に行わないでください。
- 本商品をひかり電話対応機器に接続している場合は、停電時には本商品を使用できません。
- 本商品をひかり電話対応機器に接続している場合は、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。
- 本商品をISDNターミナルアダプタに接続している場合は、停電時には本商品を使用できません。ただし、ISDNターミナルアダプタが停電用電池で動作しているときは、電池パック（オプション）を取り付けると、停電時でもご使用になれます。
- 本商品をISDNターミナルアダプタに接続している場合は、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。
- 接続早わかりガイド、操作早見表をご使用の際は、必ず取扱説明書をよくお読みになり、ご理解いただいたうえでお使いください。
- 特別な許可がないかぎり、通報先の電話番号に110番、119番、118番は登録しないでください。
- 使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いいたします。
- 商品の外観および機能などの仕様は、お客様にお知らせすることなく変更される場合があります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら当社のサービス取扱所へお申しつけください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

危険

- 電池パックの充電は、本商品に装着して行ってください。その他の充電条件で充電すると、電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、プラス・マイナスの向きが決められています。本商品に接続するときは、コネクタの向きを確かめて正しく差し込んでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックを単体では充電しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パックは、本商品専用です。それ以外の機器には使用しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ 直接はんだ付けしない。
 - ・ プラス（+）とマイナス（-）を針金などの金属類で短絡しない。
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。
 - ・ ネックレスなどの金属製品と一緒に持ち運んだり、保管しない。
- 電池パックを分解、改造しないでください。電池パックの液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- コイン形リチウム電池内部の液が眼に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。
- コイン形リチウム電池を誤って飲み込むと、窒息や中毒を起こす危険があります。特に小さなお子様のいるご家庭では、手の届かないところへ保管するなど、ご注意ください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- 本商品で指定されていない電池パックは使用しないでください。電池パックの破損、液もれにより、火災・けが・機器の故障の原因となることがあります。
- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、直ちにきれいな水で洗い流してください。
- コイン形リチウム電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合には、皮膚に障害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。
- ぬれた手でコイン形リチウム電池を交換しないでください。感電の原因となることがあります。
- コイン形リチウム電池は正しく取り扱ってください。取り扱いかたを間違えると、コイン形リチウム電池の液もれ、発熱、破裂により、火災・感電・やけど・けがの原因となることがあります。コイン形リチウム電池のご使用にあたっては、以下のことを必ず守ってください。
 - ・ 火の中に投入したり、加熱しない。
 - ・ プラス（+）とマイナス（-）を針金などの金属類で短絡しない。
 - ・ 分解、改造をしない。
 - ・ 水や海水につけたり、ぬらさない。
 - ・ 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない。

設置について

警告

- 本商品、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグや送信機のそばに、水や液体の入った花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグや送信機に水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。



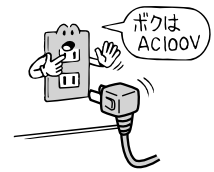
- 本商品、電話機コード、電話機用コンセント、電話機コードのモジュラープラグや送信機を次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。
 - ・ 屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
 - ・ 調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
 - ・ 湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかるおそれがある場所
 - ・ ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
 - ・ 製氷倉庫など、特に温度が下がる場所
- 他の通信機器（ファクスなど）は、本商品のTEL端子に接続してください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

お取り扱いについて

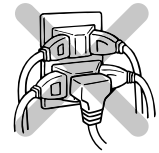
⚠ 警告

- 電源は、AC100 Vの商用電源以外では、絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは電源コンセントの奥まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因となることがあります。

- テーブルタップや分岐コンセント、分岐ソケットを使用した、タコ足配線はしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



- 電源プラグは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに差し込んでください。また、半年から1年に1回は、電源プラグを電源コンセントから抜き、電池パックを抜いて点検、清掃をしてください。ほこりにより、火災・感電の原因となることがあります。なお、点検に関しては当社のサービス取扱所にご相談ください。

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話機用コンセントから抜き、電池パックを抜いて煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

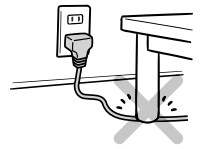
- 万一、本商品を落としたり、キャビネットを破損した場合、または、本商品や送信機の内部、電話機コード、電話機コードのモジュラープラグに異物や水などが入った場合は、電源プラグ、電話機コードをそれぞれ電源コンセントや電話機用コンセントから抜き、電池パックを抜いて当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

警告

● 本商品を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となることがあります。内部の点検、調整、清掃、修理は当社のサービス取扱所にご依頼ください（分解、改造された商品は修理に応じられない場合があります）。



● 電源コードおよび電話機コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。また、重い物をのせたり、加熱したりするとコードが破損し、火災・感電の原因となることがあります。コードが傷んだら当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。



● 電源コードおよび電話機コードが傷んだ状態（芯線の露出、断線など）のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源プラグ、電話機コードのモジュラープラグを抜き、電池パックを抜いて当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● 本商品、電話機コード、電話機コードのモジュラープラグや送信機に水をかけたり、ぬれた手で操作や電源プラグおよび電話機コードの抜き差しをしないでください。火災・感電の原因となることがあります。



● 本商品をお手入れするときは、電話機コードを電話機用コンセントから抜き、電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のそばで可燃性スプレーを使用しないでください。スプレーのガスが本商品内部の部品などに付着すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 本商品のお手入れには、アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が本商品内部の部品に付着したり、揮発性ガスが本商品内部に充満すると、火災・感電の原因となることがあります。

● 送信機をねじったり、重い物をのせたり、強く押しつけたりして、圧迫しないでください。破損して、火災・やけど・けがの原因となることがあります。



● 送信機は、心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離してください。

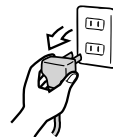
● 本商品は高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカーなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカーなどが誤動作するなどの原因となることがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

⚠ 警告

- 本商品を移動するときは、電源プラグ、電話機コードを抜いたことを確認してから行ってください。電源プラグ、電話機コードが電源コンセント、電話機用コンセントに差し込まれたまま移動すると、電源コードなどが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 電源プラグを電源コンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電や断線の原因となることがあります。



- 本商品（モジュラープラグや電話配線等を含むシステム全体）や送信機を熱器具に近づけないでください。キャビネットやコードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- 近くに雷が発生したときは、電源プラグ、電話機コードを電源コンセント、電話機用コンセントから抜いてご使用を控えてください。雷による、火災・感電の原因となることがあります。

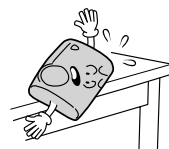


設置について

⚠ 注意

- 本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。

- 本商品をぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



お取り扱いについて

⚠ 注意

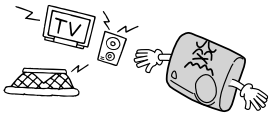
- 本商品を長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、本商品のLINE端子に接続した電話機コードを抜き、電池パックを取り外してから電源プラグを抜いてください。

⚠ 注意

- 本商品に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭では、ご注意ください。倒れたり、こわしたりしてけがの原因となることがあります。
- 本商品の底面には、ゴム製のすべり止めを使用していますので、ゴムとの接触面が、まれに変色するおそれがあります。
- ストラップを持って送信機を振り回したり、首にかけたまま固定しないで持ち運ばないでください。人に当たったり、ドアに挟まったりして、けが・破損の原因となることがあります。持ち運ぶときは手で押さえるか、ポケットに入れるなどして固定してください。
- コイン形リチウム電池は、プラス（+）、マイナス（-）の向きを確かめて正しく装着してください。正しく装着しないと、正常に動作しない原因となります。
- コイン形リチウム電池が消耗した場合は、すみやかに新しいコイン形リチウム電池と交換してください。消耗したまま使用すると、誤動作の原因となることがあります。新しいコイン形リチウム電池の使用推奨期限の表示を確認のうえ、使用推奨期限を過ぎた電池は使用しないでください。使用推奨期限を過ぎた電池を使用すると、液もれによる故障の原因となることがあります。
- コイン形リチウム電池は、電池残量がある場合でも2年ごとに交換してください。2年以上装着したままで使用すると、液もれによる故障の原因となることがあります。
- 送信機を長期間ご使用にならないときは、安全のために必ずコイン形リチウム電池を取り外してください。

設置について

STOP お願い

- 送信機からの電波が届く範囲は、本商品から50 m程度（見通し距離）です。周囲の環境（壁、大型冷蔵庫など）によっては、送信機の使用範囲が狭くなることがあります。あらかじめ通報テスト（☎P55）を行い、通報できる範囲を確かめてください。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、本商品の寿命が短くなることがあります。
- 本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
 - ・ 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
 - ・ テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・ 放送局や無線局などが近く、雑音が大きいつきは、本商品の設置場所を移動してみてください。

安全にお使いいただくために必ずお読みください

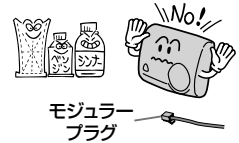
お取り扱いについて

STOP お願い

- 本商品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。



- 本商品や電話機コード、電話機コードのモジュラープラグ、送信機をぬれた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、電話機コードのモジュラープラグ部分は、よくしぼった場合でも、中性洗剤をつけた布では絶対にふかないでください。



- 本商品は、常時、AC100 Vの商用電源に電源プラグを差したままご使用いただくことを想定した設計となっております。電源プラグを電源コンセントから抜くと、電池パックの寿命が短くなったり、電池切れ通報機能や停電通報機能等が動作することがあります。長期不在などでやむを得ず電源プラグを電源コンセントから抜く必要がある場合は、本商品のLINE端子に接続した電話機コードを抜き、電池パックを取り外してから電源プラグを抜いてください。

- ナンバー・ディスプレイのご利用に際しては、総務省の定める「発信者情報通知サービスの利用における発信者個人情報の保護に関するガイドライン」を尊重してご利用願います。

- ハンドフリー通話でお話しのときは、以下の点に注意してください。
 - ・マイクの近くには、ものなどを置かないでください。
 - ・マイクとの距離は、約50 cmを目安としてお話しください。
 - ・本商品に手や顔を近づけないでください。「ピー」と鳴ることがあります。
 - ・以下のような場合、スピーカからの音が途切れることがあります。
 - 相手の方のお話しが終わらないうちに、こちらから話しかけたとき
 - 相手の方と同時に話し始めたとき
 - 周囲の騒音が大きい場所に置いたとき

- 本商品に装着する電池パック（オプション）は充電式ですので、設置時には充電されていません。完全充電に要する時間は、すべての機器を接続後、約12時間です。

- ご使用のあんしんSVや電話回線に異常がないことを確認するために、定時通報（☎P78）を実施することをお勧めいたします。

STOP

お願い

●送信機は簡易生活防水機能付きです。ただし、水につけることはできませんので次のようなことにご注意ください。

- ・ 常時、水のかかるような環境には放置しないでください。
- ・ 温度の高低差が大きい場所に長時間放置しないでください。
- ・ ぬれたまま、凍るようなところには放置しないでください。
- ・ シャンプー、中性洗剤などがつくと故障や変色の原因になりますのでご注意ください。

●コイン形リチウム電池をお使いになるときは、コイン形リチウム電池の表面を乾いた布でよくふいてお使いください。

●コイン形リチウム電池は、電池寿命内でもまれに液もれなどにより使用できなくなることがあります。定期的に通報テスト（☎P55）を行うことをお勧めいたします。

廃棄（または譲渡、返却）される場合のご注意

本商品は、お客様固有の情報を保存または保持可能な商品です。本商品内に保存または保持された情報の流出による不測の損害などを回避するために、本商品を廃棄、譲渡、返却される際には、本商品内に保存または保持された情報を消去する必要があります。

保存または保持されたデータを消去するには、お買い求め時の設定に戻す操作を行ってください。

操作の方法は、「お買い求め時の設定に戻すには（初期化）」（☞P126）を参照してください。

電話回線のダイヤル種別契約を変更する際のご注意

電話回線のダイヤル種別契約を変更する際は、必ず事前に当社のサービス取扱所に確認してください。

契約を変更すると正常に通報できなくなる場合があります。

目次

安全にお使いいただくために必ずお読みください	2
マニュアルの読み進めかた	16
この取扱説明書の見かた	18

利用編

お使いになる 前に19

特長	20
セットを確認してください	24
● あんしんSV	24
● あんしんSV (ワイヤレスセット)	25
各部の名前とはたらき	26
● あんしんSV	26
● 小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機 (ペンダント)	28
壁掛けにして使うには	29
● あんしんSVを壁に取り付ける	29

基本的な使い かた31

緊急通報をするには	32
声や呼出音を調節するには	34
● 相手の方の声の音量を調節する	34
● 呼出音の音量を調節する	34
呼出音が鳴ったときは	35
お手持ちの電話機を接続して利用するには	36
● 電話をかける	36
● 電話を受ける	36
● 緊急時には通報を優先する (緊急通報優先機能)	37

便利な機能39

便利な機能のご紹介	40
● センサが感知したら通報する (センサ通報機能)	40
● 電話回線を介さずに通知する (外部出力機器による通知)	41
● 通報が完了したことを確認する (応答確認機能)	41
● 電池切れになると通報する (電池切れ通報機能)	42
● ペンダントが電池切れになると通報する (ペンダント電池切れ通報)	42
● 録音したメッセージで通報する (録音音声メッセージ送出機能)	42
● かかってきた電話に自動応答する (着信自動応答機能)	43
● 定時通報機能	44

便利な機能39

- 生活周期異常通報機能（見守り機能）..... 44
 - 常夜灯..... 45
- 通報先の電話機から設定するには（テレコントロール機能）..... 46
- 外からテレコントロールを行う..... 46

オプションを 利用する49

- オプションのご紹介..... 50
- スタンドに立てて使うには..... 52
- スタンドを取り付ける..... 52
 - スタンドを取り外す..... 53
- ペンダントを使うには..... 54
- 通報する..... 54
 - 間違えて通報ボタンを押したときは..... 55
 - 通報テストをする..... 55
- オプションを接続して使うには..... 56
- 各種センサ..... 56
 - リモートスイッチS2..... 56
 - 電池パック（デンチパック-106）..... 57
 - 壁掛け金具..... 57
 - 外部出力機器..... 57
- ペンダントの電池を交換するには..... 58

設定編

接続方法61

- 接続します（一般電話回線に接続する場合）..... 62
- 接続します（ひかり電話対応機器に接続する場合）..... 64
- 接続します（ISDNターミナルアダプタに接続する場合）..... 66

基本設定69

- 作業の流れ..... 70
- 日付と時刻を設定します..... 72
- こちらの電話番号を登録します..... 74
- 通報先の電話番号を登録します..... 76
- 定時通報を設定します..... 78
- 通報できることを確認します..... 80
- 通報できることを確認する..... 80
 - 通報できなかったときは（ダイヤル種別の設定）..... 81

システムデータ 設定

.....83

システムデータを設定するには	84
● 設定操作の流れ	84
システムデータ設定一覧	86
● 時計データの設定	86
● 通報先の登録	87
● 通報順序、通報回数、通報終了タイミングの設定	91
● 相手の方を呼び出す時間の設定	95
● 通報音声メッセージの録音	96
● ペンダントの設定	97
● ワイヤレスセンサグループの通報の設定	98
● ワイヤレスセンサ通報時の録音メッセージの設定	99
● ワイヤレスセンサ通報時の接点出力の設定	100
● ワイヤレスセンサグループのモードの設定	100
● こちらの電話番号の登録	101
● 暗証番号の設定	102
● 応答後ガイダンス送待待ち時間、 音声検出確定時間の設定	102
● 定時通報の設定	103
● 生活周期異常通報（見守り機能）の設定	104
● センサやペンダント電池切れ通報可否の設定	105
● 録音音声フレーズの設定	106
● ダイヤル種別、外線着信、キータッチ音、常夜灯の設定	107
● 着信自動応答、テレコントロールの設定	108
● 警報送待等の設定	109
● 接点出力方式、通報の有無の設定	110
● 通報オプションタイマの設定	111
● センサの設定	112
● 通報音声メッセージの設定	113
● 警報音の設定	114
● 優先通報選択の設定	115
● 接点出力の設定	116

設定例

.....117

通報先を登録して利用するには（基本設定）	118
● 緊急時に通報する	118
● 基本設定をする	119
火災センサとして利用するには	120
● センサによる通報を設定する	121
見守り装置として利用するには	122
● 生活周期異常通報を利用すると（見守り機能）	122
● 生活周期異常通報（見守り機能）を設定する	123

付録

.....124

ペンダントを登録するには（増設）	124
お買い求め時の設定に戻すには（初期化）	126
停電になったときは	127
電池パックを取り付けるには	131
● 電池パックをセットする	131
● 電池パックを交換する	133
故障かな？と思ったら	135
● あんしんSVのトラブル	135
● ペンダントのトラブル	138
設定記入シート	139
索引	141
端子配列	144
仕様	145
保守サービスのご案内	146

- この取扱説明書では、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機を「ペンダント」と記載しています。

マニュアルの読み進めかた

本商品を最初にお使いになるときは、『あんしんSV取扱説明書』、『あんしんSV接続早わかりガイド』、『操作早見表』を次の順序でお読みください。



取扱説明書



接続早わかりガイド



操作早見表

取扱説明書

お使いになる前に P24

セットを確認してください

箱を開け、付属品がすべてそろっているか確認します。

接続早わかり
ガイド

取扱説明書

接続方法 P61 基本設定 P69

接続します

本商品と電話回線、電話機を接続します。

基本設定をします

日付と時刻、こちらの電話番号、通報先の電話番号などを登録し、電話がかかることを確認します。

操作早見表

通報先

通報先の名前と電話番号を記入します

登録した通報先の名前と電話番号を空欄に記入します。

あんしんSVをお使いになる場合

取扱説明書

操作早見表

基本的な使いかた P31

基本的な使いかたを覚えましょう

緊急通報のしかた、電話をかけたり受けたりする操作、音量の調節方法を確認します。

取扱説明書

便利な機能 P39


便利な使いかたを紹介します

本商品の便利な機能や、設定を変更することによって利用できる機能を紹介します。

あんしんSV（ワイヤレスセット）をお使いになる場合

取扱説明書

操作早見表

基本的な使いかた  P31

基本的な使いかたを覚えましょう

緊急通報のしかた、電話をかけたり受けたりする操作、音量の調節方法を確認します。

取扱説明書

便利な機能  P39

便利な使いかたを紹介します

本商品の便利な機能や、設定を変更することによって利用できる機能を紹介します。

取扱説明書

オプションを利用する  P54

ペンダント^{*}の使いかたを覚えましょう

離れたところから、ペンダント^{*}を使って通報する方法を確認します。

※この取扱説明書では、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機を「ペンダント」と記載しています。

取扱説明書

特長  P20

あんしんSVの特長を紹介します

あんしんSVを使ってどんなことができるのか見てみましょう。


取扱説明書

オプションを利用する  P50

オプションを紹介します

ペンダント、リモートスイッチS2など、本商品で利用できるオプションを紹介します。

取扱説明書

システムデータ設定  P83

いろいろな機能を設定します

電話機からいろいろな機能を設定します。

取扱説明書

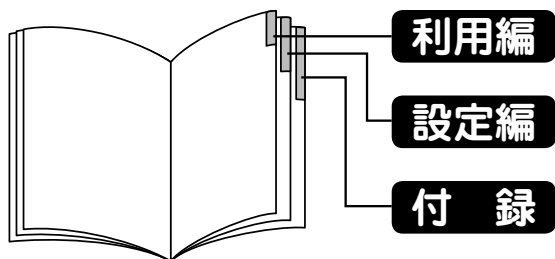
付録  P124

こんなときにお使ください

ペンダントを増設する場合の登録方法、停電になったときの動作、故障かな？と思ったときの確認方法などを説明します。

この取扱説明書の見かた

この取扱説明書の構成



利用編

お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

基本的な使いかた

日常、よくご利用になる機能を説明しています。

便利な機能

知っておいていただきたい便利な機能をご紹介します。

オプションを利用する

オプションの機能を説明しています。

設定編

接続方法

接続方法をまとめて説明しています。

基本設定

基本的な設定方法を説明しています。

システムデータ設定

設定方法と各種の設定項目について説明しています。

設定例

火災センサや見守り装置として利用する場合の設定例を説明しています。

付録

故障かな？と思ったときの確認方法、索引などをまとめています。

操作ページの構成

タイトル

目的ごとに、タイトルが付けられています。

操作手順説明

操作内容を示すイラストや、操作で使うボタンなどを示しています。

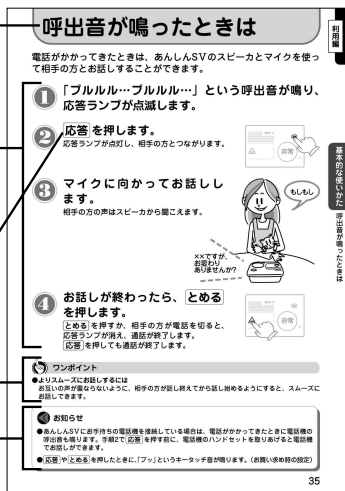
はボタンなどを示しています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイスなどの補足説明を示しています。

お願いまたはお知らせ (お願い)

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。



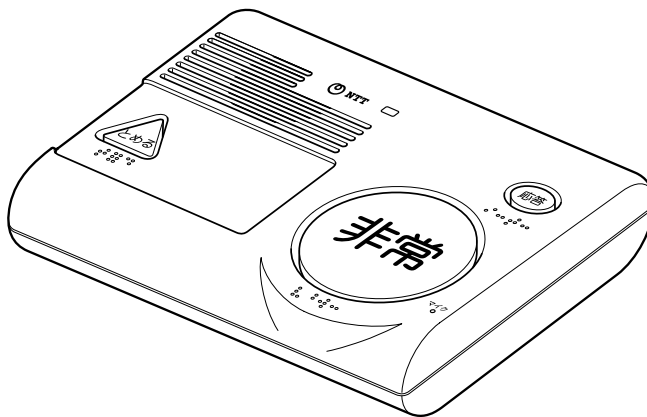
〈お知らせ〉

この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

利用編

お使いになる前に

ここでは、あんしんSVをお使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。



特長	20
セットを確認してください	24
各部の名前とはたらき	26
壁掛けにして使うには	29

特長

あんしんSVは、あらかじめ登録しておいた通報先に、簡単な操作で緊急通報ができる装置です。一人暮らしの方や体の不自由な方に、いざというときの安心をお届けします。

■ 緊急通報 (👉P32)

非常を押すだけで、通報先に電話がつながります。通報先へは、音声合成メッセージなどでこちらの電話番号などを通知します。



■ 通報メッセージ (👉P32、96、113)

通報先へ、音声合成メッセージでこちらの電話番号などを通知します。あらかじめ用意されている音声合成メッセージのほか、自分で録音したメッセージを使用することもできます。

■ ハンドフリー通話 (👉P32)

通報先と電話がつながると、あんしんSVのマイクとスピーカを使って、お話しすることができます。



■ 通報が完了したことを確認する (👉P41)

通報先の相手の方が(✳️)①(＃)を押すことによって、あんしんSVに通報完了確認の信号を送ることができます。通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないで、通報が完了したことにはなりません。

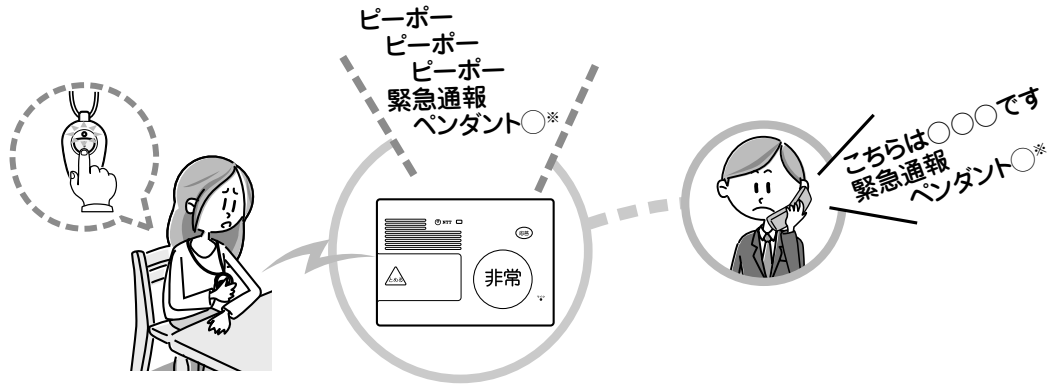


- あんしんSVは、オプションのスタンド (👉P50) を取り付けてご利用いただけます。この取扱説明書では、スタンドを取り付けた状態の使用例を掲載しています。

特長

■ 離れたところからの通報 (👉P54)

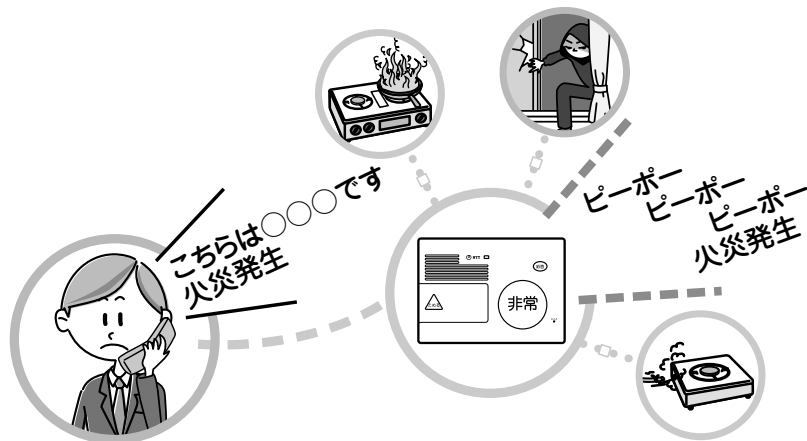
あんしんSV(ワイヤレスセット)をお使いの場合は、ペンダントを使って、あんしんSVから離れたところからでも緊急通報ができます。



※ 〇はペンダントの番号

■ センサによる自動通報 (👉P40)

市販の防犯・火災センサなどを接続すると、火災やガスもれ、空き巣など、万一のときに、登録してある通報先に通報されます。



● あんしんSVのセンサ端子には、市販のセンサまたはオプションのリモートスイッチS2を接続することができます。

■ ひかり電話に接続可能

一般の電話回線のほか、ひかり電話対応機器のアナログポート、ISDNターミナルアダプタのアナログポートに接続してご利用になれます。

■ 停電時も安心 (☞P127)

停電になったときも、緊急通報をしたり、電話を受けたりすることができます。

- オプションの電池パックを取り付けていれば、停電になったときも、すべての機能をご利用になれます。(☞P131)

■ 音声案内で設定内容を確認 (☞P84)

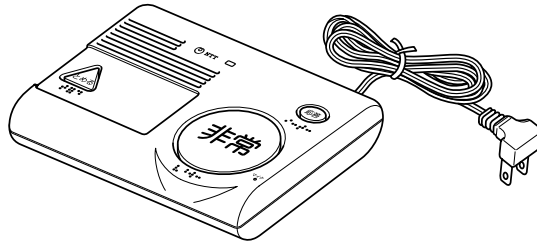
電話機を使って機能を設定するときに、ハンドセットからの音声案内で設定内容を確認することができます。

セットを確認してください

あんしんSV

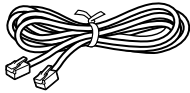
次のものがそろっているか、お確かめください。

■ 本体

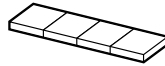


あんしんSV

■ 付属品



電話機コード
(約3 m) (1本)



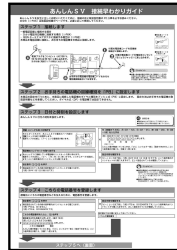
ゴム足 (4個)



壁掛け用木ネジ (2本)



取扱説明書
(1部)



接続早わかりガイド
(1部)



操作早見表
(1部)

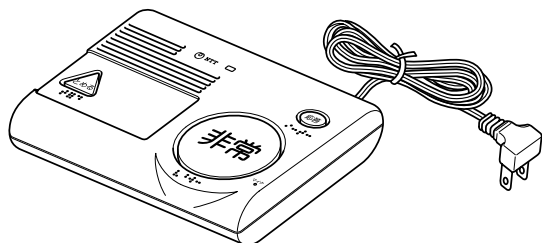
- 「NTT通信機器お取扱相談センタ」シール(1枚)
- 保証書 (1枚)

- セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁、落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- 取扱説明書は、あんしんSV、あんしんSV (ワイヤレスセット) で共通です。

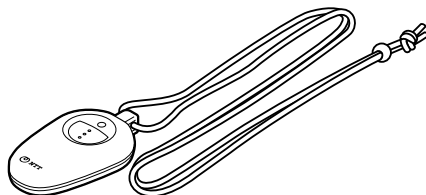
あんしんSV (ワイヤレスセット)

あんしんSV (ワイヤレスセット) をお買い求めの方は、次のものがそろっているか、お確かめください。

■ 本体



あんしんSV

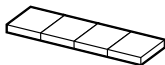


小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機

■ 付属品



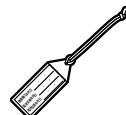
電話機コード
(約3 m) (1本)



ゴム足 (4個)



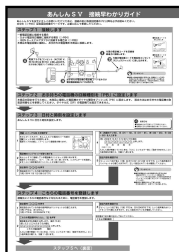
壁掛け用木ネジ (2本)



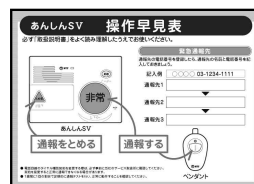
タゲ
(電池交換時期表示札)
(1個)



取扱説明書
(1部)



接続早わかりガイド
(1部)



操作早見表
(1部)

- 「NTT通信機器お取扱相談センタ」シール(1枚)
- 保証書 あんしんSV用 (1枚)
- 保証書 小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機用 (1枚)

● この取扱説明書では、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機を「ペンダント」と記載しています。

各部の名前とはたらき

あんしんSV

■ 前面

電源ランプ
電源が入っているときは点灯します。
通報するときに点滅します。(☎P32)

スピーカ

応答 ボタン
電話を受けるときに押し
します。(☎P35)

応答ランプ
通話中に点灯します。
(☎P32)
着信時に点滅します。
(☎P35)

非常 ボタン
通報先に通報するとき
に押します。(☎P32)

非常ランプ
非常 ボタンを押して
通報するときに点滅し
ます。(☎P32)

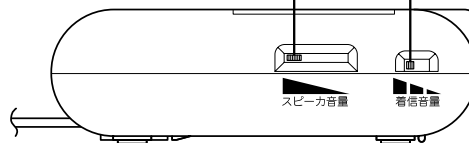
マイク
お話しするときは、こ
こに向かって話しかけ
ます。

とめる ボタン
間違えて**非常** ボタンを押し
たときに押すと、通報が停止し
ます。
ハンドフリー通話中に押すと通
話が切れます。

■ 左側面

スピーカ音量 つまみ
相手の方の声の音量を調節すると
きに使います。(☎P34)

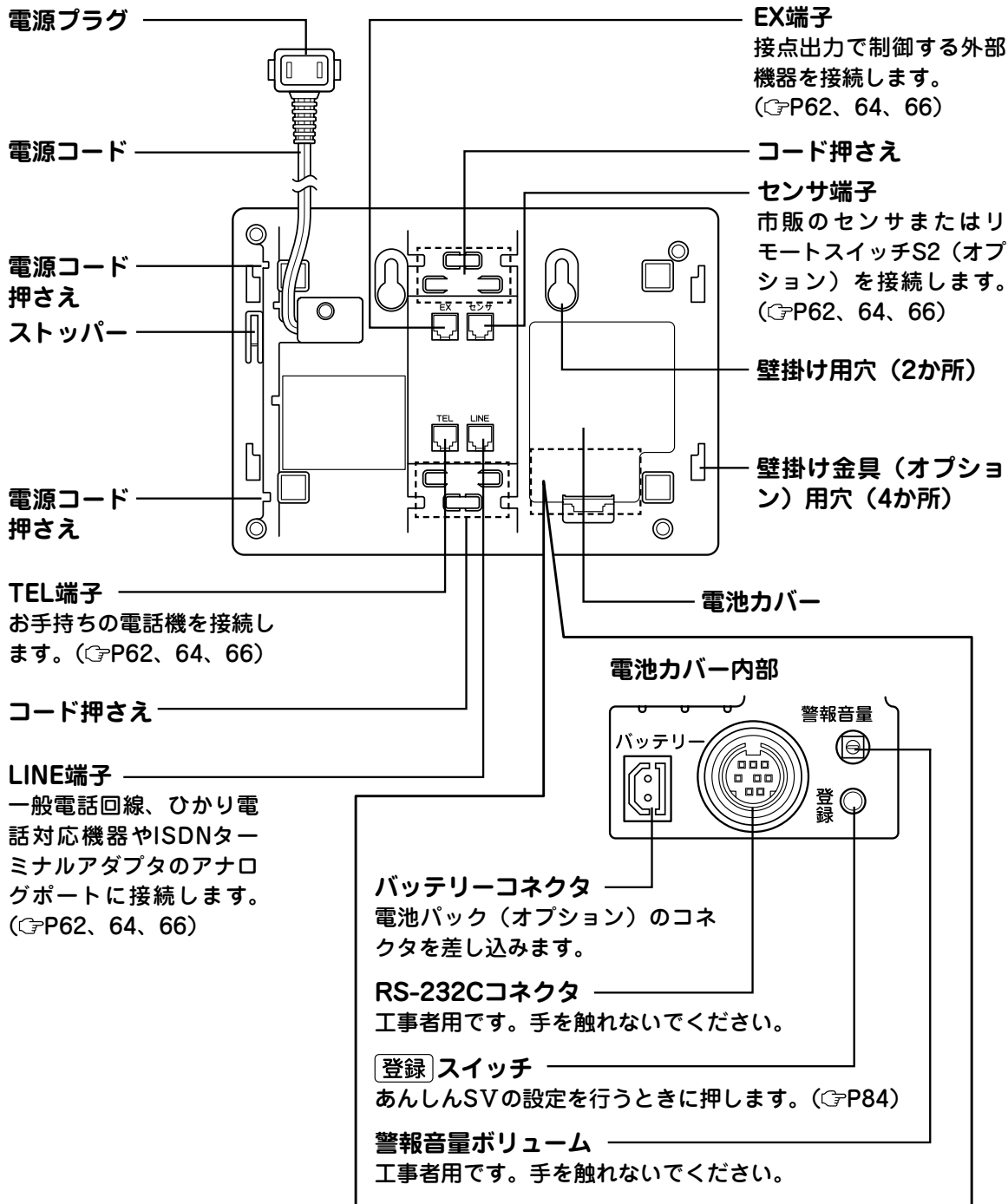
着信音量 スイッチ
電話がかかってきたときなどの
呼出音の音量を調節するときに
使います。(☎P34)



● お知らせ

●形状は一例を示します。

■ 底面



お知らせ

●形状は一例を示します。

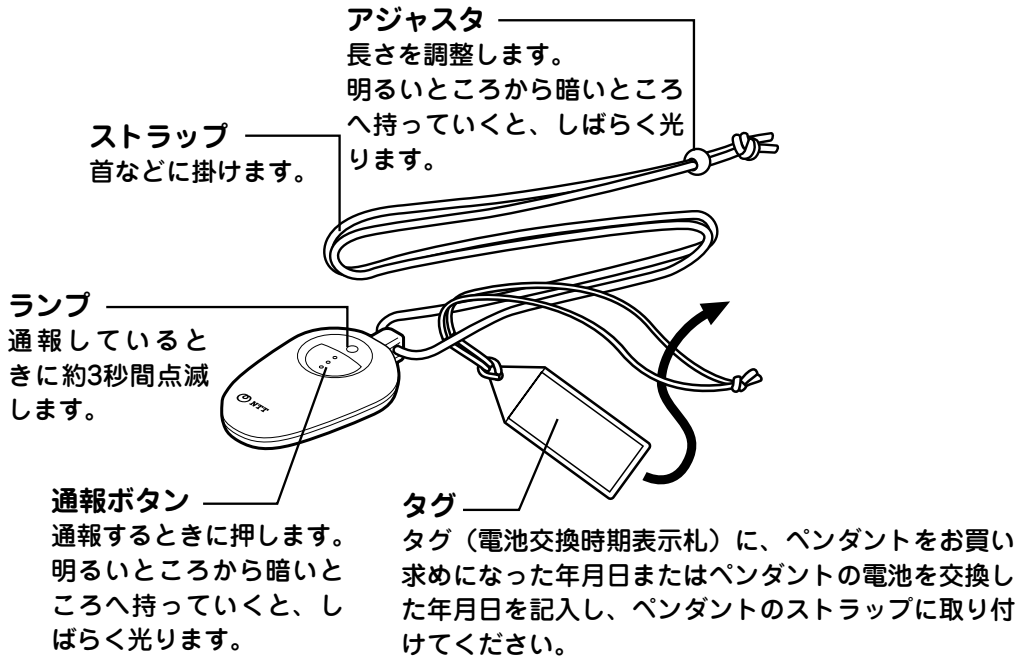
各部の名前とはたらき

小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機（ペンダント）

お使いになる前に

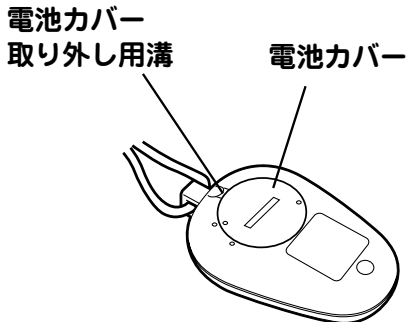
各部の名前とはたらき

■ 前面



- この取扱説明書では、小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機を「ペンダント」と記載しています。

■ 裏面



● お知らせ

- 形状は一例を示します。

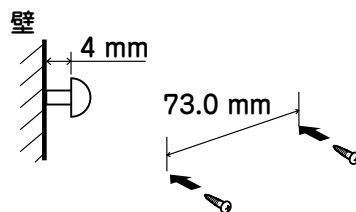
壁掛けにして使うには

あんしんSVを壁掛けにして使用することができます。付属品の壁掛け用木ネジ2本を使って壁や柱などに取り付けてご使用ください。

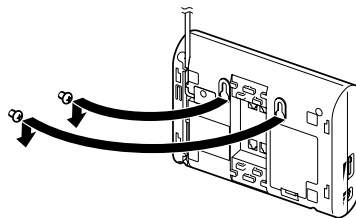
あんしんSVを壁に取り付ける

① 2本のネジの取り付け位置（左右幅73.0 mm）を決めます。

② 2本のネジを壁に取り付けます。
このときネジの頭を壁より約4 mm程度出した状態にしてください。



③ 壁掛け用穴を壁に取り付けたネジに引っかけます。



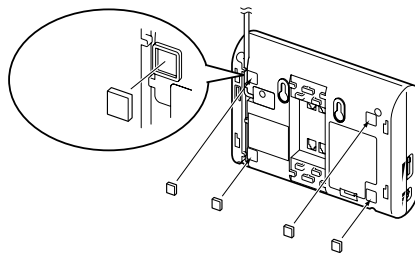
ワンポイント

●横置きにして使うには

あんしんSVを壁掛けにししないで、横置きにしてお使いになることもできます。

横置きにする場合は、付属品のゴム足（4個）をあんしんSVの底面に貼り付けてください。

壁掛けにして使用するときやスタンド（オプション）を取り付けて使用する場合は、ゴム足を取り付ける必要はありません。



●壁掛け金具を利用するには

オプションの壁掛け金具（GP57）を利用して壁掛けすることもできます。壁掛け金具を利用した壁掛け方法については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

お知らせ

●本商品が壁より離れすぎてしまったり、またネジの突き出し長さが少ないときはネジの突き出し長さを調整してください。

⚠ 注意

ドアの近くやベニヤ板などの薄い板壁、ボード板（石膏板）などの壁にあんしんSVを取り付けしないでください。振動や自らの重みで落下して、けが、破損の原因となることがあります。

壁に取り付ける際、この矢印の間隔に木ネジを取り付けてください。

(73.0 mm)



メ 毛

利用編

基本的な使いかた

ここでは、あんしんSVの基本的な使いかたを説明します。



緊急通報をするには	32
声や呼出音を調節するには	34
呼出音が鳴ったときは	35
お手持ちの電話機を接続して利用するには	36

緊急通報をするには

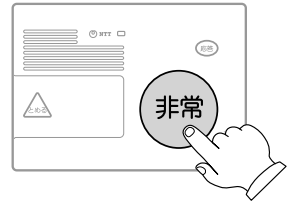
体の調子が悪いときなどに、登録してある通報先に通報できます。

1

非常を押します。

スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、電源ランプと非常ランプが点滅します。

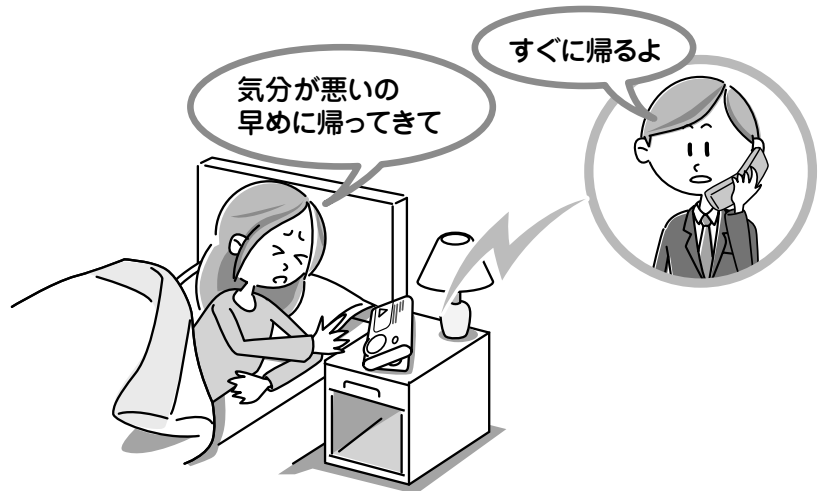
通報先に電話がつながると非常ランプが点灯し、「こちらは(電話番号)です。緊急通報。緊急通報。ピー、ピー」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。
応答ランプが点灯します。



2

マイクに向かってお話しします。

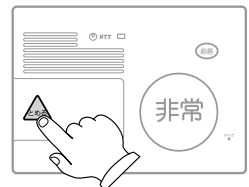
通報メッセージが終わったあとにお話してください。



3

お話しが終わったら、とめるを押します。

非常ランプと応答ランプが消え、電源ランプが点灯し、通報を終了します。



ワンポイント

- 間違えて**非常**を押したときは**とめる**を押します。通報が停止します。
- 1か所目の通報先に電話がつながらなかったときは
通報先2→通報先1→通報先2→通報先3の順に通報します。通報が完了するまで、設定した回数通報を繰り返します。(お買い求め時の設定)
通報先の設定がない場合は、通報を行いません。



ワンポイント

- 録音したメッセージで通報するには（☎P96、106）
通報メッセージを録音したメッセージに変更することもできます。
- よりスムーズにお話しするには
お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終えてから話し始めるようにすると、スムーズにお話しできます。
- 通報が完了したことを確認するには
音声通報時の通報完了判定（☎P109）を「ブッシュ信号受信で完了判定」に設定します。
 - ・通報先の相手の方がブッシュ式（PB）電話機で（*）①（#）を押すことによって、あんしんSVに通報完了確認の信号を送ることができます。お買い求め時は「通常の完了判定」に設定されています。「ブッシュ信号受信で完了判定」に設定すると、通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないため、通報が完了したことにはなりません。
 - ・手順1の通報メッセージは、「こちらは（電話番号）です。緊急通報。緊急通報。（*）①（#）を押してください」になります。



お知らせ

- 電話機でお話し中や、電話がかかってきているときに緊急通報が行われると、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」というメッセージが流れ、通話が切れまします。このあと、あんしんSVが緊急通報を行います。
- こちらの電話番号（☎P74）を登録していない場合は、手順1で通報先に電話がつながると「緊急通報。緊急通報」という通報メッセージが流れます。
- 手順1の通報メッセージは3回流れます。（お買い求め時の設定）
- 手順2のハンドフリー通話は約3分で切れます。通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。ハンドフリー通話時間を変更することもできます。（☎P111）
- 手順3で「とめる」を押して通話を終了したときは、通報先（☎P76）が複数登録されていて、通報終了タイミング（☎P91）が「全宛先に通報して終了する」に設定されている場合でもすべての通報を終了します。
- 手順3で「とめる」を押さないで相手の方が電話を切った場合は、通報先1への通報を終了し、次の通報先へ通報します。
- 「非常」や「とめる」を押したときに、「プッ」というキータッチ音が鳴ります。（お買い求め時の設定）



お願い

- 電話回線のダイヤル種別契約を変更する際は、必ず事前に当社のサービス取扱所に確認してください。契約を変更すると正常に通報できなくなる場合があります。

声や呼出音を調節するには

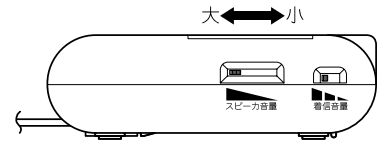
スピーカから聞こえる相手の方の声や電話がかかってきたときの呼出音などの音量を調節することができます。

相手の方の声の音量を調節する

相手の方の声などが聞き取りにくいときには、スピーカ音量を調節します。



スピーカ音量 つまみを動かします。

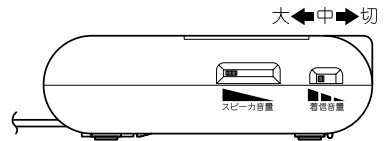


呼出音の音量を調節する

電話の呼出音の大きさは、着信音量スイッチで調節します。「大」「中」または「切」に切り替えられます。



着信音量 スイッチを切り替えます。



ワンポイント

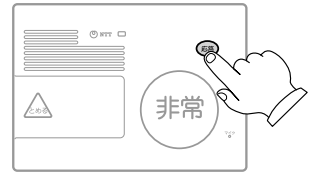
- 「切」に切り替えると呼出音が鳴らなくなります。呼び出されたときには応答ランプの点滅だけでお知らせします。

呼出音が鳴ったときは

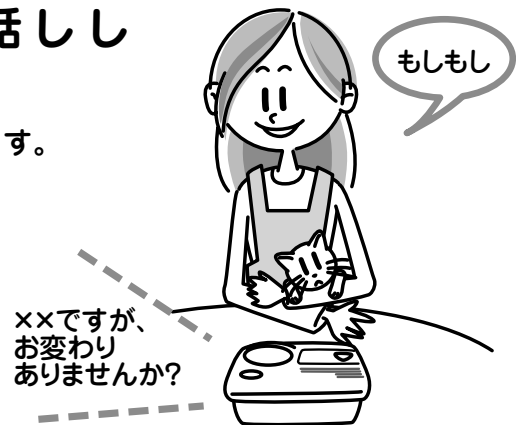
電話がかかってきたときは、あんしんSVのスピーカとマイクを使って相手の方とお話することができます。

1 「プルルル…プルルル…」という呼出音が鳴り、応答ランプが点滅します。

2 **応答** を押します。
 応答ランプが点灯し、相手の方とつながります。



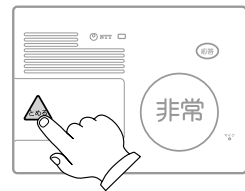
3 マイクに向かってお話しします。
 相手の方の声はスピーカから聞こえます。



4 お話しが終わったら、**とめる** を押します。

とめる を押すか、相手の方が電話を切ると、応答ランプが消え、通話が終了します。

応答 を押しても通話が終了します。



ワンポイント

●よりスムーズにお話しするには
 お互いの声が重ならないように、相手の方が話し終えてから話し始めるようにすると、スムーズにお話できます。

お知らせ

- あんしんSVにお手持ちの電話機を接続している場合は、電話がかかってきたときに電話機の呼出音も鳴ります。手順2で**応答**を押す前に、電話機のハンドセットを取りあげると電話機でお話ができます。
- 応答**や**とめる**を押したときに、「プッ」というキータッチ音が鳴ります。(お買い求め時の設定)

お手持ちの電話機を接続して利用するには

あんしんSVにお手持ちの電話機を接続して電話をかけたり受けたりすることができます。

電話をかける

電話機のハンドセットを取りあげて、「ツー」という発信音が聞こえてから電話番号を押します。

相手の方が出たらお話しします。



電話を受ける

呼出音が鳴ったら、電話機のハンドセットを取りあげて、お話しします。

📞 お知らせ

- 通報中は、あんしんSVに接続した電話機はご利用になれません。
- あんしんSVのシステムデータを設定（P84）したあとに電話機をご利用になるときは、ハンドセットを置き、3秒以上待ってからハンドセットを取りあげてください。
- 着信自動応答の遅延時間（P108）を「即応答」に設定している場合、電話がかかってきたときに電話機の呼出音が1回鳴ることがあります。
- お手持ちのファクスやナンバー・ディスプレイ対応通信機器を接続してお使いになることもできます。

緊急時には通報を優先する（緊急通報優先機能）

優先通報選択の設定を「優先する」に設定していると、次のような場合に「非常」が押されたりセンサからの異常が検出されると、電話機の通話を強制的に終了し、優先的に通報を行うことができます。

- ・電話をかけているとき
- ・電話機でお話し中のとき
- ・電話がかかってきているとき

● お買い求め時は、優先通報選択の設定は「優先する」に設定されています。（☎P115）

基本的な使いかた

お手持ちの電話機を接続して利用するには



ワンポイント

● あんしんSVに接続した電話機でお話し中のときは

「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージがあんしんSVに接続した電話機とお話し中の相手の方の両方に流れ、通話が切れます。

このあとにあんしんSVが通報を行います。通報中であんしんSVに接続した電話機は使用できなくなります。

● 電話がかかってきているときは

かかってきた電話にあんしんSVが応答し、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。

このあとにあんしんSVが通報を行います。通報中であんしんSVに接続した電話機は使用できなくなります。



お知らせ

● お手持ちの電話機の詳しい使いかたについては、電話機の取扱説明書を参照してください。

メ 毛

利用編

便利な機能

知っておいていただきたい便利な機能をご紹介します。



便利な機能のご紹介	40
通報先の電話機から設定するには (テレコントロール機能)	46

お使いになる前に

基本的な使いかた

便利な機能

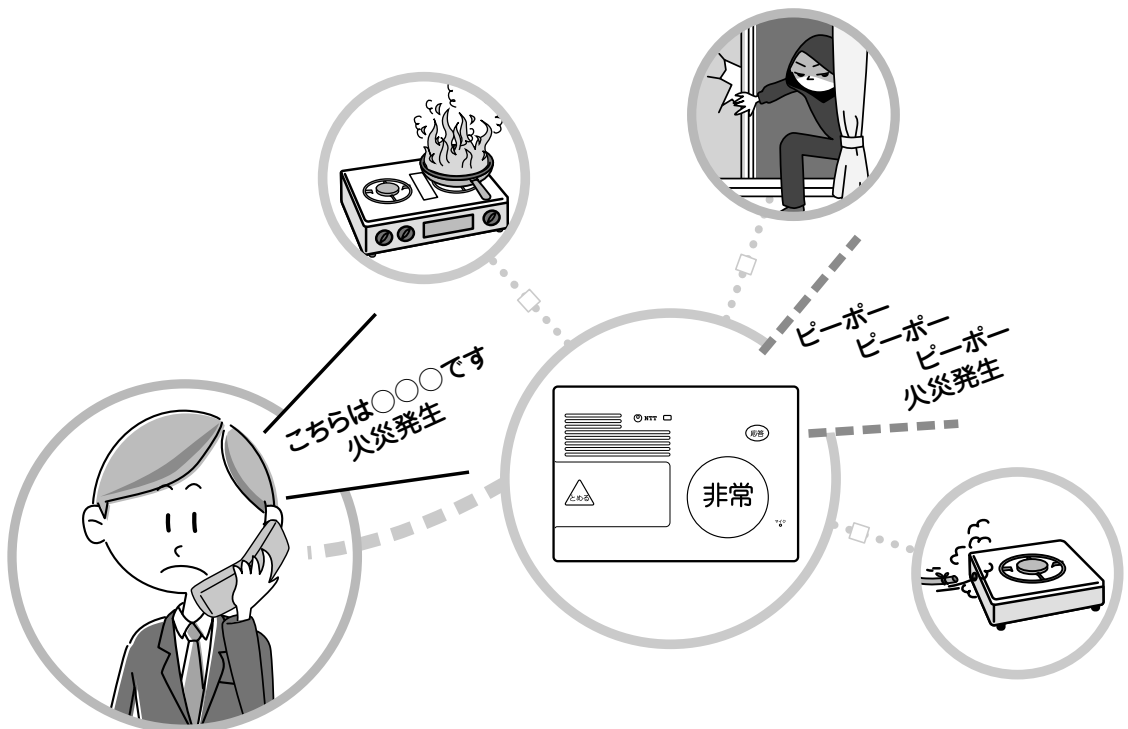
オプションを利用する

便利な機能のご紹介

センサが感知したら通報する（センサ通報機能）

あんしんSVには、火災センサ、ガスもれセンサ、防犯用センサ、生活リズムセンサなどの市販のセンサを1台接続することができます。これらのセンサが異常を感知すると、センサからあんしんSVに通報され、「ピーポー、ピーポー、ピーポー、火災発生」などの警報音や警報メッセージを鳴らし、あらかじめ登録してある通報先に通報することができます。（☞P120）

●お買い求め時は、センサ通報の可否は「通報する」に設定されています。（☞P105）



電話回線を介さずに通知する（外部出力機器による通知）

あんしんSVの接点出力端子に市販の回転灯などの外部出力機器を接続して、電話回線を介さずに緊急事態を通知することができます。

- お買い求め時は、外部接点出力の動作モードは「通報動作から通報完了まで」に設定されています。（☞P110）



通報が完了したことを確認する（応答確認機能）

通報先の相手の方が電話を受けたときに、**(*)****①****(#)**を押すことによって、あんしんSVに通報完了確認の信号を送ることができます（音声通報時の通報完了判定（☞P109）を「プッシュ信号受信で完了判定」に設定した場合）。

通報先が留守番電話などで応答した場合は、通報完了確認の信号が送られてこないのので、通報が完了したことはありません。

- お買い求め時は、音声通報時の通報完了判定は「通常の完了判定」に設定されています。（☞P109）



便利な機能のご紹介

電池切れになると通報する（電池切れ通報機能）

オプションの電池パック（☞P57）を取り付けているときには、電池パックの寿命などで通電中に電池パックの電圧が一定より下がると、あらかじめ登録してある通報先に電池パックが寿命であることを通報することができます。（☞P130）

また、停電中に電池パックの電圧が一定より下がったときは、あらかじめ登録してある通報先に通報することができます。（☞P128）

●お買い求め時は、電池切れ通報は「通報しない」に設定されています。（☞P110）



お知らせ

●電池パック（オプション）を取り付けていない場合は、電池切れ通報は行われません。

ペンダントが電池切れになると通報する（ペンダント電池切れ通報）

ペンダントの電池の電圧が一定より下がると、あらかじめ登録してある通報先に電池切れであることを通報することができます。（☞P59）

●お買い求め時は、ペンダント電池切れ通報は「通報しない」に設定されています。（☞P105）

録音したメッセージで通報する（録音音声メッセージ送出機能）

あんしんSVに接続した電話機を使って、通報音声メッセージを録音し、通報するときそのメッセージを流すことができます。[非常]を押しての通報、ペンダントによる通報、センサによる通報、リモートスイッチS2による通報で、それぞれ1つずつの録音音声メッセージを設定できます。（☞P96、106）

●お買い求め時は、通報音声メッセージは「緊急通報」などの音声合成メッセージに設定されています。（☞P113）

かかってきた電話に自動応答する（着信自動応答機能）

かかってきた電話に自動的に応答することができます。自動的に応答すると、「ただいま留守です。後ほどおかけください」というメッセージが流れます。

このとき、相手の方の声がスピーカから聞こえ、こちらの声や音が相手の方に聞こえます。着信自動応答のハンズフリー通話時間（☞P108）で設定されている時間が経過すると、自動的に電話が切れます。設定されている時間が経過する前に電話を切るには、**とめる**を押します。

●お買い求め時は、着信自動応答は「応答可（応答メッセージあり）」に設定されています。（☞P108）

応答を押して電話に出ることもできます。（☞P35）

ワンポイント

●着信自動応答の暗証番号認証設定について

テレコントロール機能の有無（☞P109）を「テレコントロールあり」に設定し、着信自動応答の暗証番号認証（☞P108）を「暗証番号認証なし」に設定すると、応答メッセージのあと、ハンズフリー通話の状態ですべての機能が可能になります。

「暗証番号認証あり」に設定すると、応答メッセージのあと、スピーカ受話（マイクオフ）の状態ですべての機能が可能になります。

・電話をかけてきた相手の方が暗証番号と \oplus を入力すると、ハンズフリー通話になります。

「テレコントロールあり」に設定しているときは、ハンズフリー通話の状態ですべての機能が可能になります。

・暗証番号を間違えたときは、「暗証番号をどうぞ」という音声案内がスピーカからと相手の方の両方に流れ、暗証番号と \oplus の入力待ちとなります。暗証番号を3回間違えると、自動的に電話が切れます。

お買い求め時は、「テレコントロールなし」、「暗証番号認証なし」に設定されています。

お知らせ

●着信自動応答したあとのハンズフリー通話中に緊急通報が行われると「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージがスピーカからとお話し中の相手の方の両方に流れ、通話が切れます。このあと、あんしんSVが緊急通報を行います。

●設定により、次のようなことができます。

- ・相手の方からの操作により、テレコントロールを行う（☞P46、108）
- ・着信自動応答の遅延時間を設定する（☞P108）
- ・自動応答してからのハンズフリー通話時間を設定する（☞P108）

便利な機能のご紹介

定時通報機能

ご使用のあんしんSVや電話回線に異常がないことを確認するために、あらかじめ設定した間隔ごとに、自動的に通報先への定時通報を実施することができます。

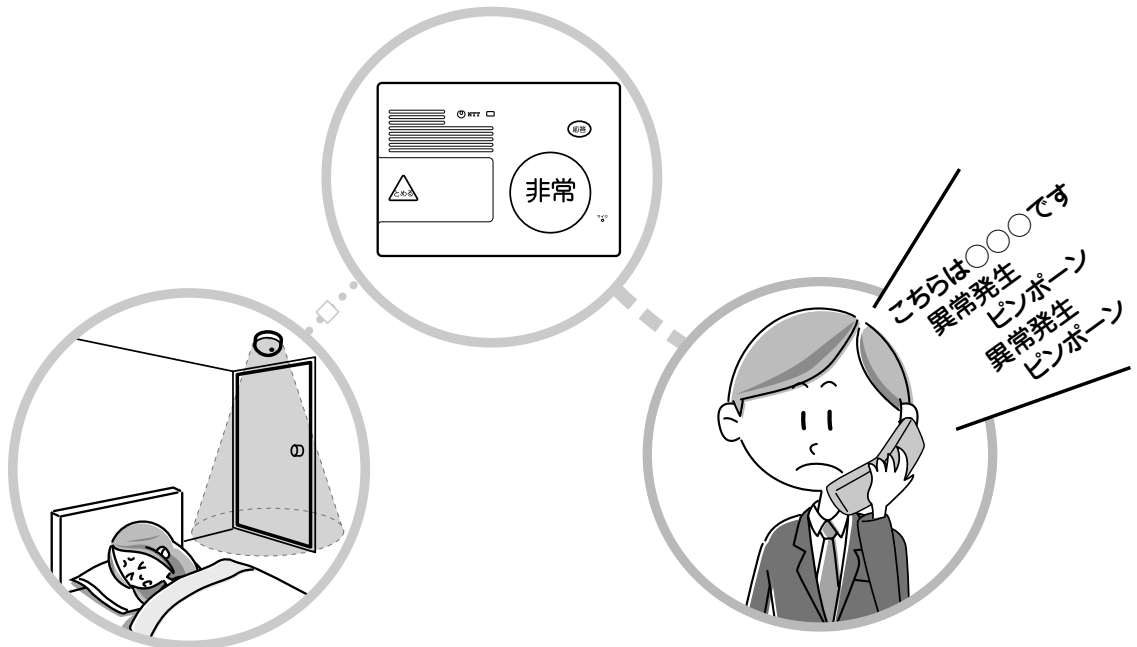
設定した時刻に定時通報が行われなかったときには、あんしんSVや電話回線に異常が発生したことがわかります。

定時通報を実施することをお勧めいたします。(☞P78)

生活周期異常通報機能（見守り機能）

ドアやトイレなどに取り付けしたセンサを通じて、一定時間以上センサの起動がない場合に通報する機能です。

たとえば、24時間の間に一度もトイレやお部屋への出入りがなかったときには、通報先で異変を察知できます。(☞P122)



常夜灯

あんしんSVの非常ランプは、夜間や明かりのない暗い場所でもボタンの場所がわかるように、常夜灯として弱い光で常時点灯させることができます。(☞P107)



お知らせ

- 緊急通報中は、非常ランプが点滅、点灯します。このとき、常夜灯は消灯します。

通報先の電話機から設定するには(テレコントロール機能)

通報先の電話機から、あんしんSVのハンドフリー通話時間を延長したり、マイクのオン／オフを切り替えるなどの遠隔操作（テレコントロール）をすることができます。あんしんSVに着信自動応答が設定されている場合は、外からあんしんSVに電話をかけてテレコントロールを行うことができます。

●お買い求め時は、着信自動応答は「応答可（応答メッセージあり）」、着信自動応答の遅延時間は「90秒」に設定されています。（☎P108）

テレコントロールは、操作内容に対応したダイヤルボタンを押し、プッシュ信号を送ることによって行います。

●お買い求め時は、テレコントロール機能の有無は「テレコントロールなし」に設定されています。（☎P109）

外からテレコントロールを行う

① あんしんSVからかかってきた通報の電話を受けます。
あんしんSVの着信自動応答が設定されている場合は、外からあんしんSVに電話をかけるとあんしんSVが自動応答します。

② 次の操作を行います。
操作は、ハンドフリー通話時間（お買い求め時は3分）以内に行ってください。

○：テレコントロール可 ×：テレコントロール不可

操作内容	ダイヤルボタン	着信に自動応答したとき	通報時
マイクをオンにして、ハンドフリー通話へ切り替える	④ ⊗	○	○
マイクをオフにする	⑤ ⊗	○	○
ハンドフリー通話時間を延長する（無限にする）	⑥ ⊗	○	○
回転灯などの動作の制御（メーク）	⑦ ⊗	○	○
回転灯などの動作の制御（ブレーク）	⑧ ⊗	○	○
通報音声メッセージを再生する	② ① ⊗	×	○
スピーカをオフにして、マイクの感度をアップする	④ ① ⊗	○	○
通報完了として電話を切る （他の通報先には通報しない）	⑨ ⊗	○	○
通報未完了とする	③ ① ⊗	×	○

③ 応答確認音「ピー、ピー」または通話終了音「ピー」が聞こえます。



ワンポイント

●テレコントロールができる電話機は

必ずプッシュ式（PB）またはプッシュ信号を送ることができる電話機をご利用ください。ダイヤル回線に接続されている電話機でも、プッシュ信号を送る機能があれば、テレコントロールを行うことができます。

●着信自動応答の暗証番号認証設定について（☎P43）



お知らせ

●以下の通報は、通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、約30秒間の無音のあとに通話が切れますので、手順2の操作は電話がつながったあと、早めに行ってください。

- 停電通報（☎P127）
- 復電通報（☎P129）
- 定時通報（☎P78）
- 生活周期異常通報（☎P122）

●周囲の雑音により正常に動作しないことがあります。

●テレコントロールをしているときに、あんしんSVのスピーカからプッシュ信号が聞こえることがあります。



お願い

●テレコントロール機能をご利用になるときは、あんしんSVに留守番機能付き電話機などを接続する場合でも、電話がかかってきたときにあんしんSVが応答するように、あんしんSVの着信自動応答の遅延時間を、留守番機能付き電話機などが着信に自動応答するまでの時間よりも短い時間に設定してください。（☎P108）

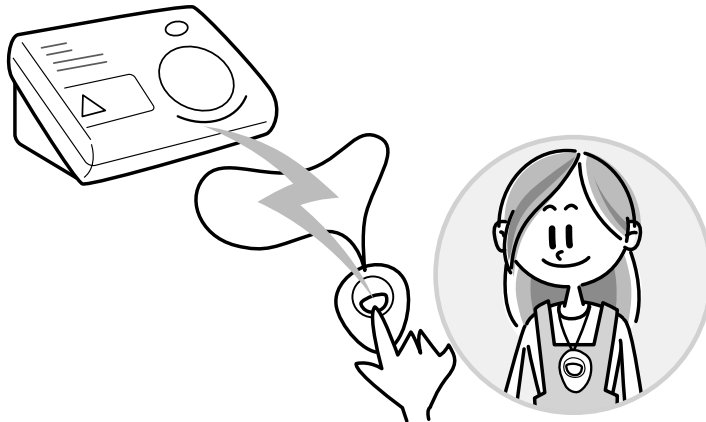
この場合、留守番機能付き電話機などの留守番機能は利用できません。

メ 毛

利用編

オプションを利用する

あんしんSVに接続できるオプションをご紹介します。また、ペンダントを使って緊急通報を行う方法を説明します。



オプションのご紹介	50
スタンドに立てて使うには	52
ペンダントを使うには	54
オプションを接続して使うには	56
ペンダントの電池を交換するには	58

お使いになる前に

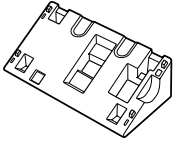


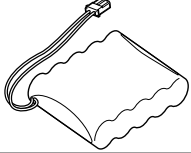
基本的な使いかた

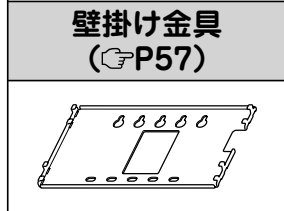
便利な機能

オプションを利用する

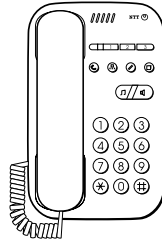
オプションのご紹介

あんしんSVには、より便利にお使いいただくためのオプションが用意されています。

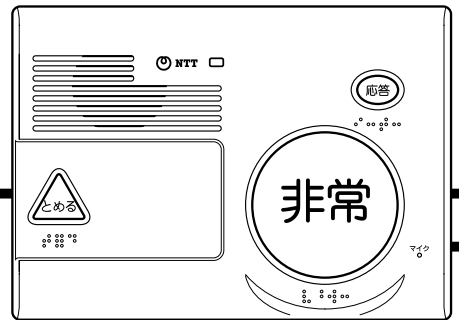
スタンド (☞P52)	小電力型ワイヤレス リモートスイッチ5 送信機 (☞P54)	リモート スイッチS2 (☞P56)	電池パック (デンチパック-106) (☞P57)
	 ペンダント		



お手持ちの電話機

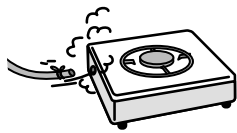


あんしんSV

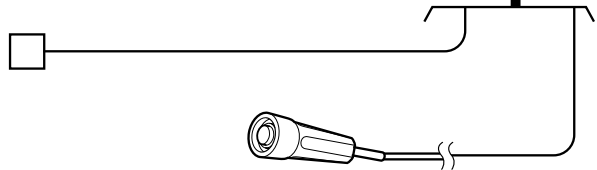


オプションを
利用する

オプションのご紹介



センサ端子には、市販のセンサ
(火災センサ／ガスもれセンサ、
生活リズムセンサなど)、または
リモートスイッチS2を接続して
ご利用いただけます。
(☞P56)

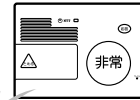
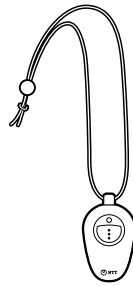


リモートスイッチS2のスイ
ッチを押すだけで、通報でき
ます。(☞P56)

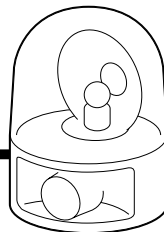
お知らせ

- あんしんSVで使用できるセンサや外部出力機器の詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

いつも身につけていられるペンダント型なので、あんしんSVから離れたところにいるときでも安心です。(☞P54)



EX端子には、市販の回転灯などの外部出力機器を接続してご利用いただけます。(☞P57)



 お知らせ

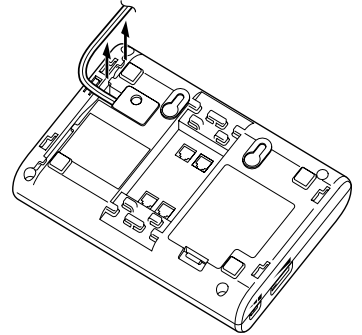
- ペンダントは最大16台接続できます。

スタンドに立てて使うには

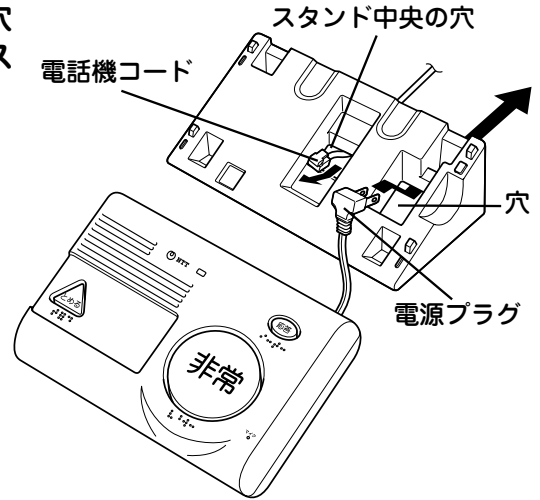
あんしんSVは、オプションのスタンドを取り付けることができます。

スタンドを取り付ける

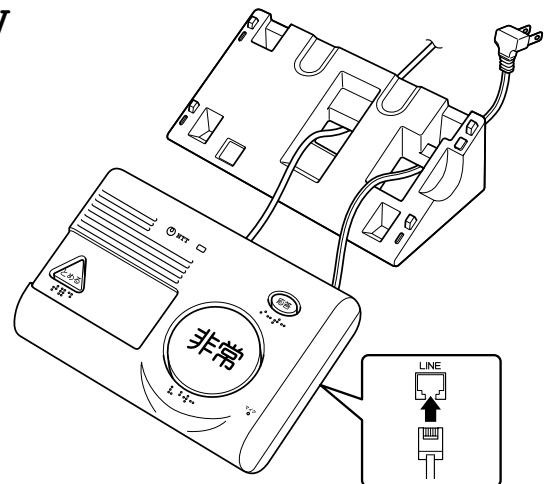
- ① 電源コードを電源コード押さえに差し込んでいる場合は、電源コード押さえから外します。



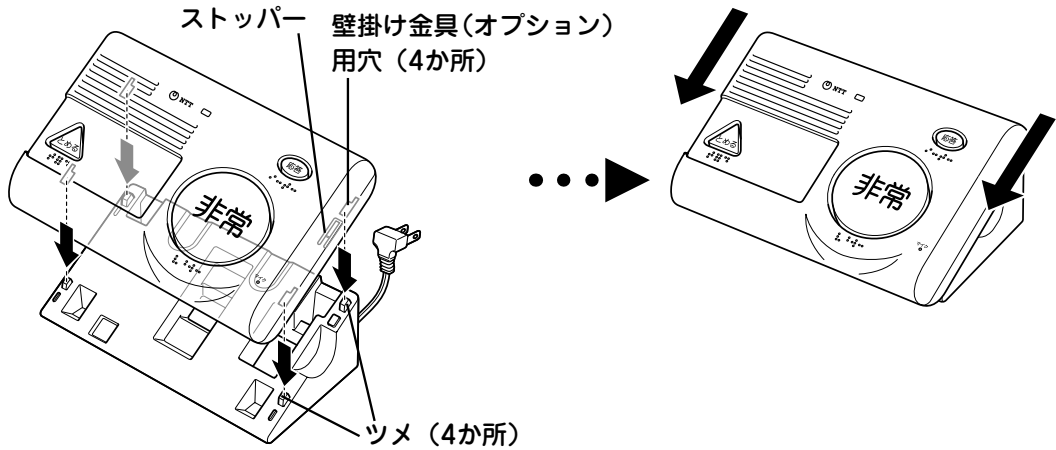
- ② 電話機コードなどをスタンド中央の穴に通し、電源コードの電源プラグをスタンドの穴に通します。



- ③ 電話機コードのコネクタをあんしんSVのLINE端子に差し込みます。

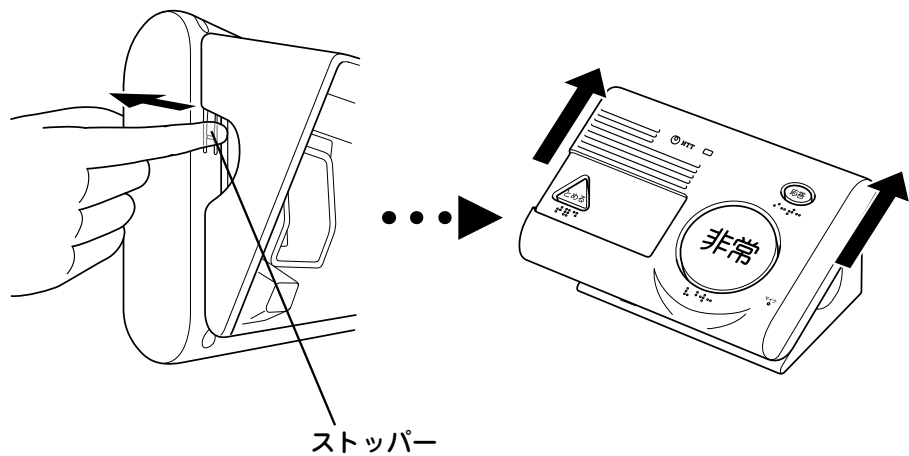


- ④ スタンドのツメ（4か所）をあんしんSVの底板の壁掛け金具（オプション）用穴に差し込み、あんしんSVを手前にスライドさせます。
 このときスタンドのツメで底板のストッパーを押し込まないでください。



スタンドを取り外す

ストッパーを押しながらあんしんSVを斜め上にスライドさせます。



オプションを利用する
 スタンドに立てて使うには

ペンダントを使うには

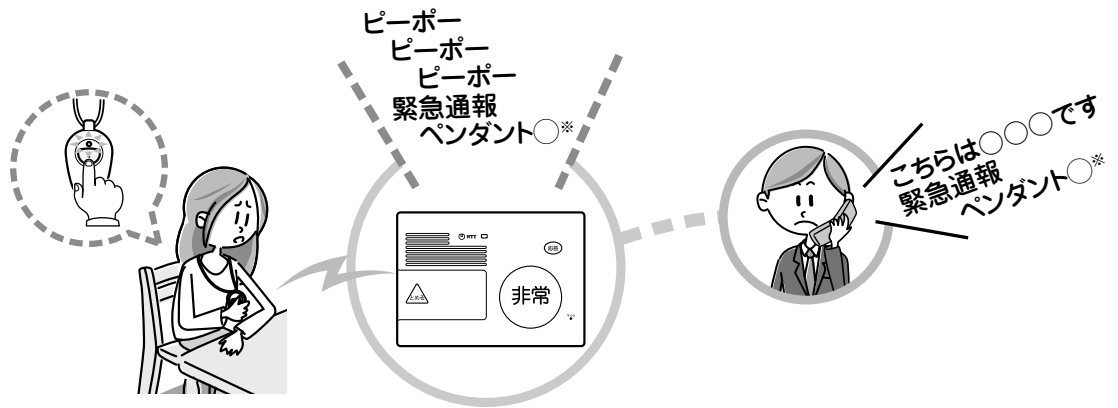
通報する

あんしんSVから離れたところにいるときでも、登録してある通報先に通報できます。ただし、ペンダントでお話することはできません。



ペンダントの通報ボタンを長めに押します（約0.5秒以上）。

ランプが点滅し、あんしんSVにあらかじめ登録してある通報先に通報します。



※ 〇はペンダントの番号

お知らせ

- 通報ボタンはランプが点滅するまで長めに（約0.5秒以上）押してください。
- ペンダントの電池の残量が少なくなると、ペンダントの通報ボタンを押してもランプが点滅しなくなります。電池を交換してください。（☎P58）
- あんしんSV（ワイヤレスセット）にはペンダントが1個付属しています。ペンダントを増設する場合は、「ペンダントを登録するには（増設）」（☎P124）を参照してください。
- あんしんSVにペンダントは付属していません。あんしんSVにペンダントを接続する場合は、「ペンダントを登録するには（増設）」（☎P124）を参照してください。
- 誤報対策のため、押している時間が0.5秒未満の場合は通報しません。

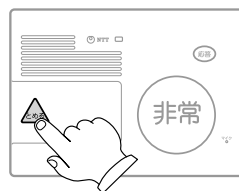
STOP お願い

- ペンダントからの電波が届く範囲は、あんしんSVから50 m程度（見通し距離）です。周囲の環境（壁、大型冷蔵庫など）によっては、ペンダントの使用範囲が狭くなることがあります。あらかじめ通報テスト（☎P55）を行い、通報できる範囲を確かめてください。

間違えて通報ボタンを押したときは

① あんしんSVの **とめる** を押します。

通報が停止します。



通報テストをする

① ペンダントの通報ボタンを長めに押します（約0.5秒以上）。



② ペンダントのランプが点滅し、あんしんSVから警報音が鳴ることを確認します。

③ あんしんSVの **とめる** を押します。

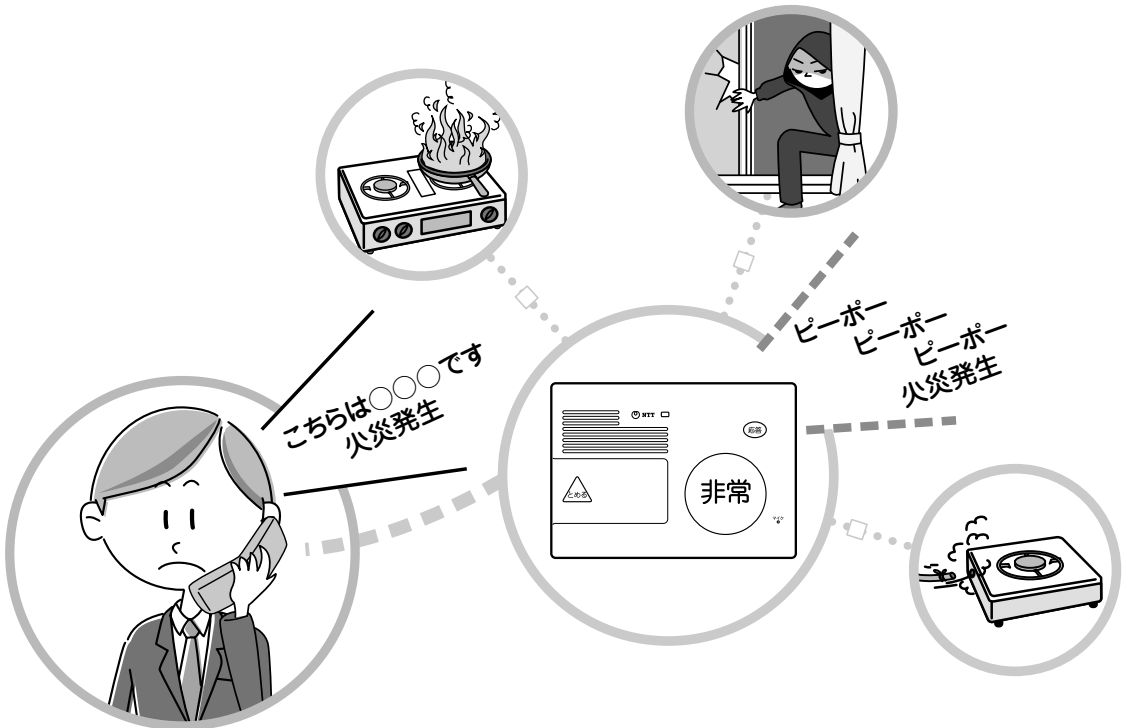
STOP お願い

- ペンダントのランプが点滅し、あんしんSVから警報音が鳴ることを確認したら、あんしんSVの **とめる** を押してください。 **とめる** を押さない場合は、通報が行われてしまいます。
- 1週間に1回の割合で定期的に通報テストを行い、正常に動作することを確認してください。通報テストのときに、ペンダントのランプが点滅することを確認してください。

オプションを接続して使うには

各種センサ

あんしんSVには、火災センサ、ガスもれセンサ、防犯用センサ、生活リズムセンサなどの市販のセンサを1台接続することができます。センサが異常を感知すると、あんしんSVが警報音を鳴らし、あらかじめ登録してある通報先に自動的に通報します。



お知らせ

- あんしんSVで使用できるセンサの詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

リモートスイッチS2

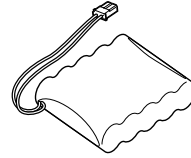
リモートスイッチS2は、あんしんSVのセンサ端子に接続することができます。

リモートスイッチS2のスイッチを押すだけで、通報できます。



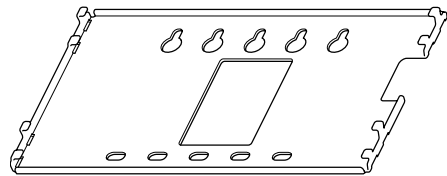
電池パック（デンチパック-106）

電池パックをセットしておくことで、停電になったときでも緊急通報ができます。（☞P127）



壁掛け金具

壁掛け金具と壁掛け用ネジ4本を使って壁や柱などに取り付けて使用することができます。



お知らせ

- 壁掛け金具を利用した壁掛け方法については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

外部出力機器

あんしんSVのEX端子に市販の回転灯などの外部出力機器を接続して、電話回線を介さずに緊急事態を通知することができます。



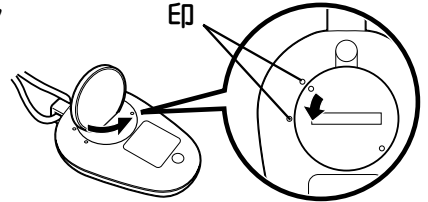
お知らせ

- あんしんSVで使用できる外部出力機器の詳細は、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

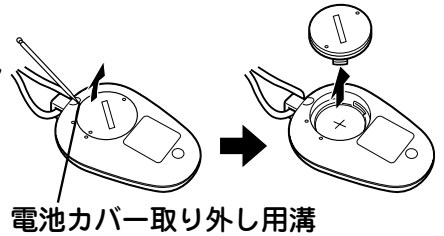
ペンダントの電池を交換するには

ペンダントに内蔵されているコイン形リチウム電池（CR2032）は消耗品です。電池の残量が少なくなると、あんしんSVの電源ランプが点滅し、あらかじめ登録してある通報先へ通報を行います。また、通報ボタンを押したときにランプが点滅しません。電池は、電池残量がある場合でも2年ごとに交換してください。

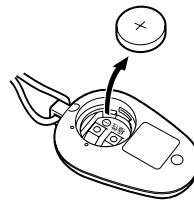
- ① 電池カバーの溝にコインなどを当て、ペンダントの印と電池カバーの印が合うまで回します。



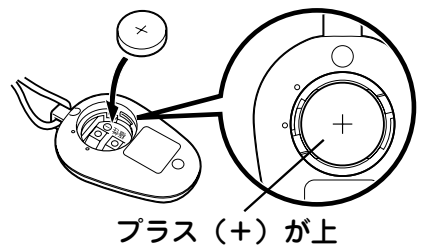
- ② 電池カバー取り外し用溝に先の細いものを引っかけ、持ち上げるようにして電池カバーを外します。



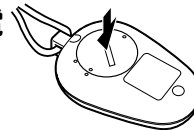
- ③ 古くなったコイン形リチウム電池を取り出します。



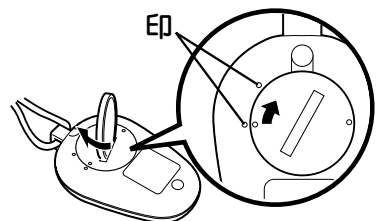
- ④ 新しいコイン形リチウム電池（CR2032）を、プラス（+）を上に向けてセットします。



- ⑤ 電池カバーの印とペンダントの印を合わせ、電池カバーをペンダントに押し込みます。



- ⑥ 電池カバーの溝にコインなどを当て、電池カバーの印とペンダントの印が合うまで回し、電池カバーを取り付けます。





ワンポイント

●電池の残量が少なくなると

ペンダント電池切れ通報を「通報する」に設定していると、あらかじめ登録してある通報先へ通報を行います。

お買い求め時は、「通報しない」に設定されています。(P105)

① あんしんSVのスピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、ペンダント○電池切れです」という警報音と警報メッセージ(○はペンダントの番号)が流れ、電源ランプが点滅します。

② 通報先に電話がつながると、「こちらは(電話番号)です。* ペンダント○電池切れです。ペンダント○電池切れです」という通報メッセージ(○はペンダントの番号)がスピーカからと相手の方の両方に流れます。通報が完了すると、電源ランプが点灯します。

※こちらの電話番号の登録が必要です。(P74)

- ・1か所目の通報先に電話がつながらなかったときは(P32)
- ・手順②で通報先に電話がつながったときにあんしんSVの応答ランプが点灯し、あんしんSVでハンドフリー通話ができます。
- ・手順②の通報メッセージは3回流れます。(お買い求め時の設定)



お知らせ

- 電池の交換は、あらかじめ静電気を除去してから行ってください。
- 電池の交換は、湿気の多い場所では行わないでください。湿気がペンダントの内部に入ると電池の液もれが発生しやすくなります。
- 1年ごとに、電池の液もれがないか点検してください。

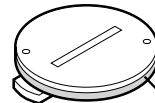


お願い

●コイン形リチウム電池は、電池残量がある場合でも2年ごとに交換してください。2年以上装着したままでご使用になると、液もれが発生するおそれがあります。

●電池カバーを取り外すときに、防水パッキンに傷を付けないようにしてください。傷が付くと簡易生活防水機能が維持できません。

●電池カバーの防水パッキン(青)が、ねじれたり、切れたりしている場合は、ペンダントの中に水などが入っている可能性がありますので、当社のサービス取扱所へご連絡ください。



防水パッキン

●使用推奨期限を過ぎた電池は使用しないでください。使用推奨期限を過ぎた電池を使用すると、使用中に液もれが発生するおそれがあります。

●電池を交換するときは、電池の液もれの跡がないかを確認してください。液もれの跡がある場合は、内部の点検が必要です。当社のサービス取扱所へご連絡ください。

●電池を交換したときは、ペンダントが正常に動作することを必ず確認してください。

① あんしんSVの「とめる」を押しながら「非常」と「応答」を3秒以上押します。

電源ランプ、非常ランプ、応答ランプが点滅します。ペンダントの電池確認モードになります。

② ペンダントの通報ボタンを長めに押します(約0.5秒以上)。

ペンダントのランプが点滅することを確認します。通報は行われません。

③ 「とめる」を押します。

ペンダントの電池確認モードが解除されます。

(次ページへつづく)

ペンダントの電池を交換するには

お知らせ

- お買い求め時にペンダントに内蔵されている電池は、工場出荷時に組み込んでいますので、仕様（P145）に記載されている電池寿命よりも短くなることがあります。
- 使用済みの電池は、他のゴミと分別するなど、適切に廃棄処理してください。

お願い

- 電池を交換したときは、タグ（電池交換時期表示札）（P28）に、電池を交換した年月日を記入してください。

接続方法

- 接続します（一般電話回線に接続する場合）……62
- 接続します
（ひかり電話対応機器に接続する場合）……64
- 接続します
（ISDNターミナルアダプタに接続する場合）……66

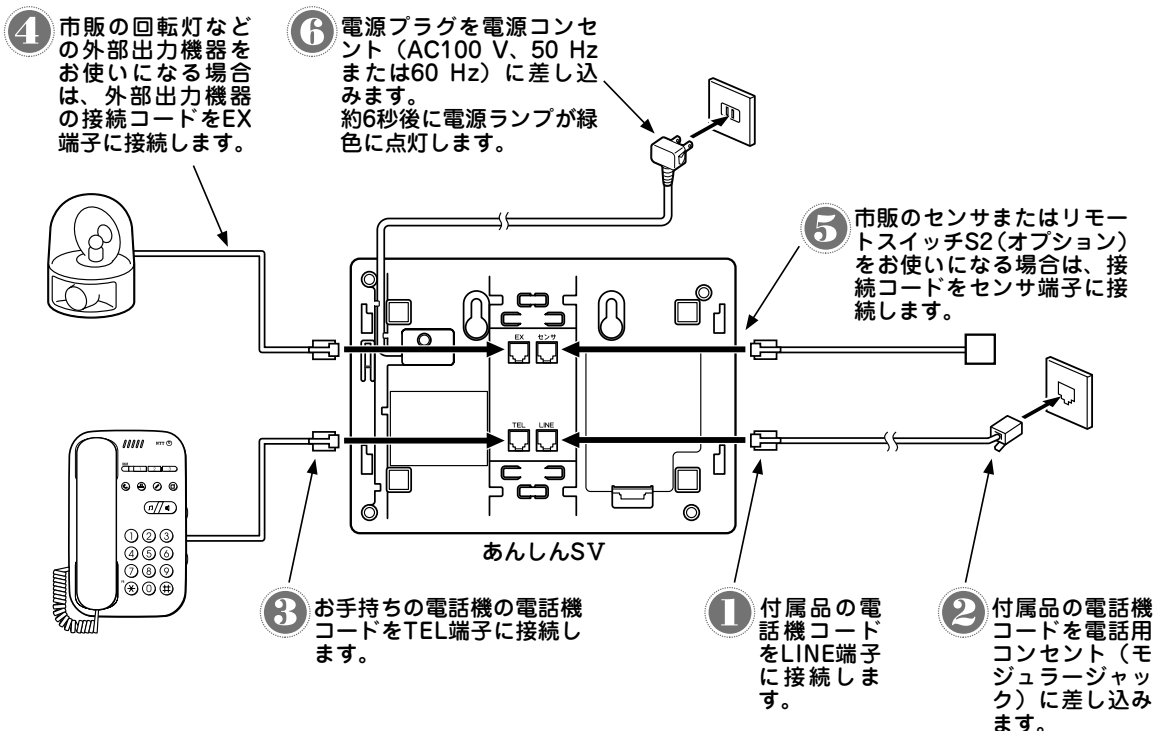
接続します (一般電話回線に接続する場合)

あんしんSVを一般電話回線に接続し、お手持ちの電話機をあんしんSVに接続します。

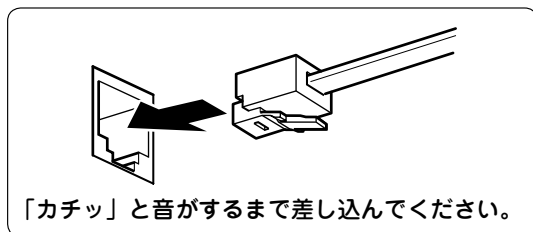
設定編

接続方法

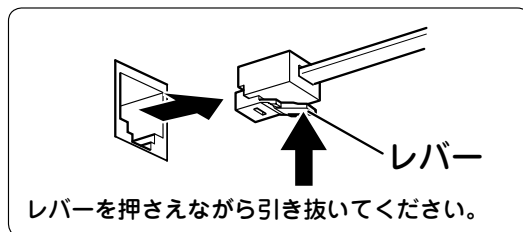
接続します (一般電話回線に接続する場合)



● 電話機コード等を差し込むとき



● 電話機コード等を引き抜くとき



🔊 お知らせ

- 手順6で、電源プラグを電源コンセント (AC100 V、50 Hz または60 Hz) に差し込んでから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、あんしんSVは使用できません。

 お知らせ

- 電話回線のコンセントがモジュージャック式でない場合は、工事が必要です。局番なしの116番または当社のサービス取扱所へご相談ください。
- あんしんSVや各構成品の形状は一例を示します。
- (財)電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- センサ端子には市販のセンサ（火災センサ／ガスもれセンサなど）、またはリモートスイッチS2を接続してご利用いただけます。

 お願い

- 設定の際、アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長3mの電話機コードを目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- あんしんSVを接続する電話用コンセント（モジュージャック）にはあんしんSVのみを接続し、他の電話機などをブランチ接続しないでください。
- あんしんSVに留守番機能付き電話機などを接続する場合は、電話がかかってきたときに留守番機能付き電話機などが応答するように、あんしんSVの着信自動応答の遅延時間を、留守番機能付き電話機などが着信に自動応答するまでの時間よりも長い時間に設定してください。（P108）
- 電源を再投入する場合は、電源を切った状態から10秒以上たったあと、電源の再投入を行ってください。再投入の間隔が短いと故障の原因となることがあります。
- 停電時には、あんしんSVを使用できません。ただし、電池パック（オプション）を取り付けると、停電時でもご使用になれます。

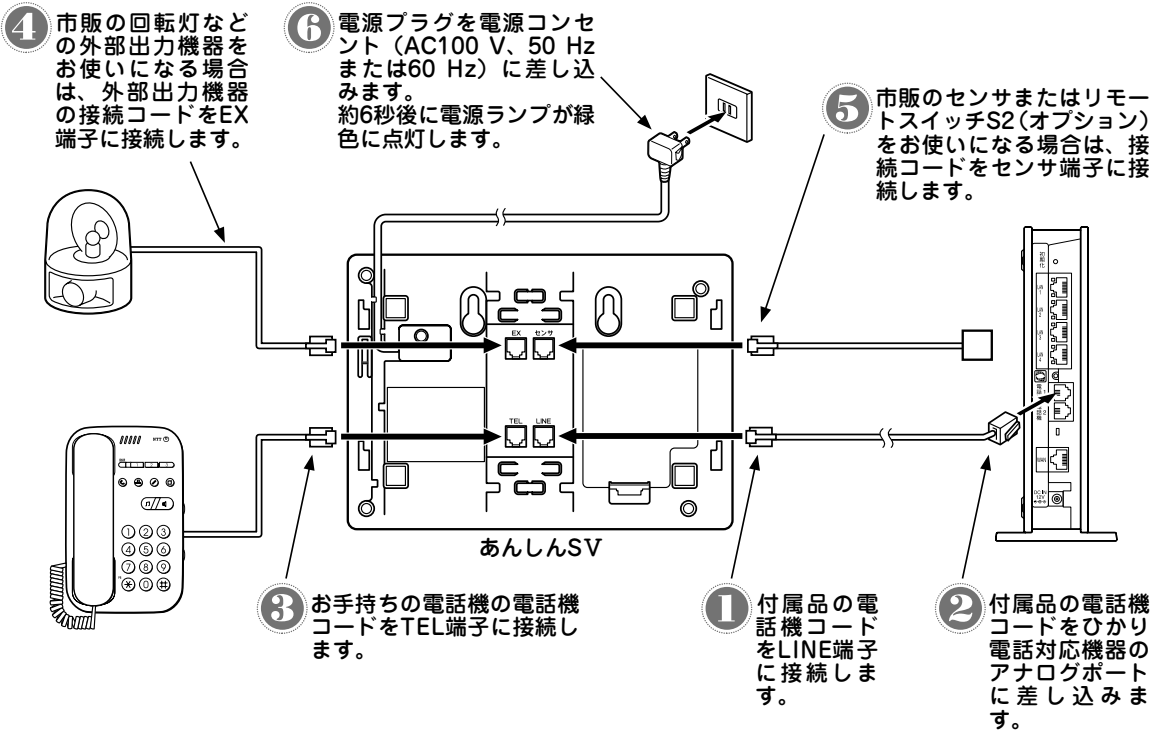
接続します (ひかり電話対応機器に接続する場合)

あんしんSVをひかり電話対応機器のアナログポートに接続し、お手持の電話機をあんしんSVに接続します。

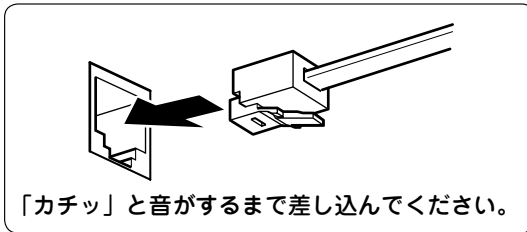
設定編

接続方法

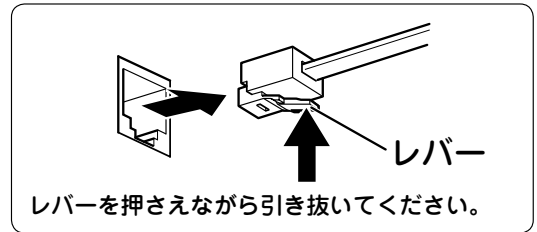
接続します (ひかり電話対応機器に接続する場合)



● 電話機コード等を差し込むとき



● 電話機コード等を引き抜くとき



● お知らせ

- 手順6で、電源プラグを電源コンセント (AC100 V、50 Hz または60 Hz) に差し込んでから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、あんしんSVは使用できません。

お知らせ

- あんしんSVや各構成品の形状は一例を示します。
- (財) 電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- センサ端子には市販のセンサ（火災センサ／ガスもれセンサなど）、またはリモートスイッチS2を接続してご利用いただけます。
- あんしんSVを接続できるひかり電話対応機器については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- ここで記載している構成以外の接続方法については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- ひかり電話対応機器のバージョンアップお知らせ機能により、お手持ちの電話機で電話をかけるときに、「ピーピーピー」という音が「ツー」という発信音の前に聞こえることがあります。また、通報のときに緊急通報優先機能（☎P37）が動作することがあります。この場合は、ひかり電話対応機器のファームウェアのバージョンアップを行ってください。ファームウェアのバージョンアップについては、ひかり電話対応機器の取扱説明書などを参照してください。

お願い

- 設定の際、アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長3mの電話機コードを目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- あんしんSVをひかり電話対応機器のアナログポートに接続した場合、ダイヤル種別の自動設定が動作しないことがありますので、ひかり電話対応機器のアナログポートのダイヤル種別に合わせて、ダイヤル種別の設定を行ってください。（☎P81）
- あんしんSVに留守番機能付き電話機などを接続する場合は、電話がかかってきたときに留守番機能付き電話機などが応答するように、あんしんSVの着信自動応答の遅延時間を、留守番機能付き電話機などが着信に自動応答するまでの時間よりも長い時間に設定してください。（☎P108）
- 電源を再投入する場合は、電源を切った状態から10秒以上たったあと、電源の再投入を行ってください。再投入の間隔が短いと故障の原因となることがあります。
- 停電時には、あんしんSVを使用できません。
- ひかり電話対応機器のアナログポートには、あんしんSVのみを接続してください。アナログポートが複数ある場合でも、あんしんSV以外のアナログ通信機器を接続しないでください。他のアナログ機器を接続すると、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。
- ひかり電話対応機器のLANポートには、IP電話機などを接続しないでください。接続すると、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。
- ここで記載している構成以外の接続方法では、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。

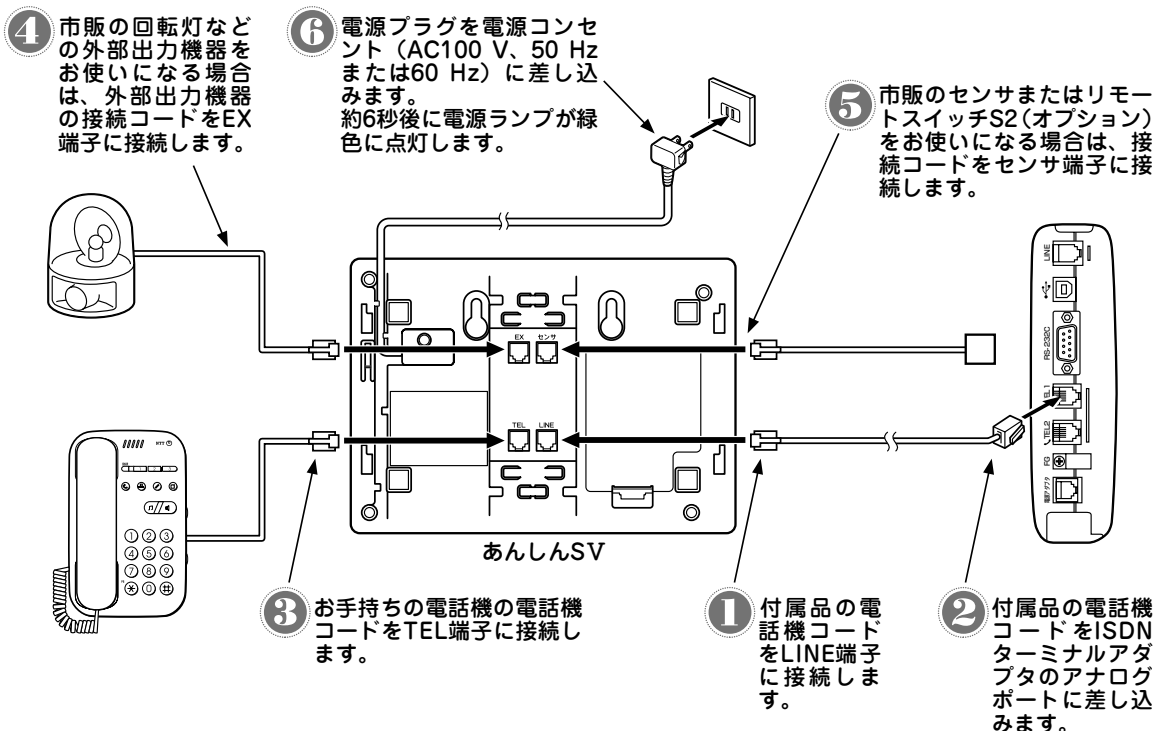
接続します (ISDNターミナルアダプタに接続する場合)

あんしんSVをISDNターミナルアダプタのアナログポートに接続し、お手持ちの電話機をあんしんSVに接続します。

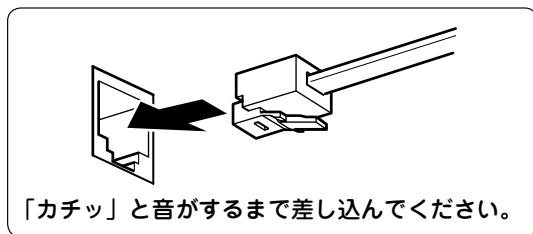
設定編

接続方法

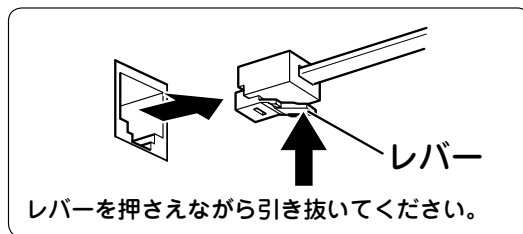
接続します (ISDNターミナルアダプタに接続する場合)



● 電話機コード等を差し込むとき



● 電話機コード等を引き抜くとき



🔊 お知らせ

- 手順6で、電源プラグを電源コンセント (AC100 V、50 Hz または60 Hz) に差し込んでから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、あんしんSVは使用できません。

お知らせ

- あんしんSVや各構成品の形状は一例を示します。
- (財)電気通信端末機器審査協会の適合認証を取得しているアナログ通信機器を接続してください。
- 一般の電話回線との仕様の違いにより、お使いいただけないアナログ通信機器もあります。
- センサ端子には市販のセンサ（火災センサ／ガスもれセンサなど）を接続してご利用いただけます。
- 本商品を接続できるISDNターミナルアダプタについては、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。
- ここで記載している構成以外の接続方法については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

お願い

- 設定の際、アナログ通信機器との接続に使用するケーブルの長さは、最長3mの電話機コードを目安としてください。
- 屋外に渡る配線は絶対に行わないでください。雷などによる故障の原因になります。
- 機器の接続に使用するコード類は、機器に付属のものを使うか、接続する機器に適合したものを使用してください。
- あんしんSVに留守番機能付き電話機などを接続する場合は、電話がかかってきたときに留守番機能付き電話機などが応答するように、あんしんSVの着信自動応答の遅延時間を、留守番機能付き電話機などが着信に自動応答するまでの時間よりも長い時間に設定してください。（GP108）
- 電源を再投入する場合は、電源を切った状態から10秒以上たったあと、電源の再投入を行ってください。再投入の間隔が短いと故障の原因となることがあります。
- 停電時には、あんしんSVを使用できません。ただし、ISDNターミナルアダプタが停電用電池で動作しているときは、あんしんSVに電池パック（オプション）をセットしていれば使用できます。
- ISDNターミナルアダプタのアナログポートには、あんしんSVのみを接続してください。アナログポートが複数ある場合でも、あんしんSV以外のアナログ通信機器を接続しないでください。他のアナログ機器を接続すると、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。
- デジタル回線接続装置やISDNターミナルアダプタのS/T端子にINSネット64用通信機器を接続しないでください。接続すると、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。
- ここで記載している構成以外の接続方法では、緊急通報優先機能が使用できないことがあります。

メ 毛

基本設定

作業の流れ	70
日付と時刻を設定します	72
こちらの電話番号を登録します	74
通報先の電話番号を登録します	76
定時通報を設定します	78
通報できることを確認します	80

作業の流れ

あんしんSVの接続と設定方法を説明します。作業の流れは次のようになっています。

設定編

接続します (☞P62、64、66)

あんしんSVと電話回線、電話機を接続します。

あんしんSVに接続した電話機の回線種別を「PB」に設定します

あんしんSVの設定を行うために、あんしんSVに接続した電話機の回線種別を「プッシュ式 (PB)」に設定します。設定方法については、お手持ちの電話機の取扱説明書などを参照してください。ダイヤル式 (DP) の電話機では設定できません。

日付と時刻を設定します (☞P72)

あんしんSVに日付と時刻を設定します。

こちらの電話番号を登録します (☞P74)

通報先にこちらの電話番号などを伝えるために、電話番号を登録します。こちらの電話番号は必ず登録してください。

通報先の電話番号を登録します (☞P76)

通報先1に通報先の電話番号を登録し、**非常**を押して通報できるように設定します。操作早見表に通報先の名前と電話番号を記入しておきましょう。

ひかり電話対応機器に接続する場合

定時通報を設定します (☞P78)

ひかり電話対応機器や電話回線に異常がないことを確認するために、あらかじめ設定した間隔ごとに、自動的に通報先への定時通報を行うように設定することをお勧めいたします。

通報できることを確認します (☞P80)

通報先1の相手の方に通報できることを確認します。通報先の相手の方にこれから通報テストをすることをあらかじめ連絡してください。

(次ページへつづく)

基本設定

作業の流れ



通報できなかったときは（ダイヤル種別の設定）（☞P81）

ダイヤル種別を設定します。



通報できることを確認します（☞P80）

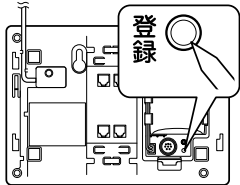


お知らせ

- お使いになる電話機によっては、あんしんSVを電話回線に接続しないと設定が行えない場合があります。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、設定中に電話がかかってきてハンドセットを置いたときは、相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されないことがあります。

日付と時刻を設定します

あんしんSVに日付と時刻を設定します。

1	登録 スイッチを約3秒間押す	
	先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の 登録 スイッチを約3秒間押します。 電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。	
2	電話機のハンドセットを取りあげる	
	あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。 電源ランプが点灯し、「ピー、〇年〇月〇日〇時〇分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。	
3	設定番号①①②を押す	
	現在設定されている内容の音声案内がハンドセットから聞こえます。 〔(例) 09年1月1日0時0分です〕	
4	年(西暦の下2桁)、月(01~12)、日(01~31)、時(00~23)、分(00~59)を入力する	
	(例) 2009年10月1日12時12分の場合 ①⑨①①①①②①②と押します。 年 月 日 時 分 (西暦の下2桁) 入力した値が間違っているときは、「ピピ」というエラー音と「設定できません」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。	
5	設定内容を確認する	
	「ピー」という完了音と「(例) 09年10月1日12時12分です」という音声案内がハンドセットから聞こえますので、正しく設定されているか確認してください。	
6	ハンドセットを置く	
	「ピー」という音が鳴ります。	



ワンポイント

- 操作を間違えたときは
「とめる」を押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。
- 設定を中止するには
「とめる」を押すか、ハンドセットを置きます。
- 続けて設定するには (P85)
- 設定中に電話がかかってきたときは (P85)

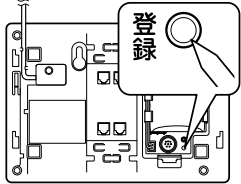


お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 以下の場合は、手順2で「09年1月1日0時0分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
 - ・お買い求め後、初めて設定を行うとき
 - ・「お買い求め時の設定に戻すには(初期化)」(P126)を行ったあと、初めて設定を行うとき
- 一度、日付と時刻を設定したあとに設定を行うときは、手順2で現在の日付と時刻「〇年〇月〇日〇時〇分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
- 時刻はあくまで目安としてご利用ください。
- 定期的に日付と時刻を設定し直してください。

こちらの電話番号を登録します

通報先にこちらの電話番号などを伝えるために、電話番号を登録します。

1	登録 スイッチを約3秒間押す	
	先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の 登録 スイッチを約3秒間押します。 電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。	
2	電話機のハンドセットを取りあげる	
	あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。 電源ランプが点灯し、「ピー、○年○月○日○時○分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。	
3	設定番号⑦②㊦を押す	
	現在設定されている内容の音声案内がハンドセットから聞こえます。 〔(例) P72は、ありません〕 〔(例) P72は、0312345678です〕	
4	こちらの電話番号を入力し、㊦を押す	
	電話番号は市外局番から押します。(最大16桁) (例) 0312345678の場合 ①③①②③④⑤⑥⑦⑧㊦と押します。 こちらの電話番号 確定	
	入力した値が間違っているときは、「ピピ」というエラー音と「設定できません」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。	
5	設定内容を確認する	
	「ピー」という完了音と「(例) P72は、0312345678です」という音声案内がハンドセットから聞こえますので、正しく設定されているか確認してください。	
6	ハンドセットを置く	
	「ピー」という音が鳴ります。	



ワンポイント

●＊、＃、スペースを入力するには

電話機の次のボタンを押して入力します。スペースも桁数に含まれます。

＊：(＊)①と押します。音声案内は「アスター」です。

＃：(＊)②と押します。音声案内は「シャープ」です。

スペース：(＊)⑤と押します。音声案内は「スペース」です。通報先にこちらの電話番号を伝えるときの音声案内は「の」です。

●操作を間違えたときは

[とめる]を押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。

●設定を中止するには

[とめる]を押すか、ハンドセットを置きます。

●続けて設定するには (☎P85)

●設定中に電話がかかってきたときは (☎P85)



お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 手順4で電話番号を16桁入力した場合は、最後の(＃)は不要です。
- ご利用になる電話回線の電話番号（契約者回線番号）の通知について
 - ・通報するときの電話番号の通知は、ご利用になる電話回線のご契約（通常通知／通常非通知）により決まります。ご利用になる電話回線のご契約が「通常非通知」の場合は、通報先の電話番号の前に「186」（通知する）を付けて登録してください。
 - ・あんしんSVに接続した電話機から電話をかけるときの電話番号の通知は、ご利用になる電話回線のご契約（通常通知／通常非通知）やあんしんSVに接続した電話機の設定、および相手の方の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて指定するかにより決まります。

通報先の電話番号を登録します

通報する相手の方の電話番号を登録します。通報先は9か所まで登録することができます。



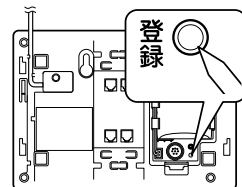
お知らせ

- 特別な許可がないかぎり、通報先の電話番号に110番、119番、118番は登録しないでください。

登録 スイッチを約3秒間押す

1

先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の「登録」スイッチを約3秒間押します。
電源ランプが点滅し、「ブー」という登録音が鳴ります。



電話機のハンドセットを取りあげる

2

あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。
電源ランプが点灯し、「ピー、○年○月○日○時○分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。

通報先1の設定番号①①を押し、☎を押す

3

現在設定されている内容の音声案内がハンドセットから聞こえます。
〔(例) P01は、ありません〕
〔(例) P01は、0312341111A1です〕

通報先の電話番号と通報方式を入力する

4

通報先の電話番号を市外局番から押し、続けて通報方式を押します。
(例) 通報先の電話番号が0312341111、通報方式が「音声通報 (合成音声)」の場合
①③①②③④①①①①①☎③①と押します。
通報先の電話番号 通報方式

入力した値が間違っているときは、「ピピ」というエラー音と「設定できません」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。

設定内容を確認する

5

「ピー」という完了音と「(例) P01は、0312341111A1です」という音声案内がハンドセットから聞こえますので、正しく設定されているか確認してください。
設定値は下記の欄に記入しておいてください。

通報先1	
------	--

ハンドセットを置く

6

「ピー」という音が鳴ります。



ワンポイント

- 電話番号にフリーダイヤルなどの電話番号を登録するときは手順4で、電話番号の前に「P」を入力します。
- P、A、＊、＃、ポーズを入力するには
電話機の次のボタンを押して入力します。ポーズも桁数に含まれます。
P : (＊)④と押します。音声案内は「ピー」です。
A : (＊)③と押します。音声案内は「エー」です。
＊ : (＊)①と押します。音声案内は「アスター」です。
＃ : (＊)②と押します。音声案内は「シャープ」です。
ポーズ : (＊)⑤と押します。音声案内は「スペース」です。約3秒間のダイヤル待ち時間が入ります。
ポーズを先頭に入力することはできません。
- 通報方式とは (☎P87)
- 操作を間違えたときは
[とめる]を押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。
- 設定を中止するには
[とめる]を押すか、ハンドセットを置きます。
- 続けて設定するには (☎P85)
- 設定中に電話がかかってきたときは (☎P85)



お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいるときや電源が入っていないときは、通信事業者の音声案内などが応答し、通報を完了します。(お買い求め時の設定)
- 通報先2、通報先3を設定すると (☎P88)、通報先1→通報先2→通報先1→通報先2→通報先3の順に通報します。(お買い求め時の設定)

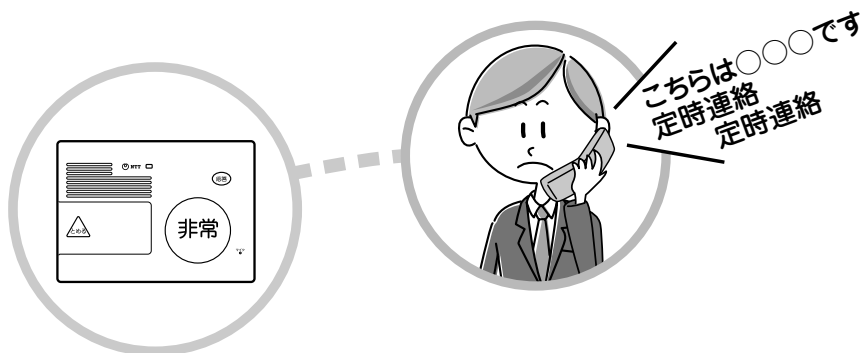


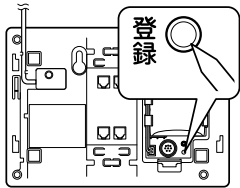
お願い


- ダイヤル種別 (☎P81) の設定を「自動」(お買い求め時の設定) に設定している場合は、電話番号を2桁以上登録してください。
- 以下のような場合は、音声通報時の通報完了判定を「プッシュ信号受信で完了判定」に設定し、通報が完了したことを確認できるようにしてください。(☎P109)
お買い求め時は「通常の完了判定」に設定されています。
 - ・携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録したとき
 - ・通報先が留守番電話などで応答する可能性があるとき

定時通報を設定します

ひかり電話対応機器に接続する場合は、ひかり電話対応機器や電話回線に異常がないことを確認するために、あらかじめ設定した間隔ごとに、自動的に通報先への定時通報を行うように設定することをお勧めいたします。設定した時刻に定時通報が行われなかったときには、ひかり電話対応機器や電話回線に異常が発生したことがわかります。また、一般電話回線に接続する場合やISDNターミナルアダプタに接続する場合も、定時通報を利用して、異常がないことを確認することができます。



1	登録 スイッチを約3秒間押す 先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の 登録 スイッチを約3秒間押します。 電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。 
2	電話機のハンドセットを取りあげる あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。 電源ランプが点灯し、「ピー、〇年〇月〇日〇時〇分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
3	設定番号 ⑧ ① ㊦ を押す 現在設定されている内容の音声案内がハンドセットから聞こえます。 〔(例) P81は、0000000010です〕

設定値を入力する	
4	<p>(例) 翌月の1日午前8時00分から7日ごとに通報する場合 と押します。</p> <p>定時通報開始日時 通報周期 通報間隔単位 (0 : XX日後、① : XX時間後)</p> <p>入力した値が間違っているときは、「ピー」というエラー音と「設定できません」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。</p>
	設定内容を確認する
5	<p>「ピー」という完了音と「(例) P81は、0108000070です」という音声案内がハンドセットから聞こえますので、正しく設定されているか確認してください。</p>
ハンドセットを置く	
6	<p>「ピー」という音が鳴ります。</p>



ワンポイント

- 操作を間違えたときは
を押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。
- 設定を中止するには
を押すか、ハンドセットを置きます。
- 続けて設定するには (P85)
- 設定中に電話がかかってきたときは (P85)



お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- 定時通報を行うと通話料金がかかります。

通報できることを確認します

登録した通報先1の相手に通報できることを確認します。
通報先の相手の方にこれから通報テストをすることをあらかじめ連絡してください。

通報できることを確認する

1	非常 を押す スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、電源ランプと非常ランプが点滅します。 通報先に電話がつながると非常ランプが点灯し、「こちらは(例)0312345678です。緊急通報。緊急通報。ピー、ピー」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。応答ランプが点灯します。
2	マイクとスピーカを使って相手の方とお話する 通報メッセージが終わったあとにお話してください。
3	とめる を押す 非常ランプと応答ランプが消え、電源ランプが点灯し、通報を終了します。

ワンポイント

- テスト通報で確認するには
「117」(時報)に電話をかけて、通報できるかどうかを確認することができます。(お買い求め時の設定)
 - ① **とめる**を押しながら、**非常**を3秒以上押します。
電源ランプが点滅し、テスト通報が起動します。
電話がつながると、「こちらは(電話番号)です。通報試験。通報試験」という通報メッセージがスピーカから聞こえます。
応答ランプが点灯します。
 - ② 時報が聞こえることを確認したら、**とめる**を押します。
応答ランプが消え、電源ランプが点灯し、テスト通報を終了します。

お知らせ

- あんしんSVに接続した電話機でお話中に**非常**を押したときには、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージがあんしんSVに接続した電話機とお話中の相手の方の両方に流れ、通話が切れます。このあと、あんしんSVが通報を行います。
- 電話がかかっているときに**非常**を押したときには、かかってきた電話にあんしんSVが応答し、「緊急通報のため電話を切ります。緊急通報のため電話を切ります」という切断メッセージが電話をかけてきた相手の方に流れ、通話が切れます。このあと、あんしんSVが通報を行います。
- テスト通報は、通報先9に電話をかけます。お買い求め時は、通報先9に「117」が登録されています。(P90)
- 「117」(時報)に電話をかけると通話料金がかかります。

通報できなかったときは（ダイヤル種別の設定）

あんしんSVは、ご利用になっている電話回線のダイヤル種別を判別して、ダイヤル種別を自動設定します。（お買い求め時の設定）

通報できなかったときは、ダイヤル種別が正しく設定できなかった可能性があります。次の手順でダイヤル種別を設定します。

1	<p>登録 スイッチを約3秒間押す</p> <p>先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の 登録 スイッチを約3秒間押します。 電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。</p> 
2	<p>電話機のハンドセットを取りあげる</p> <p>あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。 電源ランプが点灯し、「ピー、○年○月○日○時○分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。</p>
3	<p>設定番号⑨①②を押し</p> <p>現在設定されている内容の音声案内がハンドセットから聞こえます。 〔例〕P90は、31001100です〕</p>
4	<p>設定値を入力する</p> <p>「①：PB」にする場合： ①①①①①①①①と押します。 「①：DP（10PPS）」にする場合： ①①①①①①①①と押します。 「②：DP（20PPS）」にする場合： ②①①①①①①①と押します。 「③：自動」にする場合： ③①①①①①①①と押します。</p> <p style="text-align: center;">ダイヤルの種別</p> <p style="text-align: center;">このとおりに入力してください</p> <p>入力した値が間違っているときは、「ピピ」というエラー音と「設定できません」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。</p>
5	<p>設定内容を確認する</p> <p>「ピー」という完了音と「〔例〕P90は、21001100です」という音声案内がハンドセットから聞こえますので、正しく設定されているか確認してください。</p>
6	<p>ハンドセットを置く</p> <p>「ピー」という音が鳴ります。</p>

（次ページへつづく）

通報できることを確認します

通報できることを確認する

7

ダイヤル種別の設定が終わったら、もう一度「通報できることを確認する」(☎P80)の操作を行ってください。



ワンポイント

- 操作を間違えたときは
[とめる]を押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。
- 設定を中止するには
[とめる]を押すか、ハンドセットを置きます。
- 続けて設定するには (☎P85)
- 設定中に電話がかかってきたときは (☎P85)



お知らせ

- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- ダイヤル種別の設定を「自動」に設定している場合は、以下のときに、ご利用になっている電話回線のダイヤル種別を判別して、ダイヤル種別を自動設定します。お買い求め時は「自動」に設定されています。(☎P107)
 - ・ お買い求め後、最初の通報のとき
 - ・ 「お買い求め時の設定に戻すには(初期化)」(☎P126)を行ったあと、最初の通報のとき
 - ・ 電池パック(オプション)を取り付けていない場合に停電になり、停電が復旧したあと、最初の通報のとき
 - ・ 停電時に電池パック(オプション)の電池残量がなくなり、停電が復旧したあと、最初の通報のとき
 - ・ テスト通報(☎P80)のとき
- ダイヤル種別の設定を「自動」以外から「自動」に設定した場合は、必ずテスト通報(☎P80)を行い、ダイヤル種別を自動設定してください。



お願い

- すべての数字を正確に入力してください。正しく入力しないと正常に動作しません。
- Lモードをご契約の場合は、ダイヤル種別の自動判別ができませんので、ご利用になっている電話回線に合わせてダイヤル種別を設定してください。
- 電話回線のダイヤル種別契約を変更する際は、必ず事前に当社のサービス取扱所に確認してください。契約を変更すると正常に通報できなくなる場合があります。

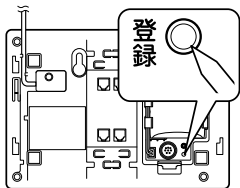
システムデータ設定

システムデータを設定するには……………	84
システムデータ設定一覧……………	86

システムデータを設定するには

あんしんSVに接続した電話機を使って、各種機能の設定を行うことができます。

設定操作の流れ

1	登録 スイッチを約3秒間押す 先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の 登録 スイッチを約3秒間押します。 電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。 
2	電話機のハンドセットを取りあげる あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。 電源ランプが点灯し、「ピー、〇年〇月〇日〇時〇分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。
3	2桁の設定番号（00～99）を入力し、Ⓜを押す 設定番号については、「システムデータ設定一覧」を参照してください。（☎P86～116） （例）通報先1を設定する場合 ①② Ⓜ と押します。 現在設定されている内容の音声案内がハンドセットから聞こえます。 〔（例）P01は、ありません〕 〔（例）P01は、0312341111A1です〕
4	システムデータを入力する システムデータについては、「システムデータ設定一覧」を参照してください。（☎P86～116） システムデータによっては、最後に Ⓜ を押す必要があります。 （例）電話番号が「0312341111」、通報方式が「音声通報（合成音声）」の場合 ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ Ⓜ ③①と押します。 電話番号 通報方式 入力した値が間違っているときは、「ピピ」というエラー音と「設定できません」という音声案内が聞こえ、手順3へ戻ります。
5	設定内容を確認する 「ピー」という完了音と設定内容の音声案内がハンドセットから聞こえますので、正しく設定されているか確認してください。
6	ハンドセットを置く 「ピー」という音が鳴ります。



ワンポイント

●P、A、＊、＃を入力するには

電話機の次のボタンを押して入力します。

P：(＊)④と押します。音声案内は「ピー」です。

A：(＊)③と押します。音声案内は「エー」です。

＊：(＊)①と押します。音声案内は「アスター」です。

＃：(＊)②と押します。音声案内は「シャープ」です。

●続けて設定するには

手順5のあとに手順3から操作してください。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。

●操作を間違えたときは

とめるを押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。

●設定を中止するには

とめるを押すか、ハンドセットを置きます。

●設定中に電話がかかってきたときは

呼出音は鳴らず、応答ランプは点滅しません。

●設定番号ごとに設定値を初期化するには

手順4で、最初に(＊)①を押すと、「ピー」という完了音と「初期化しました」という音声案内がハンドセットから聞こえ、設定中の項目を初期化することができます。

●すべての設定値を初期化するには (☎P126)



お知らせ

- あんしんSVに接続している電話機の回線種別を「プッシュ式 (PB)」に設定してください。設定方法については、お手持ちの電話機の取扱説明書などを参照してください。ダイヤル式 (DP) の電話機では設定できません。
- 手順1で、「プー」という登録音が鳴ったあとに約30秒間何も操作をしないときは、「ピー」という音が鳴り、設定が中止されます。
- 設定中に約5分間何もボタンを押さないときは、「ピー」という音が鳴り、設定が中止されます。
- ご利用になる環境の変更などにより設定を変更する場合は、設定を行う前に必ず初期化を行ってください。(☎P126)
- お使いになる電話機によっては、あんしんSVを電話回線に接続しないと設定が行えない場合があります。
- Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順1で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。
- ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、設定中に電話がかかってきてハンドセットを置いたときは、相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されないことがあります。
- 音声案内が聞こえている間に設定番号やシステムデータを入力したときは、正常に入力できないことがあります。その場合は、音声案内が終了してからもう一度入力してください。
- お使いになる電話機によっては、ダイヤルボタンを早く押すと正常に入力できないことがあります。その場合は、ゆっくりと確実に入力してください。
- 周囲の雑音により正常に動作しないことがあります。
- 設定中は通報などを行うことはできません。

システムデータ設定一覧

時計データの設定

日付と時刻を設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P00 0901010000 □□□□□□ ① ② ③ ④ ⑤	①年	年を入力する (西暦の下2桁) ①①～⑨⑨ : 00～99年	09	
	②月	月を入力する ①①～①② : 01～12月	01	
	③日	日を入力する ①①～③① : 01～31日	01	
	④時	時を入力する (24時間制) ①①～②③ : 00～23時	00	
	⑤分	分を入力する ①①～⑤⑨ : 00～59分	00	



お知らせ

- 時計データは、定時通報、生活周期異常通報に必要となります。
- 時刻はあくまで目安としてご利用ください。
- 定期的に日付と時刻を設定し直してください。

通報先の登録

通報先の電話番号と通報方式を登録します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P01 (通報宛先1) P0312341111A1 ① ② ③	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先1の電話番号を設定する ①~③、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声 + 録音音声)	なし	

(次ページへつづく)



ワンポイント

●P、A、*、#、ポーズを入力するには

電話機の次のボタンを押して入力します。ポーズも桁数に含まれます。

P: (✳)④と押します。音声案内は「ピー」です。

A: (✳)③と押します。音声案内は「エー」です。

*: (✳)①と押します。音声案内は「アスター」です。

#: (✳)②と押します。音声案内は「シャープ」です。

ポーズ: (✳)⑤と押します。音声案内は「スペース」です。約3秒間のダイヤル待ち時間が入ります。

ポーズを先頭に入力することはできません。

●電話番号にフリーダイヤルなどの電話番号を登録するときは

「①回線の極性反転」に「P」を入力します。

●電話番号の最大桁数は

・「①回線の極性反転」に「P」を入力したときは29桁

・「①回線の極性反転」の設定を省略したときは30桁



お知らせ

●特別な許可がないかぎり、通報先の電話番号に110番、119番、118番は登録しないでください。

●通報先の電話番号のみ入力し、通報方式を省略することはできません。

●システムデータの設定で、「①回線の極性反転」と「②電話番号」を入力しないで(✳)を押した場合は、「①回線の極性反転」、「②電話番号」、「③通報方式」の設定が消去されます。

STOP お願い

●電話番号は必ず市外局番から登録してください。

●ダイヤル種別 (☎P81) の設定を「自動」(お買い求め時の設定) に設定している場合は、電話番号を2桁以上登録してください。

●通常は、「①回線の極性反転」の設定は省略してください。「②電話番号」にフリーダイヤルなどの電話番号を登録する場合は、「①回線の極性反転」に「P」を設定してください。

システムデータ設定一覧

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P02 (通報宛先2) P0312341111A1 	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先2の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	
P03 (通報宛先3) P0312341111A1 	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先3の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	
P04 (通報宛先4) P0312341111A1 	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先4の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	
P05 (通報宛先5) P0312341111A1 	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先5の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	



ワンポイント

●P、A、*、#、ポーズを入力するには (P87)

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P06 (通報宛先6) P0312341111A1 ① ② ③	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先6の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	
P07 (通報宛先7) P0312341111A1 ① ② ③	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先7の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	

(次ページへつづく)



お知らせ

- 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録した場合、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいるときや電源が入っていないときは、通信事業者の音声案内などが応答し、通報を完了します。(お買い求め時の設定)



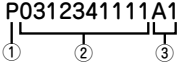
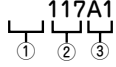
お願い

- 以下のような場合は、音声通報時の通報完了判定を「プッシュ信号受信で完了判定」に設定し、通報が完了したことを確認できるようにしてください。(G-P109)
お買い求め時は「通常の完了判定」に設定されています。
 - ・ 携帯電話機やPHS対応電話機を通報先に登録したとき
 - ・ 通報先が留守番電話などで応答する可能性があるとき

システムデータ設定一覧

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P08 (通報宛先8) P0312341111A1 	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先8の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	なし	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	なし	
P09 (通報宛先9) 117A1 	①回線の極性反転	極性反転をする回線かどうかを設定する (省略): 極性反転をする回線 (通常回線) P: 極性反転をしない回線	なし	
	②電話番号	通報先9の電話番号を設定する ①~⑨、*、#、ポーズ	117	
	③通報方式	通報方式を設定する A①: 音声通報 (合成音声) A②: 音声通報 (合成音声+録音音声)	A1	



ワンポイント

- P、A、*、#、ポーズを入力するには (☎P87)



お知らせ

- 通報宛先9の電話番号を消去した場合は、テスト通報 (☎P80) を行いません。

通報順序、通報回数、通報終了タイミングの設定

各通報について、通報順序、通報回数、通報終了のタイミングを設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。
*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P21 (緊急通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A ① ② ③ ④	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	

(次ページへつづく)

ワンポイント

- 通報の順序を設定するには
(例) 通報先1→通報先7→通報先3の順で通報する場合、最初の3桁を①⑦③と押します。
- スペース、Aを入力するには
スペース: (✖)⑤と押します。音声案内は「スペース」です。
A: (✖)③と押します。音声案内は「エー」です。
- 通報順序の最大宛先数は
 - ・ 通報回数と通報終了タイミングの設定を入力するときは13宛先
 - ・ 通報回数を入力し、通報終了タイミングの設定を省略するときは14宛先
 - ・ 通報回数と通報終了タイミングの設定を省略するときは16宛先

お知らせ

- 通報回数と通報終了タイミングの設定を省略する場合は、通報順序を入力し、(⊕)を押してください。通報順序を16宛先入力した場合は、(⊕)を押す必要はありません。
- 通報終了タイミングの設定を省略する場合は、通報回数を入力し、(⊕)を押してください。通報順序を14宛先入力してから通報回数を入力した場合は、(⊕)を押す必要はありません。
- システムデータの設定で、通報順序を入力しないで(⊕)を押した場合は、下記の設定となり通報を行いません。
 - ① 通報順序 なし (通報を行いません)
 - ③ 通報回数 (省略): 2回
 - ④ 通報終了タイミング (省略): 1宛先に通報して終了する
- 通報先2、通報先3を設定すると (P88)、通報先1→通報先2→通報先1→通報先2→通報先3の順に通報します。(お買い求め時の設定)
通報先の設定がない場合は、通報を行いません。

システムデータ設定一覧

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容/システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P22(リモートスイッチS2による通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	
P23 (ペンダントによる通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	
P24 (センサ通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	
P28 (電池切れ通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	



ワンポイント

- スペース、Aを入力するには (P91)

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P30 (定時通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨：通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①：無限 ①～⑨：1～9回 (省略)：2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A：全宛先に通報して終了する (省略)：1宛先に通報して終了する	A	
P31 (生活周期異常通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨：通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①：無限 ①～⑨：1～9回 (省略)：2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A：全宛先に通報して終了する (省略)：1宛先に通報して終了する	A	
P32 (停電／復電通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨：通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①：無限 ①～⑨：1～9回 (省略)：2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A：全宛先に通報して終了する (省略)：1宛先に通報して終了する	A	
P34 (テスト通報) 9 スペース 1 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨：通報宛先1～9	9	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①：無限 ①～⑨：1～9回 (省略)：2回	1	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A：全宛先に通報して終了する (省略)：1宛先に通報して終了する	なし	

(次ページへつづく)

システムデータ設定一覧

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容/システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P35 (ワイヤレスセンサグループ1通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	
P36 (ワイヤレスセンサグループ2通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	
P37 (ワイヤレスセンサグループ3通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	
P38 (ワイヤレスセンサグループ4通報) 1 2 1 2 3 スペース 2 A 	① 通報順序	通報する順序を設定する ①～⑨: 通報宛先1～9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①～⑨: 1～9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	



ワンポイント

- スペース、Aを入力するには (P91)

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P39 (ペンダント電池切れ通報) 1 2 1 2 3スペース2A ① ② ③ ④	① 通報順序	通報する順序を設定する ①~⑨: 通報宛先1~9	1 2 1 2 3	
	② スペース	通報回数を設定する場合は、スペースを入力する	スペース	
	③ 通報回数	通報回数を設定する ①: 無限 ①~⑨: 1~9回 (省略): 2回	2	
	④ 通報終了タイミング	通報を終了するタイミングを設定する A: 全宛先に通報して終了する (省略): 1宛先に通報して終了する	A	

相手の方を呼び出す時間の設定

相手の方を呼び出す時間を設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P40 6 0 0 0 0 0 0 0 ① 固定	① 呼び出し時間	相手の方を呼び出す時間を設定する ①: 10秒 ②: 20秒 ③: 30秒 ④: 40秒 ⑤: 50秒 ⑥: 60秒	6	
	固定	必ず①①①①①①①①を入力する	0000000	0000000

システムデータ設定一覧

通報音声メッセージの録音

音声通報時またはワイヤレスセンサ通報時の音声メッセージを録音します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 録音した内容を書き込んでおくと便利です。

設定番号	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	録音内容 ^{*2}
P41 (録音音声1)	録音音声1を録音する (約20秒)	なし	
P42 (録音音声2)	録音音声2を録音する (約20秒)	なし	
P43 (録音音声3)	録音音声3を録音する (約20秒)	なし	
P44 (録音音声4)	録音音声4を録音する (約20秒)	なし	
P45 (録音音声5)	録音音声5を録音する (約20秒)	なし	
P46 (録音音声6)	録音音声6を録音する (約20秒)	なし	
P47 (録音音声7)	録音音声7を録音する (約20秒)	なし	
P48 (録音音声8)	録音音声8を録音する (約20秒)	なし	

ワンポイント

● 音声を録音するには

音声を録音するときは、次のように操作します。

① あんしんSVの電池カバー内部の「登録」スイッチを先のとがったもので約3秒間押します。

電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。

② あんしんSVに接続した電話機のハンドセットを取りあげます。

電源ランプが点灯し、「ピー、○年○月○日○時○分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。

③ 設定番号 (41~48) を入力し、**Ⓜ**を押します。

・録音がされている場合は、「(例) P41は、(録音されているメッセージ) です」がハンドセットから聞こえます。

・録音がされていない場合は、「(例) P41は、録音はありません」という音声案内がハンドセットから聞こえます。

④ **①** **Ⓜ**を押します。

「録音を開始します。ピーという音のあとにメッセージをどうぞ」という音声案内のあと、「ピー」という音がハンドセットから聞こえます。

⑤ 音声メッセージを録音します。

⑥ **Ⓜ**を押すと録音を終了します。**Ⓜ**を押さないときは、録音開始から約20秒たつと自動的に録音を終了します。

「ピー」という完了音のあとに「(例) P41は、(録音されているメッセージ) です」がハンドセットから聞こえますので、必ず録音内容を確認してください。

Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をご利用の場合は、手順①で「プー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください。

● 録音したメッセージを通報に使用するには

音声通報時のメッセージは「通報方式」(P87)と「録音音声フレーズの設定」(P106)で設定します。

ワイヤレスセンサ通報時のメッセージは「ワイヤレスセンサ通報時の録音メッセージの設定」で設定します。(P99)



ワンポイント

●録音されているメッセージを確認するには

手順③で、録音されているメッセージを確認したあとに(Ⓜ)を押します。
 手順③の設定番号入力待ちに戻ります。

●録音を中止するには

[とめる]を押すか、電話機のハンドセットを置きます。

手順⑤で、音声メッセージを録音中に[とめる]を押したときは、[とめる]を押すまでのメッセージが録音されます。

手順⑤で、音声メッセージを録音中に電話機のハンドセットを置いたときは、電話機のハンドセットを置くまでのメッセージが録音されます。



お知らせ

●新しいメッセージを録音すると、前のメッセージは上書きされます。

●録音音声フレーズの設定 (P106) で「録音音声1」～「録音音声8」を選択していても、音声録音されていない場合は、音声合成メッセージが送出されます。

ペンダントの設定

ペンダントをワイヤレスセンサに設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P50	①ペンダント1	ペンダント1～16をワイヤレスセンサとして使用するかどうかを設定する(1～16桁目にそれぞれ設定する)	0000000000000000	
0 0 0 0 0 0 0 0	②ペンダント2			
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	③ペンダント3			
0 0 0 0 0 0 0 0	④ペンダント4			
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	⑤ペンダント5			
⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	⑥ペンダント6			
	⑦ペンダント7			
	⑧ペンダント8			
	⑨ペンダント9			
	⑩ペンダント10			
	⑪ペンダント11			
	⑫ペンダント12			
	⑬ペンダント13			
	⑭ペンダント14			
	⑮ペンダント15			
	⑯ペンダント16			

システムデータ設定一覧

ワイヤレスセンサグループの通報の設定

ワイヤレスセンサグループ1~4によって通報するかどうかを設定します。また、通報に使用するメッセージを設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P51 1 1 1 1 0 0 0 0 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧	①ワイヤレスセンサグループ1の通報の可否	ワイヤレスセンサグループ1~4で通報するかどうかを設定する (1~4桁目にそれぞれ設定する) ①: 通報しない ②: 通報する	1111	
	②ワイヤレスセンサグループ2の通報の可否			
	③ワイヤレスセンサグループ3の通報の可否			
	④ワイヤレスセンサグループ4の通報の可否			
	⑤ワイヤレスセンサグループ1の音声フレーズ	ワイヤレスセンサグループ1~4で使用するメッセージを選択する (5~8桁目にそれぞれ設定する) ①: 「ワイヤレスセンサ (1~16) 異常」 ②: 「火災発生」 ③: 「盗難発生」 ④: 「地震がきます」 ⑤: 「呼び出し中です」 ⑥: 「センサが動作しました」 ⑦: 「異常発生」 ⑧: メッセージなし (「こちらは (電話番号) です」と通報する) ⑨: メッセージなし	0000	
	⑥ワイヤレスセンサグループ2の音声フレーズ			
	⑦ワイヤレスセンサグループ3の音声フレーズ			
	⑧ワイヤレスセンサグループ4の音声フレーズ			



ワンポイント

- 録音した音声メッセージを使用するには
ワイヤレスセンサ通報時に、録音した音声メッセージを使用することもできます。(P99)

ワイヤレスセンサ通報時の録音メッセージの設定

ワイヤレスセンサ通報時に使用する録音音声メッセージを設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P52 0000 0000 ① ② ③ ④ 固定	①ワイヤレスセンサグループ1の録音音声	ワイヤレスセンサグループ1で使用する録音音声を選択する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	②ワイヤレスセンサグループ2の録音音声	ワイヤレスセンサグループ2で使用する録音音声を選択する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	③ワイヤレスセンサグループ3の録音音声	ワイヤレスセンサグループ3で使用する録音音声を選択する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	④ワイヤレスセンサグループ4の録音音声	ワイヤレスセンサグループ4で使用する録音音声を選択する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	固定	必ず①①①①を入力する	0000	0000

お知らせ

- 通報音声メッセージを録音していない場合に「録音音声1」～「録音音声8」に設定したときは、音声合成メッセージが送出されます。
- 通報音声メッセージを録音している場合でも「なし」に設定したときは、音声合成メッセージが送出されます。

システムデータ設定一覧

ワイヤレスセンサ通報時の接点出力の設定

ワイヤレスセンサ通報時の接点出力の有無を設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P53 1 1 1 1 0 0 0 0 ① ② ③ ④ 固定	①ワイヤレスセンサグループ1の接点出力の有無	ワイヤレスセンサグループ1～4の接点出力の有無を設定する (1～4桁目にそれぞれ設定する) ①：なし ②：あり	1111	
	②ワイヤレスセンサグループ2の接点出力の有無			
	③ワイヤレスセンサグループ3の接点出力の有無			
	④ワイヤレスセンサグループ4の接点出力の有無			
	固定	必ず①②③④を入力する	0000	0000

ワイヤレスセンサグループのモードの設定

ワイヤレスセンサグループのセンサモードを設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P54 0 0 0 0 0 0 0 0 ① ② ③ ④ 固定	①ワイヤレスセンサグループ1のセンサモード	ワイヤレスセンサグループ1のセンサモードを設定する ①：センサ ②：生活周期異常通報連動	0	
	②ワイヤレスセンサグループ2のセンサモード			
	③ワイヤレスセンサグループ3のセンサモード			
	④ワイヤレスセンサグループ4のセンサモード			
	固定	必ず①②③④を入力する	0000	0000

こちらの電話番号の登録

通報先にこちらの電話番号を伝えるために、電話番号を登録します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号（例）	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P72 0 3 1 2 3 4 5 6 7 8	音声による通報で使用するこちらの電話番号を登録する （最大16桁） ①～⑨、＊、＃、スペース	なし	



ワンポイント

●＊、＃、スペースを入力するには

電話機の次のボタンを押して入力します。スペースも桁数に含まれます。

＊：(＊)①と押します。音声案内は「アスター」です。

＃：(＊)②と押します。音声案内は「シャープ」です。

スペース：(＊)⑤と押します。音声案内は「スペース」です。通報先にこちらの電話番号を伝えるときの音声案内は「の」です。



お知らせ

- システムデータの設定で、こちらの電話番号を1～15桁入力した場合は、最後に(＃)を押します。
- システムデータの設定で、こちらの電話番号を入力しないで(＃)を押した場合は、こちらの電話番号が消去されます。



お願い

- 電話番号は必ず市外局番から登録してください。

システムデータ設定一覧

暗証番号の設定

暗証番号を設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P73 0000	暗証番号を登録する (最大16桁) ①～⑨	なし	



お知らせ

- システムデータの設定で、暗証番号を1～15桁入力した場合は、最後に(Ⓜ)を押します。
- システムデータの設定で、暗証番号を入力しないで(Ⓜ)を押した場合は、暗証番号が消去されます。

応答後ガイダンス送待待ち時間、音声検出確定時間の設定

応答後ガイダンス送待待ち時間、音声検出確定時間を設定することにより、フリーダイヤルなどの極性反転をしない電話番号に通報したときや極性反転をしない回線をご利用の場合でも通報先の応答を認識し、通報メッセージを送出することができます。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P76 1 0 0 0 0 0 0 0 ① ② ① ② 固定	① 応答後ガイダンス送待待ち時間	応答後、通報メッセージを送出するまでの待ち時間を設定する ①: 5秒 ②: 9.5秒	1	
	② 音声検出確定時間	音声検出確定時間を設定する ①: 250 ms ②: 600 ms ③: 1秒 ④: 2秒 ⑤: 3秒 ⑥: 4秒	0	
	固定	必ず①②③④⑤⑥を入力する	000000	000000



お知らせ

- 「② 音声検出確定時間」は、通報先の音声を連続して検出する時間を設定します。設定した時間音声を連続して検出すると通報先が応答したと判定し、通報メッセージを送出します。
- 通報先の音声を検出できない場合は、「① 応答後ガイダンス送待待ち時間」に設定した時間が経過すると通報メッセージを送出します。通報先が応答したあとの状態によっては、通報メッセージを送出するまでの待ち時間が長くなる場合があります。

定時通報の設定

設定した時刻になると定時通報が起動するように、通報間隔の単位と通報周期を設定します。

通報しない場合は、「①定時通報開始日時」の日に00を設定します。

ご使用のあんしんSVや電話回線に異常がないことを確認するために、定時通報を実施することをお勧めいたします。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 *1	ユーザ設定値 *2
P81 0000000010 ① ② ③ 固定	①定時通報開始日時	定時通報を開始する日、時、分を設定する	日 ①①～③①：00～31日	00
			時 (24時間制) ①①～②③：00～23時	00
			分 ①①～⑤⑨：00～59分	00
	②通報間隔単位	通報間隔の単位を設定する ①：xx日後に通報する ②：xx時間後に通報する	0	
③通報周期	通報周期を設定する <通報間隔単位を①に設定した場合> ①①：1日後に通報する ①②：2日後に通報する …… ②③：23日後に通報する ②④：24日後に通報する <通報間隔単位を②に設定した場合> ①①：1時間後に通報する ①②：2時間後に通報する …… ②③：23時間後に通報する ②④：24時間後に通報する	01		
固定	必ず①を入力する	0	0	

システムデータ設定一覧

生活周期異常通報（見守り機能）の設定

生活周期異常通報の開始時刻と終了時刻、検出方法、センサの検出回数を設定します。2種類の設定方法があります。

生活周期異常通報の開始時刻と終了時刻を設定し、開始時刻と終了時刻の間に設定した回数以上センサが動作したとき、または設定した回数以上センサが動作しないときに通報を行う場合の設定です。通報しない場合は、「①生活周期開始時刻」と「②生活周期終了時刻」に00を設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号（例）	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P82 0000000001 固定 ① ② 固定 ③ ④	固定	必ず①①を入力する	00	00
	①生活周期開始時刻	開始時刻を設定する（24時間制） ①①～②③：00～23時	00	
	②生活周期終了時刻	終了時刻を設定する（24時間制） ①①～②③：00～23時	00	
	固定	必ず①①を入力する	00	00
	③生活周期異常通報での検出方法	生活周期異常通報での検出方法を設定する ①：未満 ①：以上	0	
	④センサの検出回数	センサの検出回数を設定する ①：1回 ②：3回 ③：5回 ④：10回 ⑤：20回 ⑥：50回 ⑦：100回 ⑧：150回 ⑨：200回	1	

一定間隔時間内のセンサの動作を監視し、その時間内に設定した回数以上センサが動作したとき、または設定した回数以上センサが動作しないときに通報を行う場合の設定です。

通報しない場合は、「①通報開始日時」に000000を設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号（例）	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P82 0000000001 ① ② ③ ④	①通報開始日時	通報開始日時を設定する（24時間制） 〇〇日〇〇時〇〇分 （例）19日8時15分に設定する場合 190815	000000	
	②通報を監視する時間間隔	通報を監視する時間間隔を設定する ①①～④⑧：01～48時間	00	
	③生活周期異常通報での検出方法	生活周期異常通報での検出方法を設定する ①：未満 ①：以上	0	
	④センサの検出回数	センサの検出回数を設定する ①：1回 ②：3回 ③：5回 ④：10回 ⑤：20回 ⑥：50回 ⑦：100回 ⑧：150回 ⑨：200回	1	

センサやペンダント電池切れ通報可否の設定

センサによって通報するかどうかや、ペンダントの電池切れのときに通報するかどうかを設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号（例）	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P83 1 0 0 0 0 0 0 0 ① 固定 ② 固定	①センサ通報の可否	センサで通報をするかどうかを設定する ①：通報しない ②：通報する	1	
	固定	必ず①①①を入力する	000	000
	②ペンダント電池切れ通報	ペンダントの電池切れ通報をするかどうかを設定する ①：通報しない ②：通報する	0	
	固定	必ず①①①を入力する	000	000

システムデータ設定一覧

録音音声フレーズの設定

音声通報時の各通報で、録音した音声メッセージを使用するように設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P89 0 0 0 0 0 0 0 0 ① ② ③ ④ 固定	①緊急通報メッセージ	緊急通報で使うメッセージを設定する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	②リモートスイッチS2通報メッセージ	リモートスイッチS2による通報で使うメッセージを設定する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	③ペンダント通報メッセージ	ペンダントによる通報で使うメッセージを設定する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
	④センサ異常通報メッセージ	センサによる通報で使うメッセージを設定する ①: なし ①: 録音音声1 ②: 録音音声2 ③: 録音音声3 ④: 録音音声4 ⑤: 録音音声5 ⑥: 録音音声6 ⑦: 録音音声7 ⑧: 録音音声8	0	
固定		必ず①①①①を入力する	0000	0000



お知らせ

- 通報音声メッセージを録音していない場合に「録音音声1」～「録音音声8」に設定したときは、音声合成メッセージが送出されます。
- 通報音声メッセージを録音している場合でも「なし」に設定したときは、音声合成メッセージが送出されます。

ダイヤル種別、外線着信、キータッチ音、常夜灯の設定

使用する電話回線のダイヤル種別、あんしんSVの外線着信、ランプ表示、キータッチ音について設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P90 3 1 0 0 1 1 0 0 ① ② 固定 ③ ④ 固定 定 定	①ダイヤル種別	電話回線の種別を設定する ①：PB ①：DP (10PPS) ②：DP (20PPS) ③：自動	3	
	②あんしんSVの着信設定	あんしんSVで着信するかどうかを設定する ①：着信なし ①：着信あり ②：ボタン使用不可 (着信しない)	1	
	固定	必ず①①を入力する	00	00
	③電源ランプ、常夜灯の点灯 / 消灯	電源ランプ、常夜灯の点灯 / 消灯を設定する ①：電源ランプ消灯、常夜灯消灯 ②：電源ランプ点灯、常夜灯消灯 ③：電源ランプ消灯、常夜灯点灯 ④：電源ランプ点灯、常夜灯点灯	1	
	④キータッチ音	キータッチ音を鳴らすかどうかを設定する ①：なし ①：あり	1	
	固定	必ず①①を入力する	00	00



お知らせ

- 着信自動応答 (☞P108) を「応答可」に設定していると、「②あんしんSVの着信設定」を「着信なし」または「ボタン使用不可」に設定していても、着信自動応答をします。
- 「①ダイヤル種別」の設定を「自動」に設定している場合は、以下のときに、ご利用になっている電話回線のダイヤル種別を判別して、ダイヤル種別を自動設定します。お買い求め時は「自動」に設定されています。
 - ・お買い求め後、最初の通報のとき
 - ・「お買い求め時の設定に戻すには (初期化)」 (☞P126) を行ったあと、最初の通報のとき
 - ・電池パック (オプション) を取り付けていない場合に停電になり、停電が復旧したあと、最初の通報のとき
 - ・停電時に電池パック (オプション) の電池残量がなくなり、停電が復旧したあと、最初の通報のとき
 - ・テスト通報 (☞P80) のとき
- 「①ダイヤル種別」の設定を「自動」以外から「自動」に設定した場合は、必ずテスト通報 (☞P80) を行い、ダイヤル種別を自動設定してください。



お願い

- Lモードをご契約の場合は、ダイヤル種別の自動判別ができませんので、ご利用になっている電話回線に合わせてダイヤル種別を設定してください。
- 電話回線のダイヤル種別契約を変更する際は、必ず事前に当社のサービス取扱所に確認してください。契約を変更すると正常に通報できなくなる場合があります。

システムデータ設定一覧

着信自動応答、テレコントロールの設定

着信自動応答、テレコントロールについて設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P91 1 0 9 0 3 0 0 0 ① ② ③ ④ ⑤ 固 ⑥ 定	①着信自動応答	着信自動応答するかどうかを設定する ①: 応答不可 ②: 応答可 (応答メッセージあり) ③: 応答可 (応答メッセージなし)	1	
	②着信自動応答の暗証番号認証	着信自動応答時に暗証番号認証をするかどうかを設定する ①: 暗証番号認証なし ②: 暗証番号認証あり	0	
	③着信自動応答の遅延時間	着信自動応答時の応答遅延時間を設定する ①②: 即応答 ③④~⑤⑥: 1~99秒	90	
	④着信自動応答のハンドフリー通話時間	着信自動応答時のハンドフリー通話の時間を設定する ①: 無限 ②~⑥: 1~9分	3	
	⑤着信自動応答のハンドフリー通話時の外付け電話機への転送	着信自動応答のハンドフリー通話時に外付け電話機へ転送するかどうかを設定する ①: 転送なし ②: 転送あり	0	
	固定	必ず①を入力する	0	0
	⑥テレコントロール待ち時間、暗証番号入力待ち時間	テレコントロール待ち時間、暗証番号入力待ち時間を設定する ①: 30秒 ②: 1分 ③: 3分	0	

ワンポイント

●着信自動応答の暗証番号認証設定について

テレコントロール機能の有無 (P109) を「テレコントロールあり」に設定し、着信自動応答の暗証番号認証を「暗証番号認証なし」に設定すると、応答メッセージのあと、ハンドフリー通話の状態でもテレコントロールが可能になります。「暗証番号認証あり」に設定すると、応答メッセージのあと、スピーカ受話 (マイクオフ) の状態で暗証番号入力待ちとなります。

STOP お願い

- 周囲が騒がしいときは、着信に自動応答したあとに相手の方が電話を切っても通話が切れないことがありますので、「④着信自動応答のハンドフリー通話時間」は「1~9分」に設定し、「無限」は設定しないでください。

警報送出等の設定

警報の送出方法、テレコントロールの有無などについて設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P92 0 0 2 1 4 1 0 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ 定 定	①警報送出	警報音、警報メッセージを送出するかどうかを設定する ①: 警報音+警報メッセージ ②: 警報音のみ ③: 無音/無点灯 警報音と警報メッセージを送出しない 優先通報による強制切断時のメッセージを送出しない 非常ランプ、電源ランプが点滅しない 通報後ハンドフリー通話にならない(マイクのみオン)	0	
	固定	必ず①を入力する	0	0
	②音声通報時の通報完了判定	音声通報時に通報が完了したことを判定する方法を設定する ①: 通常の完了判定 ②: プッシュ信号受信で完了判定	0	
	③音声通報時のメッセージ繰り返し数	メッセージを繰り返す回数を設定する ①: 1回 ②: 2回 ③: 3回 ④: 10回 ⑤: 20回	2	
	④ダイヤルトーン未検出時の動作	ダイヤルトーン未検出時の動作を設定する ①: 通報開始 ②: 切断動作	1	
	固定	必ず④を入力する	4	4
	⑤優先通報による強制切断時のメッセージの有無	優先通報による強制切断時のメッセージの有無を設定する ①: メッセージなし ②: メッセージあり	1	
⑥テレコントロール機能の有無	テレコントロール機能の有無を設定する ①: テレコントロールなし、リモートメンテナンス機能あり ②: テレコントロールあり、リモートメンテナンス機能あり ③: テレコントロールあり、リモートメンテナンス機能なし ④: テレコントロールなし、リモートメンテナンス機能なし	0		

お知らせ

- 「①警報送出」を「無音/無点灯」に設定した場合は、「⑤優先通報による強制切断時のメッセージの有無」を「メッセージあり」に設定していても、優先通報による強制切断時のメッセージを送出しません。

システムデータ設定一覧

接点出力方式、通報の有無の設定

外部出力機器への接点出力、通報の有無について設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号（例）	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P93 0 0 0 0 0 0 0 0 ① 固定 ② 固 ③ 固 定 定	①外部接点出力の動作モード	外部接点出力の動作モードを設定する ①：通報動作から通報完了まで ②：通報遅延終了後、通報開始から通報完了まで ③：相手応答から通報完了まで ④：センサ入力に連動しメーク	0	
	固定	必ず①②③を入力する	000	000
	②電池切れ通報	電池切れのときに通報するかどうかを設定する ①：通報しない ②：通報する	0	
	固定	必ず①を入力する	0	0
	③停電／復電通報	停電時や停電の復旧時に通報するかどうかを設定する ①：通報しない ②：通報する	0	
固定	必ず①を入力する	0	0	

通報オプションタイムの設定

通報遅延時間、ハンズフリー通話時間など、通報に関するタイムを設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P94 0 0 0 0 0 3 3 ① ② 固定 ③ ④	① 非常、ペンダント、リモートスイッチS2通報遅延時間	非常、ペンダント、リモートスイッチS2による通報で遅延時間を設定する ①①～⑨⑨：00～99秒	00	
	② センサ通報遅延時間	センサによる通報で遅延時間を設定する ①～⑨：0～9分	0	
	固定	必ず①①①を入力する	000	000
	③ 停電通報遅延時間	停電による通報で遅延時間を設定する ①～⑨：1～9分	3	
	④ ハンドフリー通話時間	ハンズフリー通話の通話時間を設定する ①：無限 ①～⑨：1～9分	3	

STOP お願い

- フリーダイヤルなどへ通報した場合、周囲が騒がしいときは、相手の方が電話を切っても通話が切れないことがありますので、「④ハンズフリー通話時間」は「1～9分」に設定し、「無限」は設定しないでください。

システムデータ設定一覧

センサの設定

センサの検出方法を設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおく便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定 ^{*1}	ユーザ設定値 ^{*2}
P95 00004000 ① 固定 ② 固定	① センサ検出	センサの検出方法を設定する ①: メーク ②: ブレーク	0	
	固定	必ず①①①を入力する	000	000
	② センサモード	センサのモードを設定する ①: センサ ②: 生活周期異常通報連動 ③: 通報停止 ④: リモートスイッチS2	4	
	固定	必ず①①①を入力する	000	000

通報音声メッセージの設定

通報時の音声メッセージを設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくと便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P96 00010000 ①②③④ 固定	①緊急通報メッセージ	緊急時の音声メッセージを設定する ①: 「緊急通報」と通報する ①: 「火災発生」と通報する ②: 「ガスもれ発生」と通報する ③: 「盗難発生」と通報する ④: 「地震がきます」と通報する ⑤: 「呼び出し中です」と通報する ⑥: 「センサが動作しました」と通報する ⑦: 「異常発生」と通報する ⑧: メッセージなし (「こちらは (電話番号) です」と通報する) ⑨: メッセージなし	0	
	②リモートスイッチS2の通報メッセージ	リモートスイッチS2で通報するときの音声メッセージを設定する ①: 「緊急通報 リモート」と通報する ①: 「火災発生」と通報する ②: 「ガスもれ発生」と通報する ③: 「盗難発生」と通報する ④: 「地震がきます」と通報する ⑤: 「呼び出し中です」と通報する ⑥: 「センサが動作しました」と通報する ⑦: 「異常発生」と通報する ⑧: メッセージなし (「こちらは (電話番号) です」と通報する) ⑨: メッセージなし	0	
	③ペンダント通報メッセージ	ペンダントで通報するときの音声メッセージを設定する ①: 「緊急通報 ペンダント (1~16)」と通報する ①: 「火災発生」と通報する ②: 「ガスもれ発生」と通報する ③: 「盗難発生」と通報する ④: 「地震がきます」と通報する ⑤: 「呼び出し中です」と通報する ⑥: 「センサが動作しました」と通報する ⑦: 「異常発生」と通報する ⑧: メッセージなし (「こちらは (電話番号) です」と通報する) ⑨: メッセージなし	0	
	④センサ異常通報メッセージ	センサで異常があったときの音声メッセージを設定する ①: 「センサ異常」と通報する ①: 「火災発生」と通報する ②: 「ガスもれ発生」と通報する ③: 「盗難発生」と通報する ④: 「地震がきます」と通報する ⑤: 「呼び出し中です」と通報する ⑥: 「センサが動作しました」と通報する ⑦: 「異常発生」と通報する ⑧: メッセージなし (「こちらは (電話番号) です」と通報する) ⑨: メッセージなし	1	
固定		必ず①②③④を入力する	0000	0000

システムデータ設定一覧

警報音の設定

通報時に警報音を鳴らすかどうかを設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P97 1 1 1 0 0 0 1 0 ① ② ③ 固定 ④ 固定	① 非常、リモートスイッチS2	非常を押したとき、リモートスイッチS2を押したときに警報音を鳴らすかどうかを設定する ①: なし ②: あり (警報音1) ③: あり (警報音2)	1	
	② ペンダント	ペンダントの通報ボタンを押したときに警報音を鳴らすかどうかを設定する ①: なし ②: あり (警報音1) ③: あり (警報音2)	1	
	③ センサ	センサによる通報時に警報音を鳴らすかどうかを設定する ①: なし ②: あり (警報音1) ③: あり (警報音2)	1	
	固定	必ず①②③を入力する	000	000
	④ 電池切れ	あんしんSVやペンダントの電池切れ通報時に警報音を鳴らすかどうかを設定する ①: なし ②: あり (警報音1) ③: あり (警報音2)	1	
	固定	必ず④を入力する	0	0

優先通報選択の設定

使用している回線を強制切断し、通報を優先させるように設定します。

*1：お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2：設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容／システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P98 1 1 1 0 0 0 1 0 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ① ② ③ 固定 ④ 固定	① 緊急通報	<input checked="" type="checkbox"/> 非常 やリモートスイッチS2による通報を優先するかどうかを設定する ①：優先しない ②：優先する	1	
	② ペンダントによる通報	ペンダントでの通報を優先するかどうかを設定する ①：優先しない (ペンダント1~16) ②：優先する (ペンダント1~16) ③：優先する (ペンダント1~10) 優先しない (ペンダント11~16)	1	
	③ センサ異常通報	センサによる通報を優先するかどうかを設定する ①：優先しない ②：優先する	1	
	固定	必ず①②③を入力する	000	000
	④ 電池切れ通報	あんしんSVやペンダントの電池切れ通報を優先するかどうかを設定する ①：優先しない ②：優先する	1	
	固定	必ず①を入力する	0	0



ワンポイント

● 「優先しない」 に設定した場合は

緊急通報優先機能は、はたらきません。

あんしんSVに接続した電話機でお話中に緊急通報が行われたときは、通話終了後に通報を行います。電話がかかってくるときに緊急通報が行われた場合は、電話の呼び出しが止まったあと、またはかかってきた電話の通話が終わったあとに通報を行います。

システムデータ設定一覧

接点出力の設定

接点出力の有無について設定します。

*1: お買い求め時の設定は、設定番号ごとの初期状態での値です。

*2: 設定した値を書き込んでおくとう便利です。

設定番号 (例)	項目	設定内容 / システムデータ	お買い求め時の設定*1	ユーザ設定値*2
P99 1 1 1 0 0 0 1 0 ① ② ③ 固定 ④ 固定	① 非常、リモートスイッチS2	非常を押したとき、リモートスイッチS2を押したときの接点出力の有無を設定する ①: なし ②: あり	1	
	② ペンダント	ペンダントを押したときの接点出力の有無を設定する ①: なし ②: あり	1	
	③ センサ	センサによる通報時の接点出力の有無を設定する ①: なし ②: あり	1	
	固定	必ず①②③を入力する	000	000
	④ 電池切れ	あんしんSVやペンダントの電池切れ通報時の接点出力の有無を設定する ①: なし ②: あり	1	
	固定	必ず④を入力する	0	0

設定例

通報先を登録して利用するには（基本設定）……	118
火災センサとして利用するには……	120
見守り装置として利用するには……	122

通報先を登録して利用するには (基本設定)

通報先の電話番号を登録して、緊急時に通報できるように設定します。

緊急時に通報する

- 1** **非常**を押します。
スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、緊急通報」という警報音と警報メッセージが流れ、電源ランプと非常ランプが点滅します。
通報先に電話がつながると非常ランプが点灯し、「こちらは(電話番号)です。緊急通報。緊急通報。ピー、ピー」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。応答ランプが点灯します。
- 2** マイクに向かってお話しします。
通報メッセージが終わったあとにお話してください。
- 3** お話しが終わったら、**とめる**を押します。
非常ランプと応答ランプが消え、電源ランプが点灯し、通報を終了します。



お知らせ

- 特別な許可がないかぎり、通報先の電話番号に110番、119番、118番は登録しないでください。

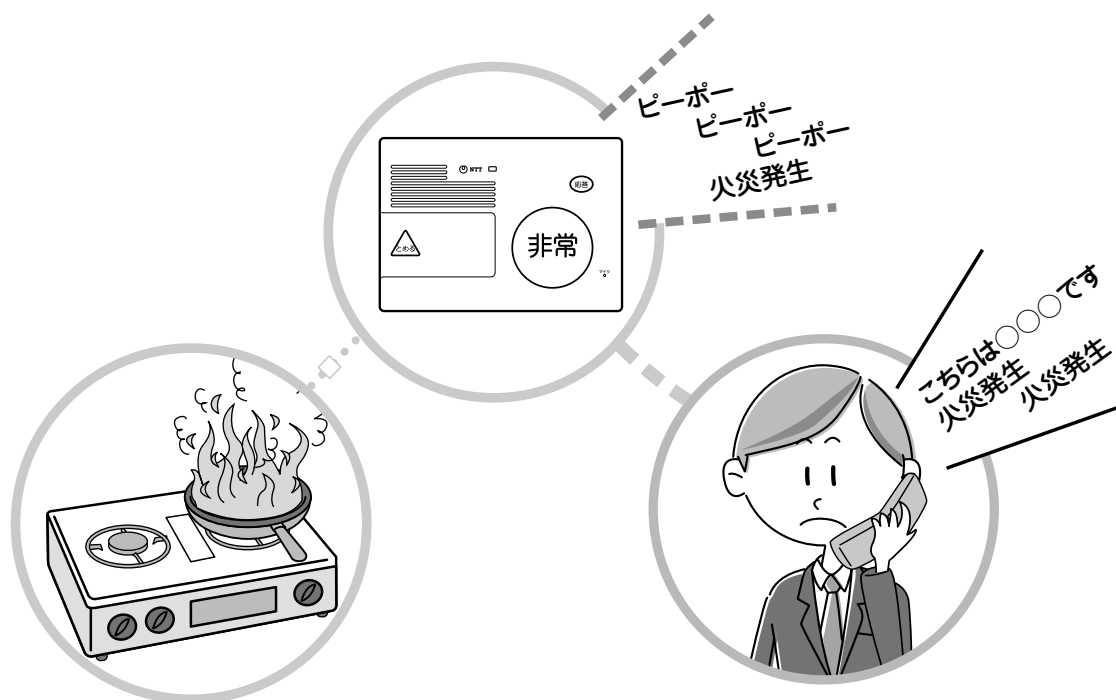
基本設定をする

1	日付と時刻を設定する（☞P72）																													
	<p>あんしんSVの日付と時刻を設定します。 設定値を下記の欄に記入してお使いください。</p> <table border="1"> <tr> <td>P00</td> <td>時計データ</td> <td></td> </tr> </table> <p>（例）2009年10月1日12時12分の場合</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>9</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>1</td><td>2</td><td>1</td><td>2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">年</td> <td colspan="2">月</td> <td colspan="2">日</td> <td colspan="2">時</td> <td colspan="2">分</td> </tr> </table> <p><small>（西暦の下2桁）</small></p>		P00	時計データ		0	9	1	0	0	1	1	2	1	2	年		月		日		時		分						
P00	時計データ																													
0	9	1	0	0	1	1	2	1	2																					
年		月		日		時		分																						
2	こちらの電話番号を登録する（☞P74）																													
	<p>通報先に伝えるために、こちらの電話番号を登録します。 設定値を下記の欄に記入してお使いください。</p> <table border="1"> <tr> <td>P72</td> <td>こちらの電話番号</td> <td></td> </tr> </table> <p>（例）0312345678の場合</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>#</td> </tr> <tr> <td colspan="10">こちらの電話番号</td> <td>確定</td> </tr> </table>		P72	こちらの電話番号		0	3	1	2	3	4	5	6	7	8	#	こちらの電話番号										確定			
P72	こちらの電話番号																													
0	3	1	2	3	4	5	6	7	8	#																				
こちらの電話番号										確定																				
3	通報先の電話番号を登録する（☞P76）																													
	<p>通報先1に電話番号を登録します。 設定値を下記の欄に記入してお使いください。</p> <table border="1"> <tr> <td>P01</td> <td>通報先1</td> <td></td> </tr> </table> <p>（例）電話番号が0312341111で通報方式が「音声通報（合成音声）」の場合</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>3</td><td>1</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>*</td><td>3</td><td>1</td> </tr> <tr> <td colspan="10">電話番号</td> <td colspan="3">通報方式</td> </tr> </table>		P01	通報先1		0	3	1	2	3	4	1	1	1	1	*	3	1	電話番号										通報方式	
P01	通報先1																													
0	3	1	2	3	4	1	1	1	1	*	3	1																		
電話番号										通報方式																				
4	通報できることを確認する（☞P80）																													
<p>通報できることを確認します。</p>																														

火災センサとして利用するには

あんしんSVのセンサ端子に市販の火災センサを接続すると、火災センサが異常を感知したときに登録した通報先に通報することができます。あんしんSVには、センサを1台接続できます。

設定編



火災センサとして利用するには

設定例

- 1** センサに接続した火災センサが火災を検知します。
スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、火災発生」という警報音と警報メッセージが流れ、電源ランプが点滅します。
通報先に電話がつながると、「こちらは（電話番号）です。火災発生。火災発生。ピー、ピー」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。
応答ランプが点灯します。
- 2** マイクに向かってお話しします。
通報メッセージが終わったあとにお話してください。
- 3** お話しが終わったら、**とめる**を押します。
応答ランプが消え、電源ランプが点灯し、通報を終了します。

お知らせ

- 特別な許可がないかぎり、通報先の電話番号に110番、119番、118番は登録しないでください。

センサによる通報を設定する

センサに火災センサを接続した場合は、次の作業を行います。お買い求め時は、センサに火災センサを接続すると、登録してある通報先に火災が発生したことを通報します。

1	基本設定をする
	<p>日付と時刻を設定します。(☞P72) こちらの電話番号を登録します。(☞P74) 通報先の電話番号を登録します。(☞P76) 通報できることを確認します。(☞P80)</p>

2	センサのモードを「センサ」に設定する (☞P112)		
	<table border="1"> <tr> <td>P95</td> <td>センサの設定</td> <td></td> </tr> </table> <p>(例) ①①①①①①①①① センサモード</p>	P95	センサの設定
P95	センサの設定		

以下の項目は、設定を変更するときに参照してください。

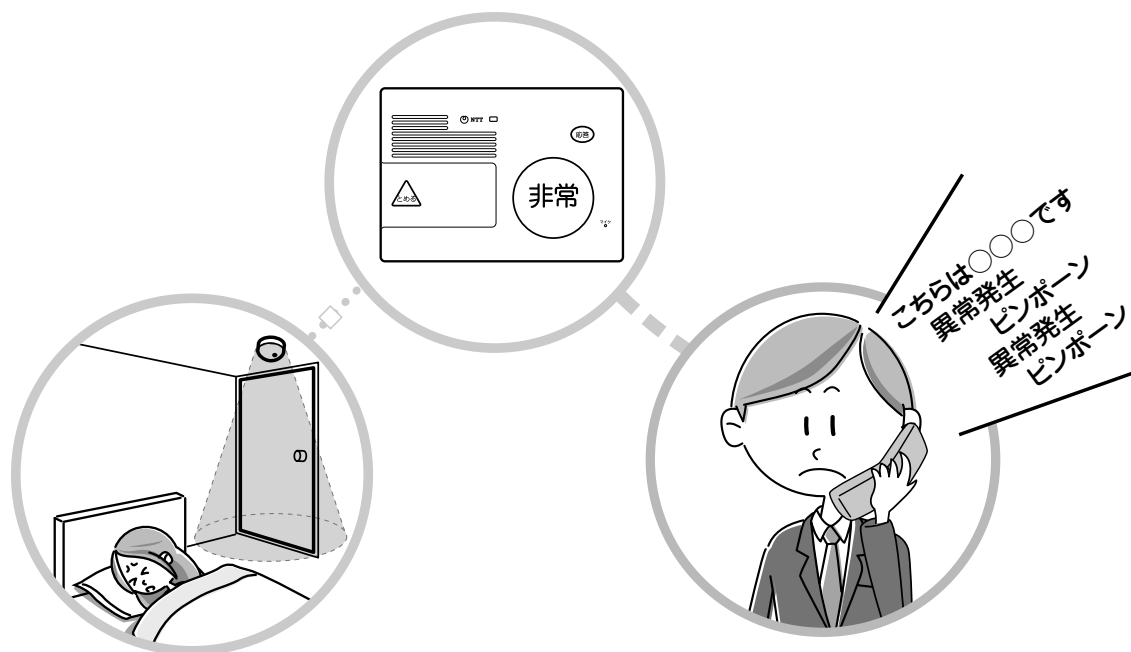
設定番号	項目	ユーザ設定値	参照先
P24	通報順序、通報回数設定 (センサ通報)		☞P92
P40	呼び出し時間の設定		☞P95
P83	センサ通報の可否設定		☞P105
P94	通報オプションタイマの設定		☞P111
P96	通報音声メッセージの設定		☞P113
P97	警報音の設定		☞P114
P98	優先通報選択の設定		☞P115
P99	接点出力の設定		☞P116

見守り装置として利用するには

生活周期異常通報を利用すると、ドアやトイレなどに取り付けたセンサによって、設定した時間内に一度も出入りがなかったときなどに、通報先で異常を察知することができます。

設定編

見守り装置として利用するには



生活周期異常通報を利用すると（見守り機能）

- 1 設定した時間内に一度もトイレやドアなどのセンサが作動しなかったときは、生活周期異常通報が起動し、電源ランプが点滅します。
通報先に電話がつながると「こちらは（電話番号）です。異常発生。ピンポーン。異常発生。ピンポーン」という通報メッセージが相手の方に流れます。

お知らせ

- 通報先の電話機からテレコントロール（GP46）を行うことができます。
- **とめる** を押すと電源ランプが点灯し、通報を終了します。
- 特別な許可がないかぎり、通報先の電話番号に110番、119番、118番は登録しないでください。

設定例

生活周期異常通報（見守り機能）を設定する

〈設定例〉

センサを接続し、10時～18時の間にセンサが一度も動作しなかったときに通報を行う場合

1	基本設定をする
	<p>日付と時刻を設定します。(☞P72) こちらの電話番号を登録します。(☞P74) 通報先の電話番号を登録します。(☞P76) 通報できることを確認します。(☞P80)</p>

2	生活周期異常通報（見守り機能）を設定する（☞P104）																															
	<p>生活周期の開始時刻、終了時刻、検出方法、センサの検出回数を設定します。 設定値を下記の欄に記入してお使いください。</p> <table border="1"> <tr> <td>P82</td> <td>生活周期異常通報設定</td> </tr> </table> <p>(例) 10時～18時の間にセンサが一度も動作しなかったときに通報する</p> <table border="1"> <tr> <td>0</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>1</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td>開始時刻</td><td></td><td>終了時刻</td><td>固定</td><td></td><td></td><td></td><td>検出回数</td> </tr> <tr> <td>固定</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>検出方法</td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	P82	生活周期異常通報設定	0	0	1	0	1	8	0	0	0	1			開始時刻		終了時刻	固定				検出回数	固定					検出方法			
P82	生活周期異常通報設定																															
0	0	1	0	1	8	0	0	0	1																							
		開始時刻		終了時刻	固定				検出回数																							
固定					検出方法																											

3	センサのモードを「生活周期異常通報連動」に設定する（☞P112）	
	<table border="1"> <tr> <td>P95</td> <td>センサの設定</td> </tr> </table> <p>(例) 0000020000 センサモード</p>	P95
P95	センサの設定	

以下の項目は、設定を変更するときに参照してください。

設定番号	項目	ユーザ設定値	参照先
P31	通報順序、通報回数設定 (生活周期異常通報)		☞P93
P40	呼び出し時間設定		☞P95
P54	ワイヤレスセンサグループ1～4 モード設定		☞P100

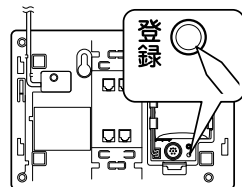
ペンダントを登録するには(増設)

ペンダントをあんしんSVに登録します。ワイヤレスセットの場合は登録済みです。

1 登録 スイッチを約3秒間押す

1

先のとがったもので、あんしんSVの電池カバー内部の登録スイッチを約3秒間押します。
電源ランプが点滅し、「プー」という登録音が鳴ります。



2 電話機のハンドセットを取りあげる

2

あんしんSVに接続している電話機のハンドセットを取りあげます。
電源ランプが点灯し、「ピー、〇年〇月〇日〇時〇分です。システムデータを設定します」という音声案内がハンドセットから聞こえます。

3 設定番号(✳)(✳)(#)を押す

3

「ペンダントです」という音声案内がハンドセットから聞こえます。

4 設定番号(0)(1)(#)を押す

4

「プー」という登録音がハンドセットから聞こえます。

5 ペンダント番号を押し、(#)を押す

5

登録するペンダント番号(1~16)を押します。ペンダント番号は2桁で入力してください。
(例) ペンダント番号2を登録する場合

①②(#)と押します。



ペンダント番号

「ペンダント〇を押してください」という音声案内(〇は登録したペンダント番号)がハンドセットから聞こえます。

入力した値が間違っているときや登録しようとしたペンダント番号が登録済みの場合は、「ピピ」というエラー音が聞こえ、手順4へ戻ります。

6 登録するペンダントの通報ボタンを押す

6

「プー」という登録音がハンドセットから聞こえます。
続けてペンダントを登録するときは、手順4から操作してください。

7 ハンドセットを置く

7

「ピー」という音が鳴ります。



ワンポイント

●登録されているペンダント番号を確認するには

- ① 手順1~3の操作を行う。
- ② 設定番号①②(⊕)を押す。
「ブー」という登録音がハンドセットから聞こえます。
- ③ 確認するペンダント番号(1~16)を押し、(⊕)を押す。
ペンダント番号は2桁で入力してください。
(例) ペンダント2の場合は①②(⊕)と押します。
 - ・ ペンダント番号が登録されている場合は「ペンダント○です」という音声案内(○はペンダント番号)がハンドセットから聞こえます。
 - ・ ペンダント番号が登録されていない場合は「ペンダント○はありません」という音声案内(○はペンダント番号)がハンドセットから聞こえます。入力した値が間違っているときは、「ピピ」というエラー音が聞こえ、手順②へ戻ります。
続けてペンダント番号を確認するときは、手順②から操作してください。
- ④ ハンドセットを置く。
「ピー」という音が鳴ります。

●ペンダントの登録を削除するには

- ① 手順1~3の操作を行う。
- ② 設定番号①①(⊕)を押す。
「ブー」という登録音がハンドセットから聞こえます。
- ③ 登録を削除するペンダント番号(1~16)を押し、(⊕)を押す。
ペンダント番号は2桁で入力してください。
(例) ペンダント2の場合は①②(⊕)と押します。
「ペンダント○初期化しました」という音声案内(○はペンダント番号)がハンドセットから聞こえます。
入力した値が間違っているときや登録を削除しようとしたペンダント番号がない場合は、「ピピ」というエラー音が聞こえ、手順②へ戻ります。
続けてペンダントの登録を削除するときは、手順②から操作してください。
- ④ ハンドセットを置く。
「ピー」という音が鳴ります。

●操作を間違えたときは

[とめる]を押すか、ハンドセットを置き、最初からやり直してください。

●設定を中止するには

[とめる]を押すか、ハンドセットを置きます。

●設定中に電話がかかってきたときは (☎P85)



お知らせ

- ワイヤレスセットに付属しているペンダントのペンダント番号は「1」です。
- 登録されているペンダント番号を確認することはできますが、ペンダント番号とペンダントとの対応を確認することはできません。

お買い求め時の設定に戻すには（初期化）

すべての設定値をお買い求め時の設定に戻します。

- ① あんしんSVのLINE端子に接続した電話機コードを抜きます。
- ② 電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- ③ 電池カバーのツメを押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。
- ④ オプションの電池パックをお使いの場合は、電池パックのコネクタを抜きます。
- ⑤ 先のとがったもので「登録」スイッチを押したまま、電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
約6秒後に電源ランプが点滅を開始しますので、電源ランプが点滅を開始するまで「登録」スイッチを押したまま待ちます。
- ⑥ 「登録」スイッチを離します。
「ブー」という登録確認音が鳴り、約6秒後に電源ランプが消え、約4秒後に電源ランプが点灯します。
- ⑦ オプションの電池パックをお使いの場合は、電源プラグを電源コンセントから抜き、電池パックのコネクタを差込口に差し込みます。
- ⑧ 電池カバーを取り付けます。
- ⑨ 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
- ⑩ LINE端子に電話機コードを差し込みます。

STOP お願い

- 電池パック（オプション）のコードを無理に引っ張ったり、コネクタを無理に差し込んだりしないでください。
- 電池パック（オプション）は、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で取り付けてください。電源プラグを電源コンセントに差し込んだまま電池パックを取り付けた場合は、電池パックの充電を開始しません。
- 電池カバーを取り付けるときに、電池パックのコードを電池カバーとケースの間に挟み込まないようにしてください。
- 初期化は、あらかじめ静電気を除去してから行ってください。

停電になったときは

あんしんSVに電池パック（オプション）を取り付けていない場合、停電時には動作しません。

電池パック（オプション）を取り付けていれば、停電のときでも通報したり、電話を受けたりすることができます。

電池パックは、あらかじめ取り付けておいてください。（☞P131）

■ 停電になったとき

停電／復電通報を「通報する」に設定していると、停電になったとき、自動的に通報先に通報を行います。お買い求め時は「通報しない」に設定されています。（☞P110）

- ① スピーカから「停電です。停電です。停電です」という警報メッセージが流れます。
- ② 停電通報遅延時間（☞P111）に設定されている時間が経過すると、スピーカから「停電です。停電です。停電です」という警報メッセージが流れ、電源ランプが点滅します。
お買い求め時は、停電通報遅延時間は「3分」に設定されています。（☞P111）
- ③ 通報先に電話がつながると「こちらは（電話番号）です。＊ 停電です。停電です」という通報メッセージが相手の方に流れます。
通報が完了すると、電源ランプが点灯します。
＊こちらの電話番号の登録が必要です。（☞P74）

👉 ワンポイント

- 1か所目の通報先に電話が繋がらなかったときは（☞P32）
- 停電時に電池パック（オプション）を取り付けていない場合は
 - ・あんしんSVは動作しません。
 - ・停電が復旧したときに、日付と時刻の設定が2009年1月1日0時0分（お買い求め時の設定）に戻ります。
 - ・日付と時刻以外のシステムデータの設定値は保持されます。

📢 お知らせ

- 手順3で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、約30秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順3の通報メッセージは3回流れます。（お買い求め時の設定）
- 警報音、警報メッセージ、通報メッセージがスピーカから流れているときに停電になった場合は、警報音、警報メッセージ、通報メッセージの音量が変わることがあります。

停電になったときは

■ 停電中は

電池パックが満充電の状態ですと停電開始から約6時間以内であれば、通電と同じ状態で1回以上緊急通報が行えます。ただし、オプション機器の接続の有無およびあんしんSVやオプション機器の使用状態などによって、通電と同じ状態で緊急通報が行える時間が短くなることがあります。

停電中も、すべての機能をご利用になれます。

STOP お願い

- 電池パックを取り付けたときや交換したときは、必ず12時間以上充電してください。12時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しないことがあります。

■ 停電中に電池パックの電圧が一定より下がったときは

電源ランプが点滅をします。電池切れ通報を「通報する」に設定していると、通報先に通報を行います。お買い求め時は、「通報しない」に設定されています。(P110)

- ① スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、本体電池切れです」という警報音と警報メッセージが流れます。
- ② 通報先に電話がつながると「こちらは（電話番号）です。* 本体電池切れです。本体電池切れです」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。
通報が完了すると、電源ランプが周期的に2回点灯します。
※こちらの電話番号の登録が必要です。(P74)

ワンポイント

- 1か所目の通報先に電話が繋がらなかったときは (P32)
- 停電中に電池パックの電池残量がなくなったときは
 - ・あんしんSVは動作しません。
 - ・停電が復旧したときに、日付と時刻の設定が2009年1月1日0時0分（お買い求め時の設定）に戻ります。
 - ・日付と時刻以外のシステムデータの設定値は保持されます。

お知らせ

- 手順2で通報先に電話が繋がったときに応答ランプが点灯し、ハンドフリー通話ができます。
- 手順2の通報メッセージは3回流れます。（お買い求め時の設定）

■ 停電が復旧したとき

停電／復電通報を「通報する」に設定していると、停電が復旧したとき、自動的に通報先に通報を行います。お買い求め時は、「通報しない」に設定されています。(☞P110)

- ① 電源ランプが点滅します。
- ② 通報先に電話がつながると「こちらは(電話番号)です。* 停電が復旧しました。停電が復旧しました」という通報メッセージが相手の方に流れます。通報が完了すると、電源ランプが点灯します。
※こちらの電話番号の登録が必要です。(☞P74)

ワンポイント

- 1か所目の通報先に電話がつながらなかったときは (☞P32)

お知らせ

- 停電が復旧したときの通報は、以下の場合に行われます。
 - ・停電になったときの通報 (☞P127) に対して通報先が1か所でも応答した場合
 - ・停電中に電池パックの電圧が一定より下がったときの通報 (☞P128) に対して通報先が1か所でも応答した場合
- 手順2で通報先に電話がつながったときにハンドフリー通話はできません。また、約30秒間の無音のあとに通話が切れます。
- 手順2の通報メッセージは3回流れます。(お買い求め時の設定)
- 電池パックの電池残量がなくなったあと停電が復旧したときは、必ず12時間以上充電してください。12時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しないことがあります。

お願い

- 電源プラグが正しく差し込まれていないと、平常時に「停電です」というメッセージが流れてしまったり、停電通報が行われてしまうことがあります。電源プラグを正しく差し込み、決して抜かないでください。

停電になったときは

■ 電池パックが寿命になったとき

電源ランプが点滅をします。

電池切れ通報を「通報する」に設定していると、電池パックの寿命などで通電中に電池パックの電圧が一定より下がったとき、通報先に通報を行います。お買い求め時は、「通報しない」に設定されています。(☞P110)

- ① スピーカから「ピーポー、ピーポー、ピーポー、本体電池切れです」という警報音と警報メッセージが流れます。
- ② 通報先に電話がつながると「こちらは（電話番号）です。* 本体電池切れです。本体電池切れです」という通報メッセージがスピーカからと相手の方の両方に流れます。
通報が完了すると、電源ランプが周期的に2回点灯します。
※こちらの電話番号の登録が必要です。(☞P74)

ワンポイント

- 1か所目の通報先に電話がつながらなかったときは (☞P32)
- 電池パック交換の目安は
電池パックは消耗品です。使用頻度にもよりますが、約2年程度ご使用になれます。

お知らせ

- 手順2で通報先に電話がつながったときに応答ランプが点灯し、ハンドフリー通話ができます。
- 手順2の通報メッセージは3回流れます。(お買い求め時の設定)

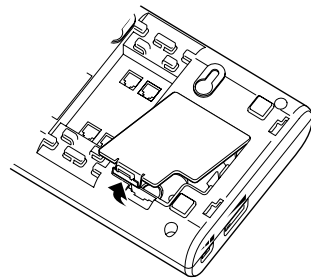
電池パックを取り付けるには

オプションの電池パックをセットすると、停電になったときでも緊急通報ができます。

電池パックを取り付けたあと、あんしんSVの電源プラグを電源コンセント（AC100 V、50 Hzまたは60 Hz）に差し込むと電池パックの充電を開始します。

電池パックをセットする

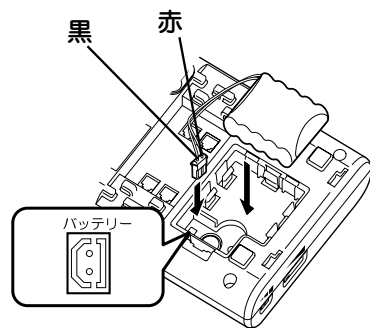
- ① 電池カバーのツメを押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。



- ② 電池パックのコネクタを差込口に差し込み、電池パックを入れます。

電池パックのコネクタを差し込める向きは一方向に決まっています。力を入れすぎないように注意して差し込んでください。

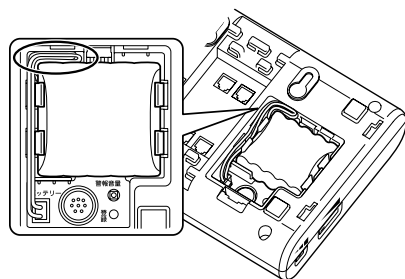
電池パックは、電池パック固定用ツメ（5か所）で固定されます。



- ③ 電池パックのコードを電池パック固定用ツメとケースの間に通します。

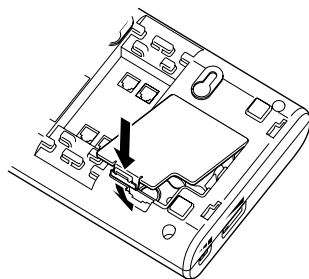
コードの一部を折り返し、電池パックとケースの間を通します。

このとき電池パック固定用ツメと電池パックの間にコードを挟まないようにしてください。



電池パックを取り付けるには

- ④ 電池カバーを取り付けます。



- ⑤ 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
電池パックの充電を開始します。

ワンポイント

- 電池パックの使用可能時間は
電池パックが満充電の状態ですべての電源開始から約6時間以内であれば、通電と同じ状態で1回以上緊急通報が行えます。ただし、オプション機器の接続の有無およびあんしんSVやオプション機器の使用状態などによって、通電と同じ状態で緊急通報が行える時間が短くなることがあります。
- 電池切れ通報 (GP42) を設定していると
電池の残量が少なくなると、連絡先に自動的に通報します。

STOP お願い

- 電池パックは、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で取り付けてください。電源プラグを電源コンセントに差し込んだまま電池パックを取り付けた場合は、電池パックの充電を開始しません。
- 電池カバーを取り付けるときに、電池パックのコードを電池カバーとケースの間に挟み込まないようにしてください。
- 電池パックのコードを無理に引っ張ったり、コネクタを無理に差し込んだりしないでください。
- 初めてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず12時間以上充電してください。12時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しないことがあります。
- 電池パックの取り付けは、あらかじめ静電気を除去してから行ってください。

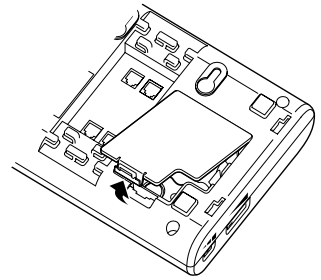
⚠ 危険

- 電池パックについて
電池パックの取扱いは、次の点にご注意ください。
 - ・必ず専用のものをお使いください。
 - ・取り出して充電しないでください。
 - ・火の中に投入したり、分解、加熱しないでください。
 - ・端子を短絡させないでください。

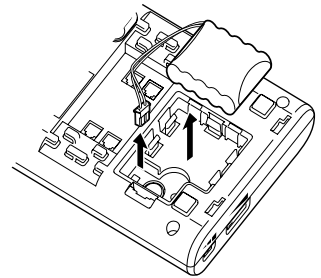
電池パックを交換する

電池パックは停電時動作の消耗品です。使用頻度にもよりますが、2年程度ご使用になれます。長時間充電しても、動作時間が短い場合は、新しい電池パック（デンチパック-106）に交換してください。電池パックのご購入については、当社のサービス取扱所またはお買い求めになった販売店へお問い合わせください。

- ① あんしんSVのLINE端子に接続した電話機コードを抜きます。
- ② 電源プラグを電源コンセントから抜きます。
- ③ 電池カバーのツメを押しながら、持ち上げるようにして電池カバーを開けます。



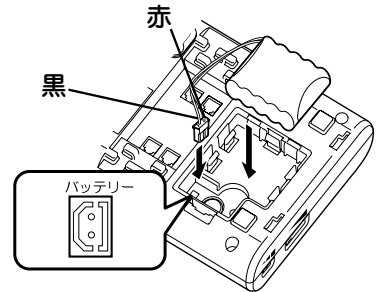
- ④ 電池パックのコネクタを抜き、電池パックを取り外します。



- ⑤ 新しい電池パックに交換し、電池パックのコネクタを差し込みに差し込み、電池パックを入れます。

電池パックのコネクタを差し込める向きは一方向に決まっています。力を入れすぎないように注意して差し込んでください。

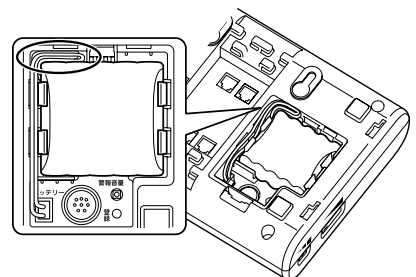
電池パックは、電池パック固定用ツメ（5か所）で固定されます。



- ⑥ 電池パックのコードを電池パック固定用ツメとケースの間に通します。

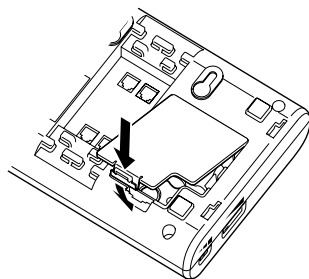
コードの一部を折り返し、電池パックとケースの間を通します。

このとき電池パック固定用ツメと電池パックの間にコードを挟まないようにしてください。



電池パックを取り付けるには

- 7 電池カバーを取り付けます。
- 8 電源プラグを電源コンセントに差し込みます。
電池パックの充電を開始します。
- 9 LINE端子に電話機コードを差し込みます。



■ 電池パック回収のお願い



使用済の電池パックなどは貴重な資源です。使用後は端子や接続コードが接触しないように、端子や接続コードにテープを貼るなどの処置をしてから当社のサービス取扱所などへお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。リサイクルの推進にご協力をお願いします。

⚠ 危険

●電池パックについて

電池パックの取り扱いには、次の点にご注意ください。

- ・必ず専用のもをお使いください。
- ・取り出して充電しないでください。
- ・火の中に投入したり、分解、加熱しないでください。
- ・端子を短絡させないでください。

👉 ワンポイント

●電池パックの使用可能時間は

電池パックが満充電の状態でも、停電開始から約6時間以内であれば、通電と同じ状態で1回以上緊急通報が行えます。ただし、オプション機器の接続の有無およびあんしんSVやオプション機器の使用状態などによって、通電と同じ状態で緊急通報が行える時間が短くなることがあります。

STOP お願い

- 電池パックは、電源プラグを電源コンセントから抜いた状態で取り付けてください。電源プラグを電源コンセントに差し込んだまま電池パックを取り付けた場合は、電池パックの充電を開始しません。
- 電池カバーを取り付けるときに、電池パックのコードを電池カバーとケースの間に挟み込まないようにしてください。
- 電池パックのコードを無理に引っ張ったり、コネクタを無理に差し込んだりしないでください。
- 初めてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず12時間以上充電してください。12時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しないことがあります。
- 電池パックの取り付けは、あらかじめ静電気を除去してから行ってください。

故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらときは、次の点をご確認ください。

あんしんSVのトラブル

	こんなとき	確認してください	対処	参照ページ
動作	電源ランプが点灯しない	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか？	電源プラグを確実に差し込んでください	☞P62、64、66
	電源プラグを電源コンセントに差し込んですぐに使用できない	電源プラグを電源コンセントに差し込んでから電源ランプが緑色に点灯するまでの約6秒間は、あんしんSVは使用できません	故障ではありません	☞P62、64、66
設定	設定ができない	あんしんSVに接続した電話機の回線種別を「プッシュ式 (PB)」に設定していますか？	電話機の回線種別を「プッシュ式 (PB)」に設定してください 設定方法については、お手持ちの電話機の取扱説明書などを参照してください ダイヤル式 (DP) の電話機では設定できません	☞P70
		あんしんSVを電話回線に接続していますか？	故障ではありません お使いになる電話機によっては、あんしんSVを電話回線に接続しないと設定が行えない場合があります	☞P62、64、66
		電話機に、Lモード対応通信機器やナンバー・ディスプレイ対応通信機器をお使いですか？	故障ではありません あんしんSVの電池カバー内部の「登録」スイッチを先のとがったもので約3秒間押し、「ブー」という登録音が鳴ってから約3秒後にハンドセットを取りあげてください	☞P85
通報	通報ができない	電話機コードが正しく接続されていますか？	正しく接続してください	☞P62、64、66
		通報先の電話番号は登録されていますか？	登録してください	☞P76
		あんしんSVのダイヤル種別が正しく設定されていますか？	ご利用になっている電話回線に合わせてダイヤル種別 (PB/DP) を設定してください	☞P81
ペンダントでの通報ができない	あんしんSVの近くに雑音を発生する家電製品などがありますか？	あんしんSVを家電製品などから離して設置してください	-	
リモートスイッチS2 (オプション) やセンサ (オプション) での通報ができない	リモートスイッチS2やセンサは正しく接続されていますか？	正しく接続してください	☞P62、64、66	
停電していないのに「停電です」というメッセージが送出される	電源プラグが電源コンセントから抜けていませんか？	正しく接続してください	☞P62、64、66	
停電が復旧したときの通報をしない	停電になったときの通報に通報先が応答しましたか？	停電が復旧したときの通報は停電になったときの通報に対して通報先が1か所でも応答した場合に行われます	☞P129	
警報音や警報メッセージが途切れる	通報終了後または設定終了後すぐに通報を行いませんか？	故障ではありません 通報終了後約3秒以内や設定終了後約3秒以内に通報を行うと、警報音や警報メッセージが途切れることがあります	-	
警報音が途切れ、少しあとに警報音と警報メッセージが流れる	Lモードをご利用ではありませんか？	故障ではありません Lモードをご利用の場合に、Lモードゲートウェイにメッセージがあるときは、通報を行うと、警報音が途切れ、少しあとに警報音と警報メッセージが流れます	-	

故障かな？と思ったら

付録

故障かな？と思ったら

	こんなとき	確認してください	対処	参照ページ
通報	通報のときに緊急通報優先機能が動作する	あんしんSVをひかり電話対応機器のアナログポートに接続した場合に、ひかり電話対応機器のバージョンアップお知らせ機能が動作していませんか？	ひかり電話対応機器のバージョンアップお知らせ機能により、通報のときに緊急通報優先機能が動作することがあります ひかり電話対応機器のファームウェアのバージョンアップを行ってください	☞P65
	停電中、通報時にハンドフリー通話ができない	電池パックの電池残量がなくなっていますか？	故障ではありません 充電してください	☞P128、129
		電池パックの電池残量がなくなったあと停電が復旧したときに、12時間以上充電しましたか？ 電池パックを取り付けたときや交換したときに、12時間以上充電しましたか？	以下のときは、必ず12時間以上充電してください ・電池パックの電池残量がなくなったあと停電が復旧したとき ・電池パックを取り付けたときや交換したとき 12時間以上充電する前に停電になった場合は、電池パックで動作しないことがあります	☞P129、132、134
電話がかかってくるとき	呼出音が聞こえない	〔着信音量〕スイッチが「切」になっていませんか？ 設定中ではありませんか？	〔着信音量〕スイッチを「中」または「大」にしてください 故障ではありません 設定中に電話がかかってきたときは、呼出音は鳴らず、応答ランプは点滅しません	☞P34 ☞P85
	かかってきた電話が切れる	電話がかかってくるのとほぼ同時に通報を行いますでしたか？ 優先通報選択の設定が「優先する」に設定されていませんか？	電話がかかってくるのと通報が重なったときは、通報が優先されます 優先通報選択の設定が「優先する」に設定されている場合は、電話がかかってくるときに通報を行うと通報が優先されます	— ☞P37、115
あんしんSVに接続した電話機	電話機の通話が切れる	優先通報選択の設定が「優先する」に設定されていませんか？	優先通報選択の設定が「優先する」に設定されている場合は、通話中に通報を行うと通報が優先されます	☞P37、115
	電話機が使えない	通報中ではありませんか？	通報終了後にお使いください	☞P36
		あんしんSVのシステムデータを設定したあと、ハンドセットを置いてからすぐにハンドセットを取りあげていませんか？	ハンドセットを置き、3秒以上待ってからハンドセットを取りあげてください	☞P36
	かかってきた電話を受けられない	あんしんSVのシステムデータを設定したあと、ハンドセットを置いてからすぐにハンドセットを取りあげていませんか？	ハンドセットを置き、3秒以上待ってからハンドセットを取りあげてください	☞P36
	相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されない	設定中ではありませんか？	故障ではありません ナンバー・ディスプレイをご利用の場合、設定中に電話がかかってくるハンドセットを置いたときは、相手の方の電話番号がナンバー・ディスプレイ対応通信機器に表示されないことがあります	☞P71
電話をかけるときに、「ピーピーピー」という音が「ツー」という発信音の前に聞こえる	あんしんSVをひかり電話対応機器のアナログポートに接続した場合に、ひかり電話対応機器のバージョンアップお知らせ機能が動作していませんか？	ひかり電話対応機器のバージョンアップお知らせ機能により、電話をかけるときに、「ピーピーピー」という音が「ツー」という発信音の前に聞こえることがあります ひかり電話対応機器のファームウェアのバージョンアップを行ってください	☞P65	
ハンドフリー通話	相手の声が小さい	スピーカ音量が小さくなっていませんか？	〔スピーカ音量〕つまみを調節してください	☞P34
		あんしんSVから離れすぎていませんか？	マイクとの距離は、約50 cmを目安としてお話しください	—
	スピーカからの音が大きい、またはあんしんSVを壁に向けて置いているため、ハウリングを防ぐために自動的にスピーカの音が小さくなっていませんか？	〔スピーカ音量〕つまみを調節して音量を下げるか、あんしんSVを壁から離してください	☞P34	

	こんなとき	確認してください	対処	参照ページ
ハンドフリー通話	相手の声が途切れる	双方で同時に話していませんか？	故障ではありません 相手の方が話し終えてから話し始めてください	☞P33、35
		周囲の騒音が大きくありませんか？	周囲を静かにしてご利用ください	-
	通話が片方向になる	周囲の騒音が大きくありませんか？	周囲を静かにしてご利用ください	-
	相手に伝わる声が小さい	あんしんSVから離れすぎていませんか？	マイクとの距離は、約50 cmを目安としてお話しください	-
	「キーン」というハウリング音が入る	あんしんSVに手や顔を近づけていませんか？	手や顔を遠ざけてください	-
	あんしんSVのスピーカから聞こえる音がピリつく	スピーカ音量が大きくなっていませんか？	〔スピーカ音量〕つまみを調節してください	☞P34
	相手が電話を切っても通話が切れない	周囲の騒音が大きくありませんか？ 以下のような場合、周囲が騒がしいときは、相手の方が電話を切っても通話が切れないことがあります ・着信に自動応答した場合 ・フリーダイヤルなどへ通報した場合	〔とめる〕を押して通話を切るか、着信自動応答のハンドフリー通話時間やハンドフリー通話時間を1～9分に設定してください	☞P108、111
通話を始めるときに異音が入る	周囲の騒音が大きくありませんか？ かかってきた電話に応答した場合、周囲が騒がしいときは、相手の方が電話を切っても通話が切れないことがあります	〔とめる〕を押して通話を切ってください	☞P35	
	周囲の騒がしさやご利用の電話回線によっては、通話を始めるときに異音が入る場合があります	故障ではありません	-	
テレコントロール	あんしんSVが電話に応答する前にあんしんSVに接続した留守番電話機が応答してしまう	あんしんSVの着信自動応答の遅延時間が、留守番機能付き電話機などが着信に自動応答するまでの時間よりも長い時間に設定されていませんか？	電話がかかってきたときにあんしんSVが応答するように、あんしんSVの着信自動応答の遅延時間を、留守番機能付き電話機などが着信に自動応答するまでの時間よりも短い時間に設定してください	☞P47、108
	テレコントロールができない	通報先でダイヤル式（DP）の電話機をお使いではありませんか？	プッシュ式（PB）またはプッシュ信号を送ることができる電話機でテレコントロールを行ってください	☞P47
		「テレコントロールなし」に設定されていませんか？	テレコントロール機能の有無を「テレコントロールあり」に設定してください	☞P109
	通報が完了しない	音声通報時の通報完了判定が「プッシュ信号受信で完了判定」に設定されていませんか？	「プッシュ信号受信で完了判定」に設定した場合、以下のようなときは応答確認の信号が送られてこないため、通報は完了しません ・通報先が留守番電話などで応答したとき ・通報先に携帯電話機やPHS対応電話機を登録していて、携帯電話機やPHS対応電話機が電波の届かない場所にいる、または電源が入っていない状態にあり、通信事業者の音声案内などが応答したとき	☞P41、109
電池パック	電池パックが充電されない	電源プラグを電源コンセントに差し込んだまま電池パックを取り付けていませんか？	電池パックを取り付けるときは、電源プラグを電源コンセントから抜き、電池パックを取り付けたあと、電源プラグを電源コンセントに差し込んでください	☞P132
その他	〔着信音量〕スイッチを「大」や「中」にしても呼出音が聞こえない	〔着信音量〕スイッチを「大」や「中」の間や「中」や「切」の間にしていませんか？	〔着信音量〕スイッチを「大」または「中」の位置に合わせてください	☞P34
	あんしんSVが温かい	内部に発熱するところがあり、多少温度が上がります	故障ではありません	-

故障かな？と思ったら

ペンダントのトラブル

こんなとき	確認してください	対処	参照ページ
通報ボタンを押したのに通報しない	通報ボタンを押したときにランプが点滅しますか？	ランプが点滅しない場合は電池切れですので、電池を交換してください 電池を交換したときは、電池の向きを確認してください	☞P58
	あんしんSVから離れすぎていませんか？	あんしんSVに近づいてください	☞P54
	近くに雑音を発生する家電製品などがありますか？	家電製品などから離れてください	-
	ペンダントをあんしんSVに登録していますか？（ワイヤレスセットの場合は登録済みです）	ペンダントをあんしんSVに登録してください	☞P124

設定記入シート

保守のための資料として、設定内容を記入し大切に保管してください。

設定番号	設定項目	お買い求め時の設定	ユーザ設定値
P00	時計データ設定	0901010000	
P01	通報宛先設定	通報宛先1	なし
P02		通報宛先2	なし
P03		通報宛先3	なし
P04		通報宛先4	なし
P05		通報宛先5	なし
P06		通報宛先6	なし
P07		通報宛先7	なし
P08		通報宛先8	なし
P09		通報宛先9	117A1
P21	通報順序、通報回数、通報終了タイミング設定	緊急通報	12123スペース2A
P22		リモートスイッチS2による通報	12123スペース2A
P23		ペンダントによる通報	12123スペース2A
P24		センサ通報	12123スペース2A
P28		電池切れ通報	12123スペース2A
P30		定時通報	12123スペース2A
P31		生活周期異常通報	12123スペース2A
P32		停電／復電通報	12123スペース2A
P34		テスト通報	9スペース1
P35		ワイヤレスセンサグループ1通報	12123スペース2A
P36		ワイヤレスセンサグループ2通報	12123スペース2A
P37		ワイヤレスセンサグループ3通報	12123スペース2A
P38		ワイヤレスセンサグループ4通報	12123スペース2A
P39	ペンダント電池切れ通報	12123スペース2A	
P40	呼び出し時間設定	60000000	

設定記入シート

付録

設定記入シート

設定番号	設定項目	お買い求め時の設定	ユーザ設定値
P41	通報音声メッセージの録音	録音音声1	なし
P42		録音音声2	なし
P43		録音音声3	なし
P44		録音音声4	なし
P45		録音音声5	なし
P46		録音音声6	なし
P47		録音音声7	なし
P48		録音音声8	なし
P50	ペンダント設定	0000000000000000	
P51	ワイヤレスセンサグループの通報可否、音声フレーズ設定	11110000	
P52	ワイヤレスセンサ通報時の録音メッセージ設定	00000000	
P53	ワイヤレスセンサ通報時の接点出力設定	11110000	
P54	ワイヤレスセンサグループのモード設定	00000000	
P72	こちらの電話番号設定	なし	
P73	暗証番号設定	なし	
P76	応答後ガイダンス送出待ち時間、音声検出確定時間設定	10000000	
P81	定時通報設定	0000000010	
P82	生活周期異常通報（見守り機能）設定	0000000001	
P83	センサやペンダント電池切れ通報可否の設定	10000000	
P89	録音音声フレーズ設定	00000000	
P90	ダイヤル種別、外線着信、キータッチ音、常夜灯設定	31001100	
P91	着信自動応答、テレコントロール設定	10903000	
P92	警報送出等の設定	00021410	
P93	接点出力方式、通報の有無設定	00000000	
P94	通報オプションタイマの設定	00000033	
P95	センサの設定	00004000	
P96	通報音声メッセージ設定	00010000	
P97	警報音の設定	11100010	
P98	優先通報選択設定	11100010	
P99	接点出力設定	11100010	

付録 索引

アルファベット

EX端子	27,51,144
LINE端子	27
TEL端子	27

五十音

【ア行】

暗証番号	102
暗証番号認証	43,108
あんしんSV	24
あんしんSV(ワイヤレスセット)	25
応答確認機能	41
応答後ガイダンス送待ち時間	102
応答ボタン	26
応答ランプ	26
オプション	50
音声	
録音	96
音声検出確定時間	102
音量	
相手の声の音量を調節する	34
呼出音の音量を調節する	34

【カ行】

外線着信	107
外部出力機器	41,51,57
確認	
応答確認機能	41
通報できることを確認する	80
火災センサ	50,120
壁掛け	29
壁掛け金具(オプション)	29,57
壁掛け用木ネジ	24,25,29
キータッチ音	107
基本設定	69,119
緊急通報	20,32
緊急通報優先機能	37

警報音	114
警報送出	109
故障かな?と思ったら	
あんしんSVのトラブル	135
ペンダントのトラブル	138
こちらの電話番号	74,101
ゴム足	24,25,29

【サ行】

作業の流れ	70
システムデータ	
設定一覧	86
設定操作の流れ	84
仕様	145
小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5	
送信機	25,28,50
常夜灯	45,107
初期化	126
設定番号ごとに初期化する	85
スタンド	50
取り付ける	52
取り外す	53
スピーカ	26
スピーカ音量つまみ	26,34
生活周期異常通報	44,104,122
接続	
ISDNターミナルアダプタに	
接続する	66
一般電話回線に接続する	62
ひかり電話対応機器に接続する	64
設定	
お買い求め時の設定に戻す	126
基本設定	119
設定操作の流れ	84
生活周期異常通報	123
センサによる通報	121
日付と時刻	72,86
設定記入シート	139
設定例	117

付録 索引

接点出力
有無の設定…………… 116
動作モードの設定…………… 110
センサ…………… 40,56,112,120
センサ端子…………… 27,50,120,144
センサ通報…………… 40,105

【タ行】

ダイヤル種別…………… 81,107
着信音量スイッチ…………… 26,34
着信自動応答…………… 43,108

通報

通報できなかったとき…………… 81
通報できることを確認する…………… 80
通報オプションタイム…………… 111
通報音声メッセージ…………… 113
録音…………… 96
通報回数…………… 91
通報完了判定…………… 33,41,109
通報先…………… 76,87
通報終了タイミグ…………… 91
通報順序…………… 91
通報の有無…………… 110
通報メッセージ…………… 20
定時通報…………… 44,78,103
停電…………… 23
停電になったとき…………… 127
停電／復電通報…………… 110
テスト通報…………… 80
テレコントロール…………… 46,108,109
電源コード…………… 27
電源コード押さえ…………… 27
電源プラグ…………… 27
電源ランプ…………… 26
電池カバー…………… 27
電池切れ通報…………… 42,110,128,130

電池パック…………… 50,57
セットする…………… 131
交換する…………… 133

電話

電話を受ける…………… 36
電話をかける…………… 36

電話機コード…………… 24,25

登録

こちらの電話番号…………… 74,101
通報先の電話番号…………… 76,87
ペンダント…………… 124

登録スイッチ…………… 27

特長…………… 20

時計データ…………… 86

とめるボタン…………… 26,32

【ハ行】

バッテリーコネクタ…………… 27

ハンドフリー通話…………… 21

非常ボタン…………… 26

非常ランプ…………… 26

日付と時刻…………… 72,86

付属品…………… 24,25

ペンダント…………… 28

アジャスタ…………… 28

削除する…………… 125

ストラップ…………… 28

タグ…………… 28

通報する…………… 54

通報テストをする…………… 55

通報ボタン…………… 28

電池カバー…………… 28

電池カバー取り外し用溝…………… 28

電池を交換する…………… 58

登録する（増設）…………… 124

間違えて通報ボタンを押したとき…………… 55

ランプ…………… 28

ワイヤレスセンサに設定…………… 97

付録 索引

ペンダント電池切れ通報・・・ 42,59,105
ペンダント番号・・・・・・・・・・・・ 125
保守サービス・・・・・・・・・・・・ 146

【マ行】

マイク・・・・・・・・・・・・ 26
見守り機能・・・・・・・・・・・・ 44,104,122

【ヤ行】

優先通報選択・・・・・・・・・・・・ 37,115
呼出音
 呼出音が鳴ったとき・・・・・・・・ 35
 呼出音の音量を調節する・・・・ 34
呼び出し時間・・・・・・・・・・・・ 95

【ラ行】

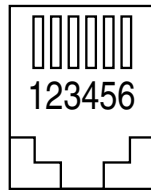
リモートスイッチS2・・・・・・・・ 50,56
録音・・・・・・・・・・・・ 96
録音音声フレーズ・・・・・・・・ 106
録音音声メッセージ送出機能・・・・ 42
録音メッセージ
 ワイヤレスセンサ通報時の設定
 ・・・・・・・・・・・・ 99

【ワ行】

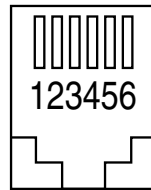
ワイヤレスセンサグループ
 接点出力の有無の設定・・・・ 100
 通報の設定・・・・・・・・・・・・ 98
 ペンダントの設定・・・・・・・・ 97
 モードの設定・・・・・・・・ 100

付録 端子配列

EX



センサ



名称	端子番号	用途	配線	接続機器
EX端子	1	接点出力	L6	外部出力機器
	2	接点出力	L4	
	3	未使用	—	—
	4	未使用	—	—
	5	未使用	—	—
	6	未使用	—	—
センサ端子	1	未使用	—	—
	2	未使用	—	—
	3	センサ	L2	センサまたはリモート スイッチS2
	4	センサ	L1	
	5	未使用	—	—
	6	未使用	—	—

付録 仕様

●あんしんSV

使用回線	一般電話回線、ひかり電話対応機器やISDNターミナルアダプタのアナログポート
ダイヤル方式	DP (10 PPS/20 PPS) または、PB
異常入力	非常ボタン、センサ類入力、ペンダント
通報宛先	9宛先
通報方式	音声合成方式、録音音声方式
電源	AC100 V±10 V 50/60 Hz
消費電力	最大6 W (約12 VA)
寸法	約210 mm (幅) × 約47 mm (高さ) × 約150 mm (奥行き)
質量	約0.6 kg
使用環境	温度：0～40 °C、湿度：5～90 %RH (結露のないこと)

●小電力型ワイヤレスリモートスイッチ5送信機

電源	コイン形リチウム電池 (CR2032)
電池寿命	約2年 (常温にて1週間に1回の通報を行った場合)
送信距離	約50 m (見通し距離)
寸法	約41 mm (幅) × 約69 mm (高さ) × 約19 mm (奥行き)
質量	本体約25 g (電池含む)
ストラップの材質	ナイロン
使用環境	温度：0～45 °C

付録 保守サービスのご案内

● 保証について

保証期間（1年間）中の故障につきましては、「保証書」の記載にもとづき当社が無償で修理いたしますので、「保証書」は大切に保管してください。
（詳しくは「保証書」の無料修理規定をご覧ください。）

● 保守サービスについて

保証期間後においても、引き続き安心してご利用いただける「定額保守サービス」と、故障修理のつど料金をいただく「実費保守サービス」があります。
当社では、安心して商品をご利用いただける定額保守サービスをお勧めしています。

保守サービスの種類は

定額保守サービス	・ 毎月一定の料金をお支払いいただき、故障時には当社が無料で修理を行うサービスです。
実費保守サービス	・ 修理に要した費用をいただきます。 （修理費として、お客様宅へおうかがいするための費用、および修理に要する技術的費用・部品代をいただきます。） （故障内容によっては高額になる場合もありますので、ご了承ください。） ・ 当社のサービス取扱所まで商品をお持ちいただいた場合は、お客様宅へおうかがいするための費用が不要になります。

● 故障の場合は

故障した場合のお問い合わせは局番なしの113番へご連絡ください。

● 補修用部品の保有期間について

この商品の補修用性能部品（商品の性能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後、7年間保有しています。



環境基準ラベル 「ダイナミックエコマーク」について

弊社は、循環型社会構築に向けた環境にやさしい通信機器の提供を推進するために、環境ガイドライン「<追補版>通信機器グリーン調達のためのガイドライン」を設定しております。さらに、より厳しい環境基準を満足した製品をダイナミックエコマーク認定製品と位置づけます。

ダイナミックエコマークは下記条件を満足した製品に適用します。

ダイナミックエコマーク認定基準

<環境に配慮した素材の採用>

- 弊社が指定する含有禁止物質について製品には使用しません。
- 弊社が指定する含有抑制物質については、使用を抑制するとともに物質名・量を管理します。
- 酸性雨で地中に溶け出して人体に影響がある鉛を、製品へ使用することを抑制しています。
- 焼却時にダイオキシン発生の恐れがあるPVC（ポリ塩化ビニル）、非デカブロ系難燃剤以外のハロゲン系難燃剤の製品への使用を抑制します。
- 廃棄やリサイクルのために、製品には推奨プラスチック材料（ポリスチレン等）、推奨金属材料を使用します。
- 取扱説明書等に使用する紙は再生紙を使用し、使用する印刷インキは、オゾン層破壊物質等の含有禁止物質を含まないものを使用します。

<リサイクルしやすい設計>

- 製品のリサイクル可能率を70%以上とします。
- リサイクルを容易にするため、全てのプラスチック製部品に材料名を表示し、リサイクルに支障のない方法で製品名を表示します。

<環境に配慮した梱包材>

- 発泡スチロールの使用量を削減します。

<省エネルギー>

- 省エネルギーを考慮した設計を行います。
- 国際エネルギースタープログラム対象製品は、これに準じた設計を行います。



本商品はダイナミックエコマーク認定製品です。



この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。環境を考えて大豆インクを使用しています

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://web116.jp/ced/>
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

使い方等で不明の点がございましたら、NTT通信機器お取扱相談センタへお気軽にご相談ください。

NTT通信機器お取扱相談センタ

■NTT東日本エリア（北海道、東北、関東、甲信越地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-970413

※携帯電話・PHS・050IP電話からのご利用は
03-5667-7100（通話料金がかかります）

受付時間 9：00～21：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

■NTT西日本エリア（東海、北陸、近畿、中国、四国、九州地区）でご利用のお客様

お問い合わせ先：☎ 0120-248995

受付時間 9：00～17：00

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

©2009 NTEAST・NTTWEST



本3085-2（2009.10）
アンシン-S5トリセツ